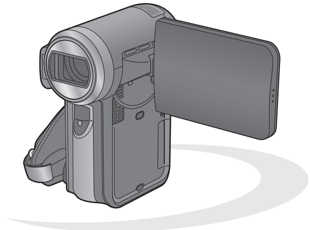
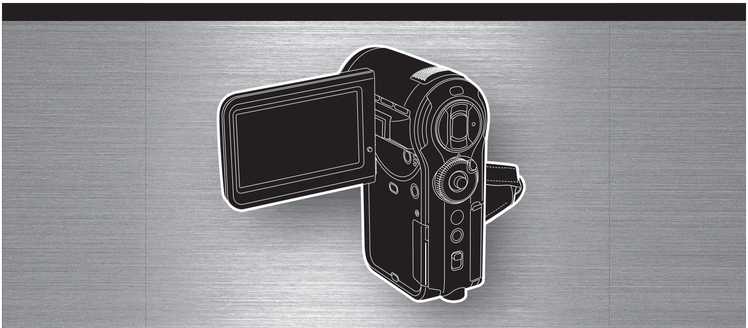
Panasonic



取扱説明書

デジタルハイビジョン ビデオカメラ

品番 HDC-SD8K



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（138 ～ 144 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

AVCHD™ HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

PictBridge SD HC™ LEICA DICOMAR

VQT1S30

安全上のご注意
はじめに
撮影する
再生する
編集する
整理する
他の機器で
パソコンで
その他

もくじ

■ 英語のクイックリファレンスガイドを 154 ～ 158 ページに記載しております。どうぞご利用ください。
■ **The English Quick Reference Guide is indicated on P154 to P158. Refer to the pages if you prefer English.**

いろいろな撮影機能

マニュアルで撮影する

再生する

ビデオを再生する

写真を再生する

もくじ

編集する

シーンを編集する

写真を編集する

整理する

フォーマット

他の機器で

テレビで

DVD バーナーで

BD/DVD レコーダーで

ビデオで

プリンターで（PictBridge）

「安全上のご注意」を必ずお読みください（138 ～ 144 ページ）

パソコンで

パソコンで使う前に

ソフトウェアのインストール

接続と認識作業

HD Writer 2.0J を使う

Macintosh で使用する

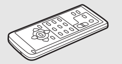
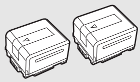
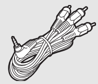
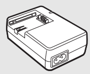
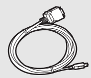
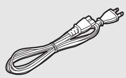
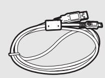
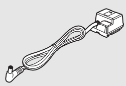
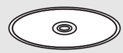
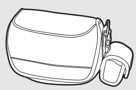
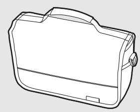
その他

メニュー・画面表示

故障かな！？と思う前に

付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2008 年 5 月現在のものです。

□ SDHC メモリーカード（8 GB） 	□ ワイヤレスリモコン N2QAEC000022  □ コイン電池 CR2025 
□ バッテリーパック（2個） VW-VBG130 	□ 映像・音声コード K2KC4CB00024 
□ AC アダプター VSK0696 	□ D 端子ケーブル K2KZ9DB00003 
□ 電源コード K2CA2DA00009 	□ USB 接続ケーブル K2KZ4CB00011 
□ DC コード K2GJ2DC00020 	□ CD-ROM 
□ キャリングケース VFC4346 	□ キャリングバッグ VFC4323 

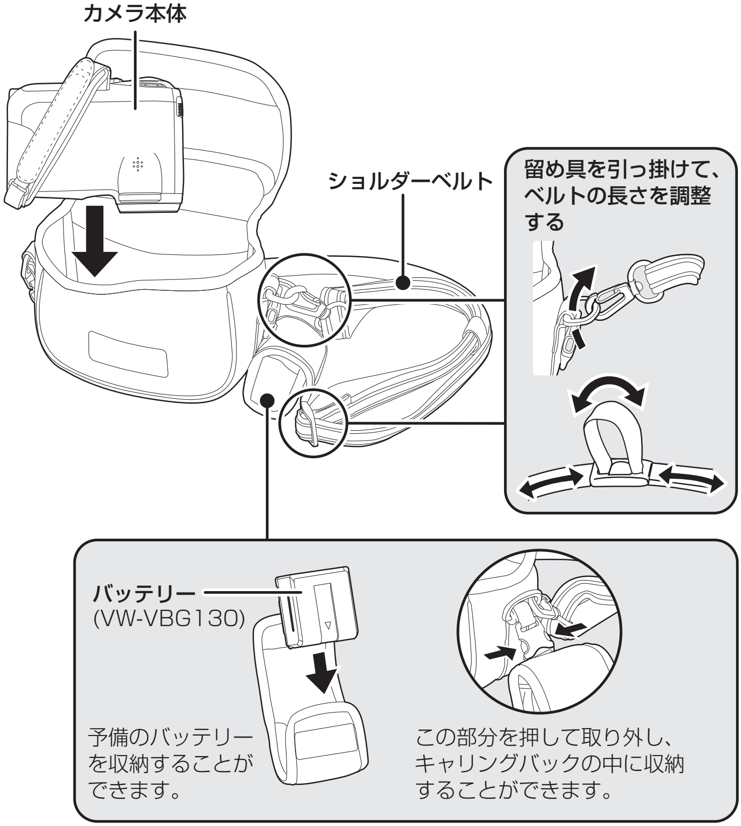
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

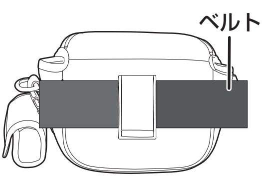
付属品は販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp

【キャリングケース】

レンズ部を下にして本機を収納します。

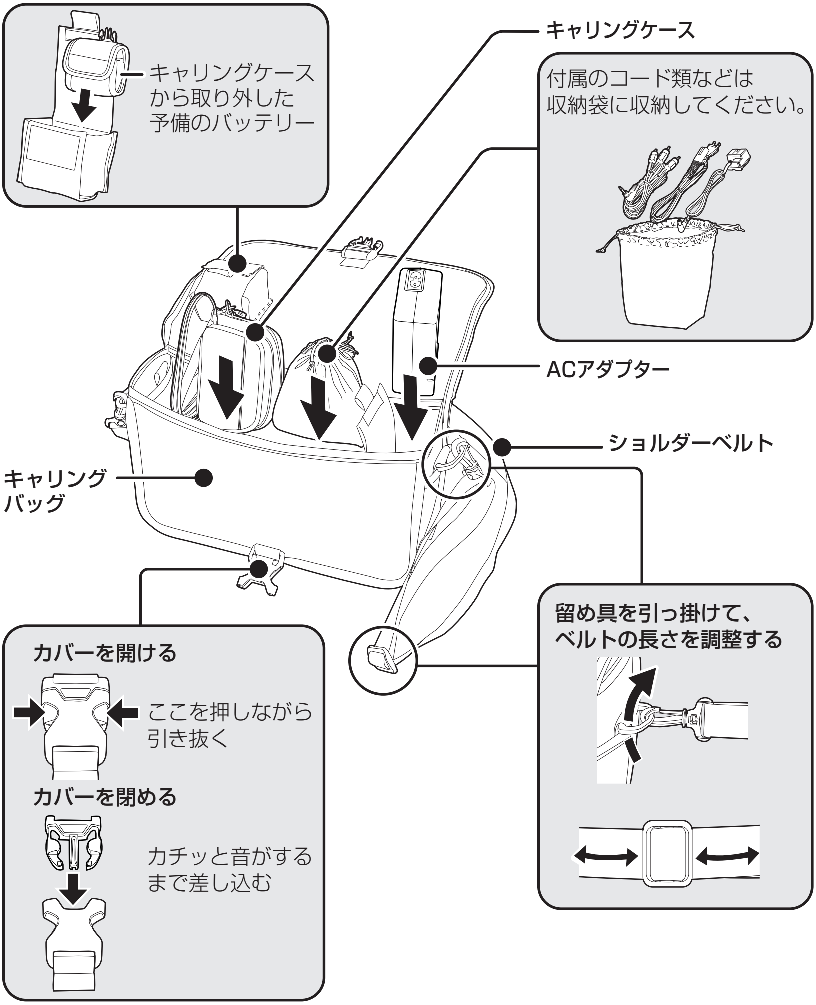




- ベルトにとおしてもお使いいただけます。

【キャリングバッグ】

キャリングケースや付属品を収納するのにお使いください。



まずお読みください！

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）の前や、長期間ご使用にならなかったときは、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

撮影内容の補償はできません

本機および SD カードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

■ 本書での記載について

以下のように記載しています。

- バッテリーパック→「バッテリー」
- SD メモリーカード、
  SDHC メモリーカード→「SD カード」
- ビデオ撮影 / ビデオ再生で使える機能
  → ビデオ
  写真撮影 / 写真再生で使える機能
  → 写真
- 付属のソフトウェア HD Writer 2.0J for SX/SD/DX →「HD Writer 2.0J」
- 参照いただくページ→ P00

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカードおよび SDHC メモリーカードです。
詳しくは、22 ページをご覧ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

ヒント

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

- SDHC ロゴは商標です。
- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステムズ IR GmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista® および DirectX® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Intel®、Core™、Pentium® および Celeron® は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac OS は 米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PowerPC は 米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

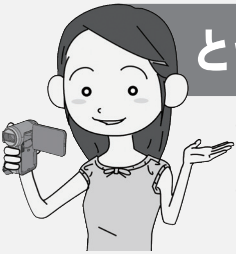
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

ホームページではビデオの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。
http://panasonic.jp
また製品のサポート情報については
http://panasonic.jp/support
をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

デジタルハイビジョンビデオカメラを

楽しもう！



とってもきれいなハイビジョン映像

- 本機は高精細なハイビジョン映像をSDカードに記録するAVCHD規格のビデオカメラです。
- ハイビジョンテレビにつないで再生すると、高画質なハイビジョン映像を見ることができます。（P88）

ハイビジョン画質は

従来の標準画質と比べて

有効走査線数約2倍以上

画素数約6倍※

※記録モードがHGの場合

- 右記の写真は、説明のためのイメージ写真です。



有効走査線数1080本



有効走査線数480本

■AVCHDとは？

高精細なハイビジョン映像を記録・再生するための規格です。
映像圧縮はMPEG-4 AVC/H.264方式、音声はドルビーデジタルで記録します。

●従来のDVDビデオなどと記録方式が異なりますので、互換性はありません。

本機に付属のSDHCメモリーカード、および撮影したビデオの互換性について以下のことにお気をつけください

SDHCメモリーカードについて

●SDHC対応機器以外とは互換性がありません。

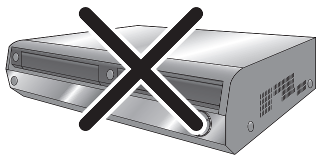
●他機でお使いの場合は、SDHC対応機器をご使用ください。（P22）

撮影したビデオの互換性について

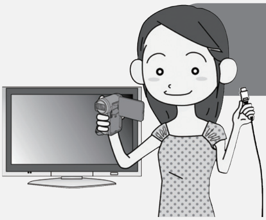
●AVCHD対応機器以外とは互換性がありません。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

●互換性のない機器（AVCHDに対応していない機器）では再生できません。

●AVCHD対応機器であっても再生できない場合があります。この場合は、本機で再生してください。

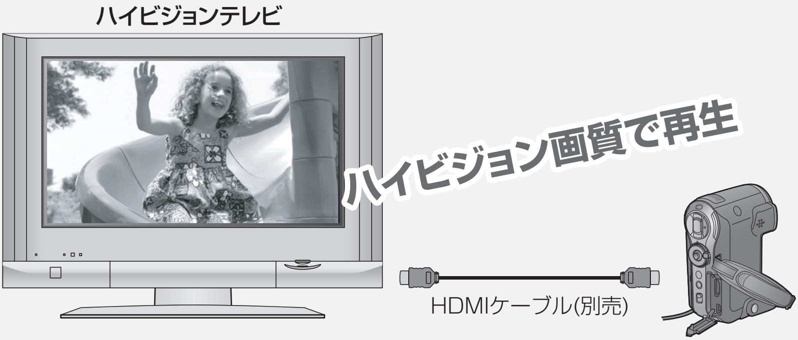


AVCHDに対応していない従来のDVDレコーダーやDVDプレーヤーなど



ハイビジョン映像で見よう

HDMIケーブル（別売）を使って、本機をハイビジョンテレビに接続して再生すると、ハイビジョン映像で楽しむことができます。



●ハイビジョン非対応のテレビに接続したときは従来の標準画質になります。

本機の再生のしかた　P73〜79

詳しい操作方法については　P88〜89

■HDMI端子がないテレビに接続するとき

D端子ケーブルと映像･音声コードで接続する　P90〜91

映像･音声コードで接続する　P92〜93

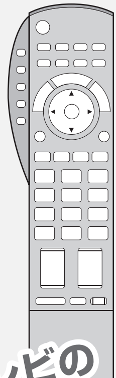
●ハイビジョン画質では再生できません。従来の標準画質になります。

テレビのリモコンで再生しよう



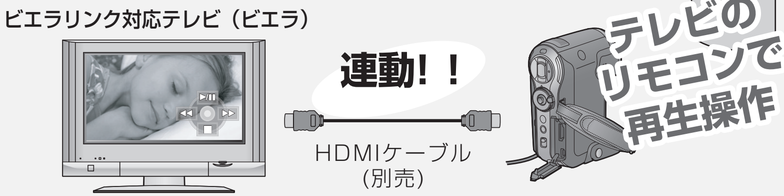
ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）に対応した当社製テレビ（ビエラ）と本機をHDMIケーブル（別売）で接続すると、テレビのリモコンで再生操作ができるようになります。
テレビの詳しい操作については、テレビの取扱説明書をお読みください。

詳しい操作方法については　P94〜95



ビエラリンク(HDMI)とは

- 本機とHDMIケーブル(別売)を使って接続したビエラリンク対応テレビを自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準のHDMIによるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI)Ver.2に対応しています。
  従来の当社製ビエラリンク機器だけでなく、最新のVer.3対応の機器と接続してもお使いいただけます。(2008年5月現在)



その他の連動操作は

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

HDMIケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）

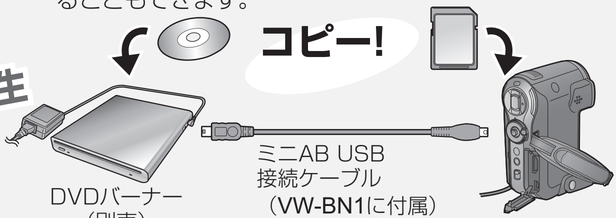
- テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。
  （入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）

ディスクにデータを保存しよう



DVDバーナー（VW-BN1（別売））と本機を、ミニAB USB接続ケーブル（VW-BN1に付属）でつなぐと、本機で記録したビデオをDVDディスクにコピーできます。また、コピーしたDVDディスクを再生することもできます。

データをディスクにコピー、再生



当社製DVDバーナーVW-BN1を推奨します。（2008年5月現在）

当社で動作確認したDVDバーナー（DVD MULTIドライブ）についての最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect

コピー終了後にSDカード内のデータを削除する場合は、削除する前に必ずコピーしたディスクを再生して正常にコピーされているかどうかを確認してください。

●新品の12 cmディスク（DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL）にコピーできます。

重要なお知らせ

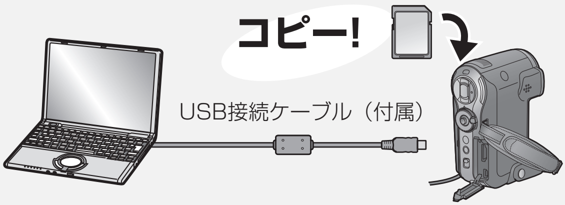
別売のDVDバーナーと本機を接続してコピーしたディスクはAVCHD規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。また、AVCHD規格に対応していない機器では再生できません。

ディスクにコピーするには P96～100
ディスクを再生するには P101

パソコンにデータを保存しよう



付属のソフトウェア（HD Writer 2.0J）を使って、本機で記録したSDカードのデータをパソコンのHDDにコピーすることができます。



データを
パソコンに
取り込む

HD Writer でできること

メディア間のコピー
パソコンのHDDにコピーすることなく、SDカードからディスク、またはディスクからSDカードへビデオのデータをコピーすることができます。

パソコンへ取り込み
SDカードのデータをパソコンのHDDにコピーすることができます。

パソコンで再生する
SDカードの映像をハイビジョン画質のまま､パソコンで再生することができます。

メディアへ書き出し
パソコンのHDDから、SDカードまたはディスクにデータをコピーすることができます。

簡易編集
パソコンのHDDにコピーされたビデオのデータの分割・結合・削除など簡単な編集ができます。また、MPEG2形式に変換したり、DVDビデオを作成することができます。

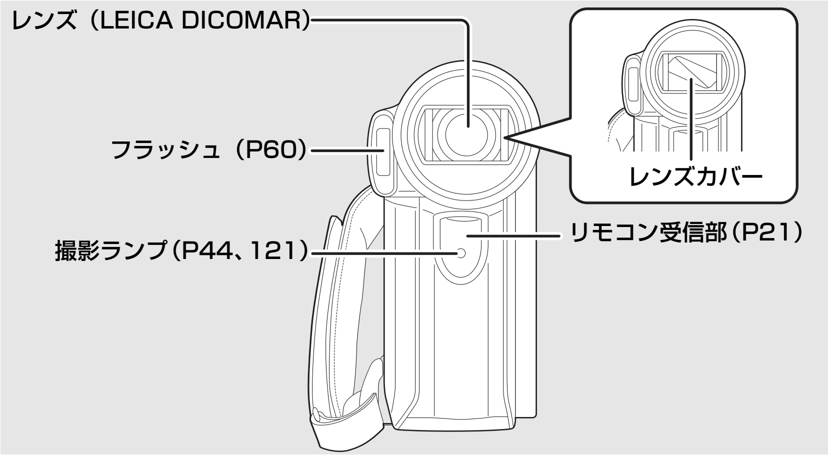
重要なお知らせ

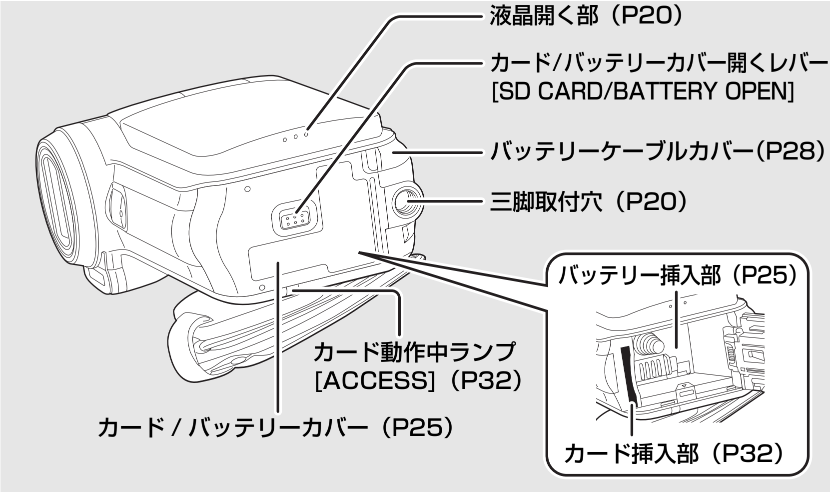
HD Writer 2.0JでAVCHD記録したディスクはAVCHD規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。
また、AVCHD規格に対応していない機器では再生できません。

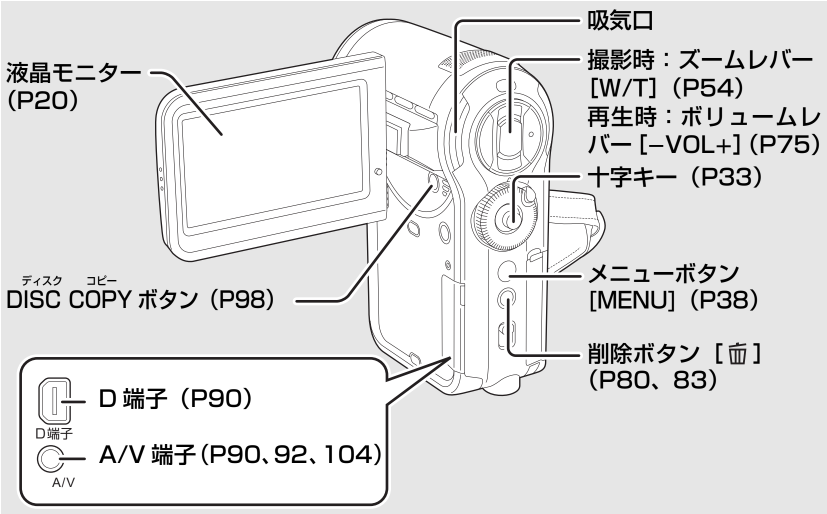
●ソフトウェアの詳しい使いかたについては、ソフトウェアの取扱説明書（PDFファイル）をお読みください。

詳しい操作方法については　P107～118

1. 各部の名前

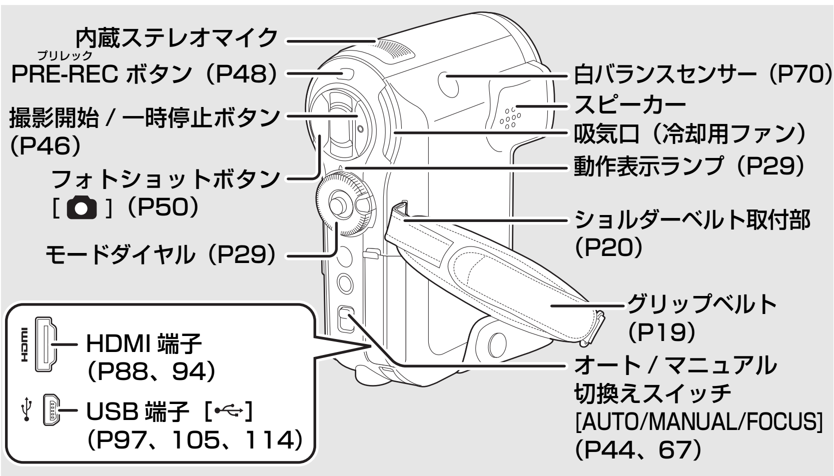

レンズ（LEICA DICOMAR）
レンズカバー
フラッシュ（P60）
リモコン受信部（P21）
撮影ランプ（P44、121）


液晶開く部（P20）
カード/バッテリーカバー開くレバー
[SD CARD/BATTERY OPEN]
バッテリーケーブルカバー（P28）
三脚取付穴（P20）
バッテリー挿入部（P25）
カード動作中ランプ
[ACCESS]（P32）
カード / バッテリーカバー（P25）
カード挿入部（P32）



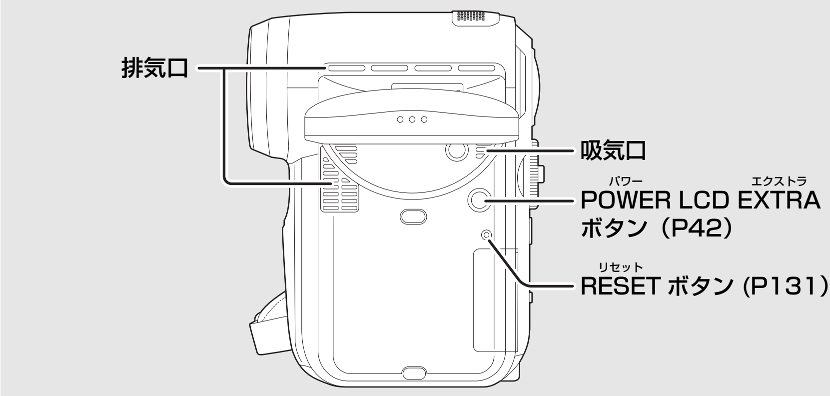
■ A/V 端子について

● 付属の映像・音声コード以外は接続しないでください。



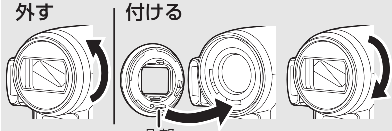
■ 冷却用ファンについて

● 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用ファンが回ります。使用時は吸排気口をふさがないようにお気をつけください。



レンズフード

外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。



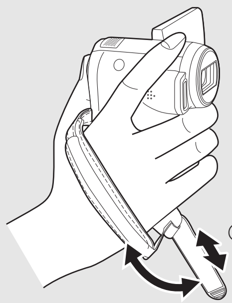
ヒント

- テレコンバージョンレンズ VW-T3714H（別売）やワイドコンバージョンレンズ VW-W3707H（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。
（詳しくは、テレコンバージョンレンズ / ワイドコンバージョンレンズの取扱説明書をお読みください）

（お気をつけください）
別売のテレコンバージョンレンズ VW-T3714H やワイドコンバージョンレンズ VW-W3707H 使用時は、本機を手でしっかりと持ってください。または三脚のご使用をおすすめします。
本機を置く場合は、安定するように横に寝かすなどして置いてください。

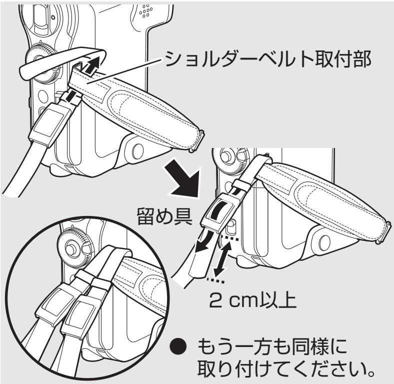
グリップベルト

手の大きさに合わせて、ベルトの長さを調整してください。



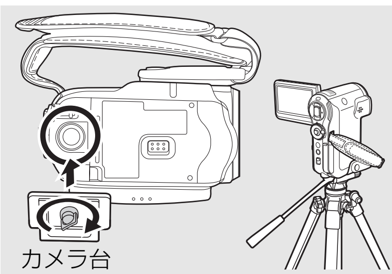
ショルダーベルト取付部

ショルダーベルト VW-CMD2（別売）を、図のように二重になっている部分の間にとおして取り付けることができます。



三脚取付穴

ビデオカメラ用三脚を取り付けるための穴です。本機にはボス穴がありませんので、三脚に取り付けて使うときは、ボスのない三脚をお使いください。ボスが固定されている三脚に無理に取り付けると、本機に傷が付く原因となります。（取り付けかたは、三脚の取扱説明書をお読みください）

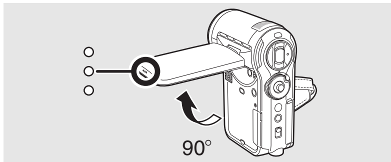


- 三脚使用時は、ワイヤレスリモコンで操作すると便利です。（P21）
- 三脚使用時は、カード/バッテリーカバーを開くことができません。あらかじめSDカードやバッテリーを入れてから三脚を取り付けてください。（P25、32）

2. 液晶モニターを使う

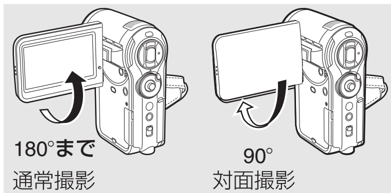
液晶モニターで映像を確認しながら撮影できます。

1 液晶開く部に指をかけて、液晶モニターを開く



- 最大 90°まで開きます。

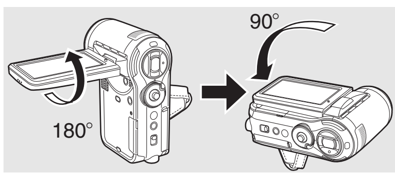
2 角度を調整する



- レンズ方向に 90°、手前に 180°回転します。

ヒント

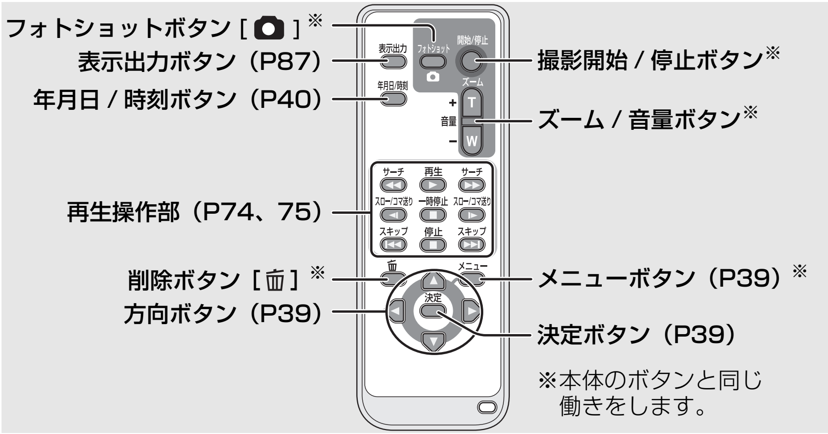
- 再生時は、液晶モニターを反転収納してお使いいただくことができます。
液晶モニターを反転収納した場合の十字キー操作について（P33）



- 液晶モニターの明るさ、色の濃さなどを調整できます。（P42）
- 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。
- 液晶モニターを閉じるときは、端子カバーが閉じていることを確認してください。

3. リモコンを使う

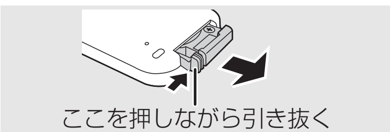
ワイヤレスリモコン



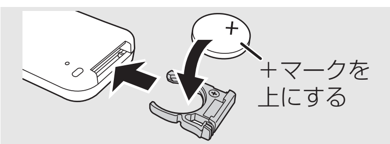
はじめに

■ コイン電池（付属）を入れる

1）ホルダーを引き抜く



2）電池を入れて、ホルダーを戻す

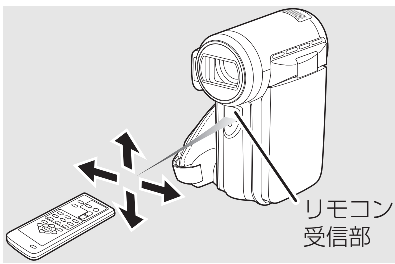


ヒント

コイン電池について：

- ワイヤレスリモコンを本機のリモコン受信部の近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約 1 年です）
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

■ ワイヤレスリモコンが使える範囲



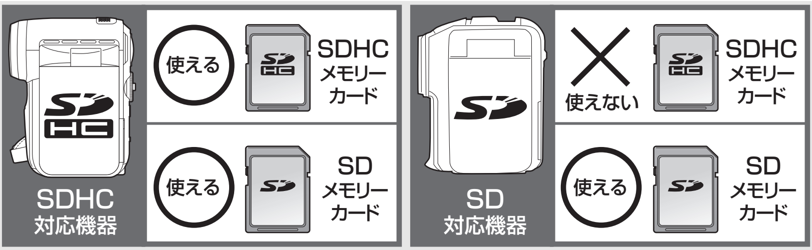
リモコン受信部に対して、
距離：約 5 m 以内
角度：上に約 10°、下･左右に約 15°

ヒント

- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコン受信部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。

4. 本機で使えるカード（2008 年 5 月現在）

本機（SDHC 対応機器）は SD メモリーカード /SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。（SDHC メモリーカードを他機でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください）



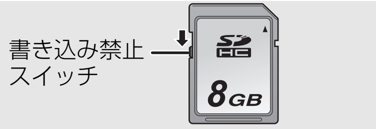
カードの種類	記録容量	**ビデオ撮影** SD スピードクラス※がクラス 2 以上準拠の SD カード、または下記の当社製 SD カードのご使用をおすすめします。	写真撮影
SD メモリーカード	8 MB 16 MB	使用できません	使用できます
	32 MB 64 MB 128 MB 256 MB	動作保証しておりません。SD カードによっては、ビデオ撮影が突然停止することがあります。（P47）	
	512 MB	RP-SDV512	
	1 GB	RP-SDV01G、RP-SDM01G	
	2 GB まで	RP-SDV02G、RP-SDM02G	
SDHC メモリーカード	4 GB	RP-SDV04G、RP-SDM04G	
	8 GB	付属の SD カード /RP-SDM08G、RP-SDV08G	
	16 GB	RP-SDV16G、RP-SDM16G	
	32 GB まで	RP-SDV32G	

※ SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

使用可能な SD メモリーカード /SDHC メモリーカードについての
最新情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

SD カードのフォーマットは本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。（P86）（パソコンなどではフォーマットしないでください）

- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- SDHC ロゴのない 4 GB 以上のメモリーカードは、SD 規格に準拠していないため使用できません。
- SD カード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを図のように「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。



■取り扱い上のお願い

- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。
- 次のような場所に置かない。
  - 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  - 湿気やほこりの多いところ
  - 温度差の激しいところ（つゆつきが発生します）
  - 静電気や電磁波が発生するところ
- 使用後は袋やケースに収める。

1. バッテリーを充電する

本機で使えるバッテリー（2008 年 5 月現在）
本機で使えるパナソニック製バッテリーは VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6 です。
VW-VBG130/VW-VBG260/VW-VBG6 は、バッテリーと本機との間で、安全に使用できるかどうかを確認する機能があるバッテリーです。

- **VW-VBG260/VW-VBG6を使うには、バッテリーパックホルダーキットVW-VH04（別売）が必要です。**

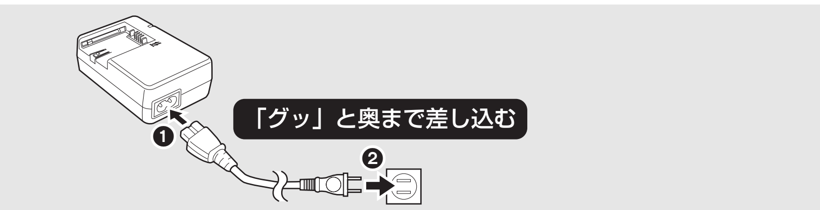
パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常に低い価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

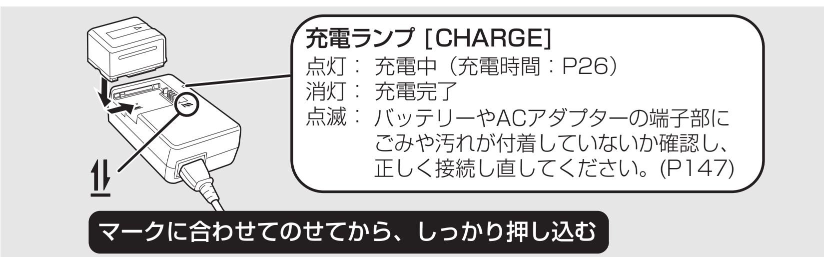
お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。
  DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。

1 電源コードを AC アダプターにつなぐ



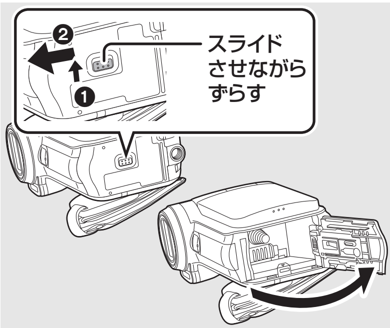
2 バッテリーを付ける



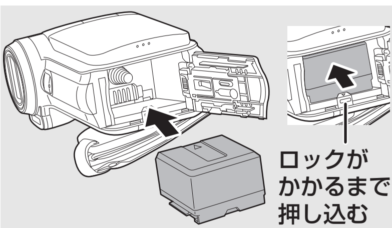
2. バッテリーを入れる（取り出す）

バッテリーを入れる

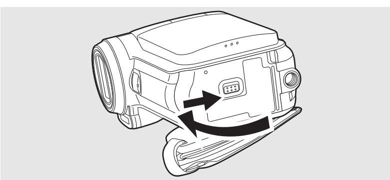
1 カード / バッテリーカバー開くレバーをスライドさせながら、カード / バッテリーカバーをずらして開ける



2 バッテリーを図の向きに、「カチッ」と音がするまでバッテリーの中央を押して入れる



3 カード / バッテリーカバーを閉じる

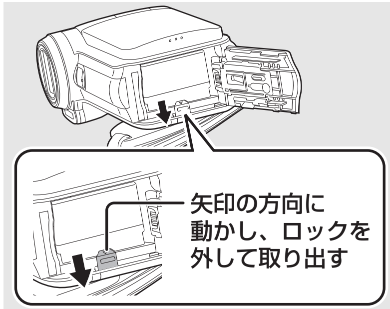


- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

バッテリーを取り出す

1 カード / バッテリーカバーを開ける

2 バッテリーを取り出す



- バッテリーを落下させないように手で支えてください。

3 カード / バッテリーカバーを閉じる

ヒント

- バッテリーを取り出すときは、必ずモードダイヤルを「OFF」にし、動作表示ランプの消灯を確認してから取り出してください。
- カード/バッテリーカバーは最大180°まで開きます。

3. 充電時間と撮影可能時間

■ 充電時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%）

バッテリー品番	充電時間
付属バッテリー / VW-VBG130（別売）	約 2 時間 35 分
VW-VBG260（別売）	約 4 時間 40 分
VW-VBG6（別売）	約 9 時間 25 分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**

■ 撮影可能時間（温度 25 ℃ / 湿度 60%）

- 実撮影可能時間とは、撮影 / 停止、電源の入 / 切、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

バッテリー品番	連続撮影可能時間	実撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBG130（別売）	約 1 時間 25 分	約 55 分
VW-VBG260 ※（別売）	約 2 時間 40 分	約 1 時間 40 分
VW-VBG6 ※（別売）	約 6 時間 40 分	約 4 時間 10 分

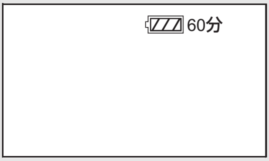
※バッテリーパックホルダーキット VW-VH04（別売）が必要です。

ヒント

- 使用状況によって撮影可能時間は変わりますので、めやすにしてください。
- POWER LCD EXTRA ボタンを押して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているときは撮影可能時間が短くなります。
- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、異常ではありません。
- 低温下では撮影可能時間が短くなりますので、予備のバッテリーを準備することをおすすめします。
- バッテリー残量を使い切らなくても、継ぎ足して充電することができます。

■バッテリー残量表示について

本機で使えるパナソニック製バッテリー使用時は、バッテリー残量が分単位で表示されます。表示されるまでしばらく時間がかかります。



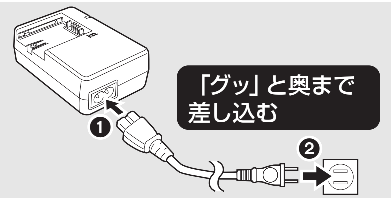
ヒント

- バッテリーの残量が少なくなるに従って、
 → → → → と表示が変わります。3 分以下になると が赤色になり、容量がなくなると、 が点滅します。
- 低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量表示を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。（この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります）
- バッテリー残量の時間表示は最大 999 分です。使用可能な時間が 999 分を超える場合は、バッテリー残量表示が緑色になり、999 分未満になるまで表示は変わりません。
- 使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、めやすにしてください。
- モードダイヤルを回してモードを切り換えたときなどは、バッテリー残量時間を再度計算するため時間表示が一度消えます。
- AC アダプターや他社製バッテリー使用時は、バッテリー残量の時間は表示されません。

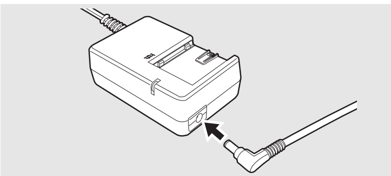
4. 電源コンセントにつないで使う

● AC アダプターは、付属の AC アダプターまたは **VW-AD21-K**（別売）をお使いください。他の機器の AC アダプターは使用しないでください。

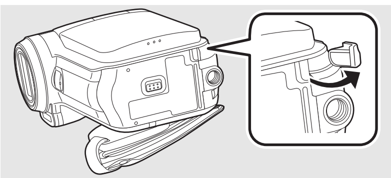
1 電源コードを AC アダプターにつなぐ



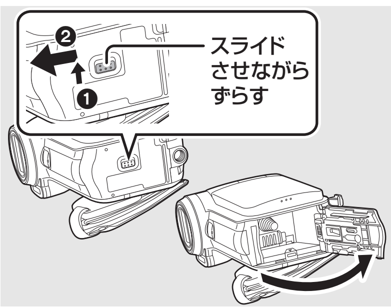
2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む



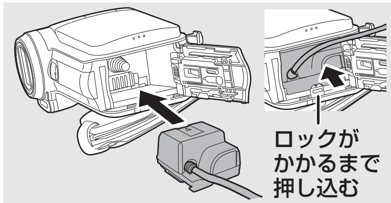
3 バッテリーケーブルカバーを開ける



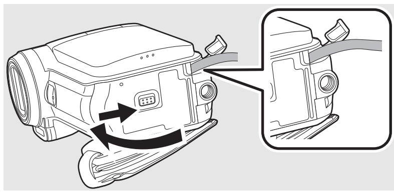
4 カード / バッテリーカバー開くレバーをスライドさせながら、カード / バッテリーカバーをずらして開ける



5 DC コードを取り付ける



6 カード / バッテリーカバーを閉じる



● DC コードを図のようにとおしてください。
●「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

■ バッテリーパックホルダーキット VW-VH04（別売）について

バッテリーパックホルダーキットを使用する場合は、本機のバッテリーケーブルカバーを開け、バッテリーパックホルダーキットのDCコードをとおして使用してください。

● バッテリーパックホルダーキットの取扱説明書もお読みください。

ヒント

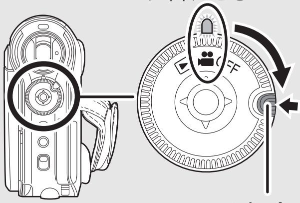
● DC コードを取り付けてご使用にならないときは、バッテリーケーブルカバーを閉じておいてください。

5. モードを選ぶ（電源を入れる / 切る）

モードダイヤルを回して、撮影・再生・電源「OFF」を切り換えます。
- **モードダイヤルはゆっくり回してください。**

電源を入れる

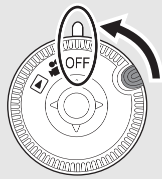
ロック解除ボタンを押しながら、モードダイヤルを 🎥 または ▶ に合わせる



動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。
- 撮影モードの場合は、レンズカバーが開きます。
- 「時計を設定してください。」が表示されたときは時計を合わせてください。（P40）

電源を切る

モードダイヤルを「OFF」に合わせる



動作表示ランプが消灯し、電源が切れます。
- 撮影モードから「OFF」にした場合は、レンズカバーが閉じます。

🎥	**撮影モード（P46、50）**	SD カードにビデオや写真を記録します。
▶	**再生モード（P73、78）**	SD カードに記録されたビデオや写真を再生します。
OFF		電源が切れます。

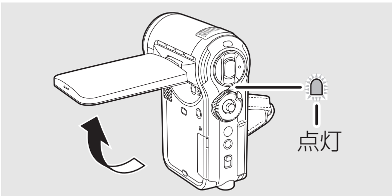
ヒント
- モードダイヤルは無理に回さないでください。

液晶モニターで電源を入れる / 切る

モードダイヤルが 🎥 のときは、液晶モニターで電源を入 / 切することができます。

■ 電源を入れる

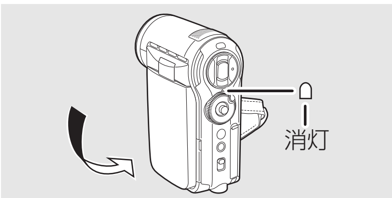
液晶モニターを開く



動作表示ランプが点灯し、電源が入ります。

■ 電源を切る

液晶モニターを閉じる



電源が切れると、動作表示ランプが消灯します。（クイックスタート（P31）を「入」にしているときは、クイックスタートの待機状態になり動作表示ランプが緑色点滅します）

- ビデオを撮影中は、液晶モニターを閉じても電源は切れません。

本機をご使用にならないときは、モードダイヤルを「OFF」にしてください。

6. クイックスタート

すばやく撮影を始める

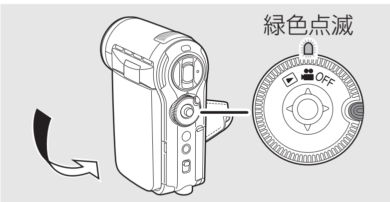
クイックスタートを設定すると、液晶モニターを開いたときに約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。**クイックスタートの待機状態では、撮影一時停止状態の約 7 割の電力を消費するため、撮影できる時間は短くなります。**

● SD カードを入れて、モードダイヤルを にする

1 メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→
「クイックスタート」→「入」

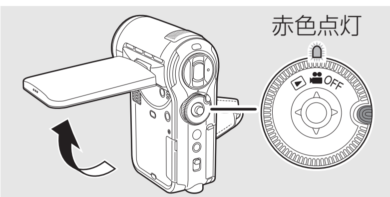
2 モードダイヤルを に合わせた状態で液晶モニターを閉じる



動作表示ランプが緑色点滅し、クイックスタートの待機状態になります。

● レンズカバーは閉じません。

3 液晶モニターを開く



動作表示ランプが赤色点灯し、約1.7秒で撮影の一時停止状態になります。

【クイックスタートを解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「セットアップ」→
「クイックスタート」→「切」

● クイックスタートの待機状態でモードダイヤルを「OFF」にすると、動作表示ランプが消灯し、レンズカバーが閉じ、電源が切れます。

● クイックスタートの待機状態が約5分以上続くと、動作表示ランプが消灯して電源が切れます。

ヒント

● 以下の場合には、クイックスタートの待機状態が解除され、動作表示ランプが消灯して電源が切れます。
- モードダイヤルを切り換える
- バッテリーまたはACアダプターを取り外す

● 白バランスがオートモードの状態でクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。
（ただし、カラーナイトビュー使用時は、最後に撮影したときの白バランスが保持されます）

● クイックスタートすると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になり、待機する前と比べて画像の大きさが変わることがあります。

● パワーセーブ（P121）を 5 分に設定して自動的にクイックスタートの待機状態になった場合は、液晶モニターを閉じて、再度開いてください。

7. SD カードを入れる / 出す

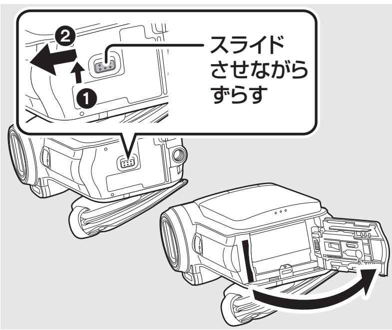
当社製以外の SD カードや他の機器でお使いになった SD カードを本機ではじめてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。（P86）フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンや DVD ディスクなどに保存しておいてください。（P96、107）

電源が入った状態で SD カードを出し入れすると、本機の誤動作や SD カード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

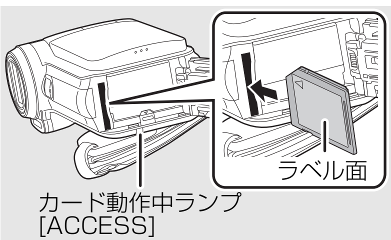
1 モードダイヤルを「OFF」にする

- 動作表示ランプの消灯を確認してください。

2 カード/バッテリーカバー開くレバーをスライドさせながら、カード / バッテリーカバーをずらして開ける



3 カード挿入部に SD カードを入れる（出す）



- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、SDカードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

4 カード / バッテリーカバーを閉じる

- 「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

■ SD カードについて

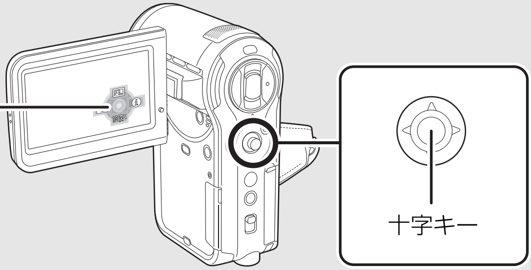
- SD カードの裏の接続端子部分に触れないでください。
- 電気ノイズや静電気、本機や SD カードの故障などにより SD カードのデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはパソコンや DVD ディスクなどに保存してください。（P96、107）
- データの書き込みを繰り返したSDカードをお使いの場合、ビデオの残り撮影可能時間が短くなることがあります。

■ カード動作中ランプについて

- カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。
- 点灯中に下記の動作を行わないでください。SD カードや SD カードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
  - カード / バッテリーカバーを開けて SD カードを抜く
  - 電源を切る
  - USB 接続ケーブルを抜き差しする
  - 振動や衝撃を与える

8. 十字キーの使いかた

十字キーを使って、撮影機能の選択や再生操作などが片手で簡単に行えます。



基本操作について

メニュー画面の操作やサムネイル表示でのシーン選択などを行います。



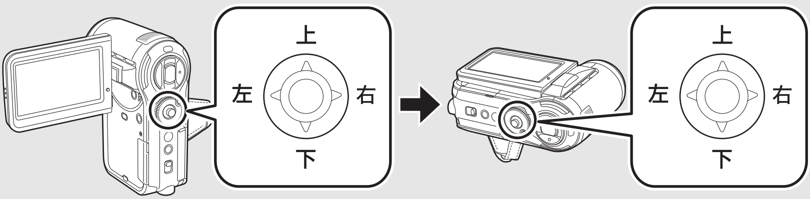
上下左右で選択　中央で決定

十字キーを上下左右にたおして項目やシーンを選択し、中央を押して決定する

- メニュー画面の操作について（P38）

■ 液晶モニターを反転収納した場合

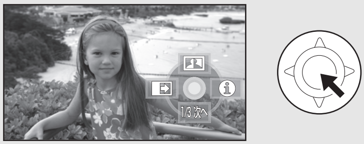
液晶モニターを裏返してたたむと、十字キーの上下左右が図のように変わります。



撮影機能を使う

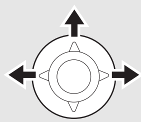
- モードダイヤルを に合わせる

1 十字キーの中央を押して、画面に操作アイコンを表示させる



- もう一度、十字キーの中央を押すと表示が消えます。
- 十字キーを下にたおすごとに表示が切り換わります。

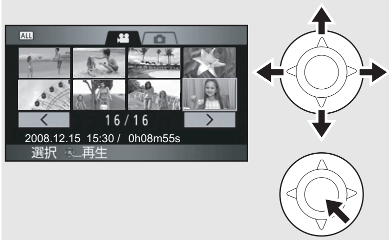
2 十字キーを上左右にたおして選ぶ



再生する

- モードダイヤルを に合わせる

1 十字キーで再生するシーンを選び、中央を押して決定する



- 選んだシーンが全画面で再生され、操作アイコンが自動的に表示されます。

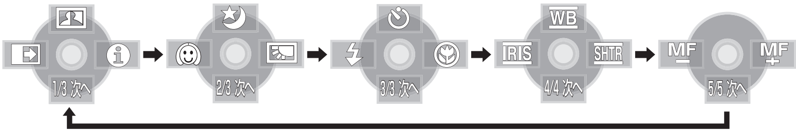
2 十字キーを上下左右にたおして操作する



- 十字キーの中央を押すと操作アイコンの表示 / 非表示の切り換えができます。

モードごとの操作アイコンについて

撮影モード



アイコン		方向	機能	ページ
(1/3)		▲	コントラスト視覚補正	55
		◀	フェード	56
		▶	ヘルプモード	37
(2/3)		▲	カラーナイトビュー	57
		◀	美肌モード	58
		▶	逆光補正	58
(3/3)		▲	セルフタイマー	59
		◀	フラッシュ	60
		▶	テレマクロ	61

オート / マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にした場合

マニュアル [MANUAL] 時 (4/4)	WB	▲	白バランス	69
	IRIS	◀	明るさ（絞り・ゲイン）	71
	SHTR	▶	シャッター速度	71

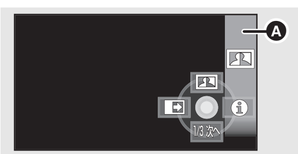
オート / マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] からフォーカス [FOCUS] にした場合

マニュアルフォーカス [FOCUS] 時 (5/5)	MF MF	◀▶	マニュアルフォーカス	68

部分の機能は、撮影中は表示されません。

- オート [AUTO]/ マニュアル [MANUAL] の切り換えについて（P44）

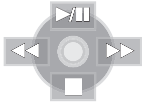
■ 画面右側の白帯表示について



撮影モード時に操作アイコンを表示すると画面右側に白帯 Ⓐ が表示されます。撮影機能を選択するとアイコンが白帯の上に表示されます。

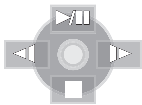
- 実際に記録される映像には影響しません。

▶ 再生モード（ビデオ再生時）



アイコン	方向	機能	ページ
▶/❚❚	▲	再生 / 一時停止	73
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	73
◀◀	◀	早戻し（再生中）	74
◀❚❚		逆スロー、逆コマ送り（一時停止中）	75
▶▶	▶	早送り（再生中）	74
❚❚▶		スロー、コマ送り（一時停止中）	75

▶ 再生モード（写真再生時）



アイコン	方向	機能	ページ
▶/❚❚	▲	スライドショーの開始 / 一時停止	79
■	▼	停止してサムネイル表示に戻る	79
◀❚	◀	前の写真を表示（一時停止中）	79
❚▶	▶	次の写真を表示（一時停止中）	79

ヘルプモード

撮影機能の説明を表示します。

- 撮影モードのオート[AUTO]時に選べるアイコンの説明が表示されます。
- **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

1 図の操作アイコンを表示させる (P33)



2 十字キーを右にたおして、「ⓘ」を選ぶ



3 十字キーを上左右にたおして、知りたい機能のアイコンを選ぶ



選択したアイコンの説明が画面下にスクロール表示されます。

- 十字キーを下にたおすと操作アイコンの表示が切り換わります。

【ヘルプモードを終了するには】

メニューボタンを押す、または「終了」を選ぶ



ヒント

- ヘルプモード中は機能設定できません。
- ヘルプモード中は撮影できません。

9. メニューを設定する

● 各メニューについては「メニュー一覧」（P119）をご覧ください。

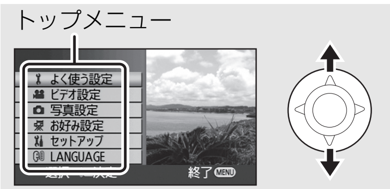
1 停止中、メニューボタンを押す



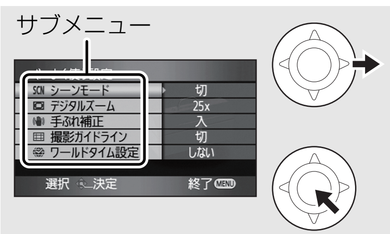
メニュー設定画面が表示されます。（モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります）

● メニュー表示中はモードダイヤルを切り換えないでください。

2 十字キーの上下で トップメニューを選ぶ

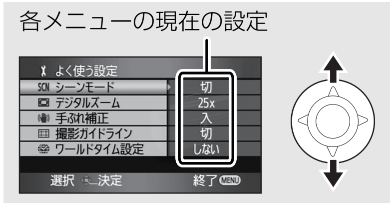


3 十字キーを右にたおす、または中央を押す

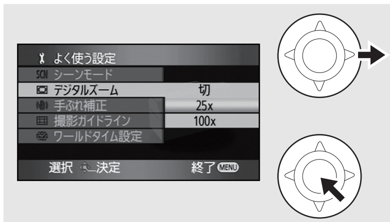


サブメニューが表示されます。

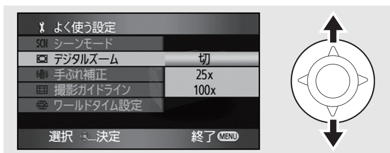
4 十字キーの上下で サブメニューを選ぶ



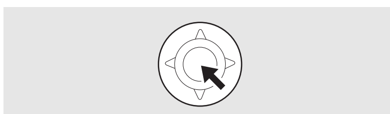
5 十字キーを右にたおす、または中央を押す



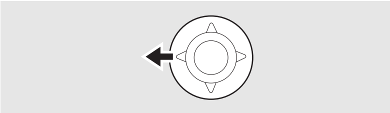
6 十字キーの上下で項目を選ぶ



7 中央を押して決定する



【前の画面に戻るには】



十字キーを左にたおす

【メニューの設定を終了するには】



メニューボタンを押す

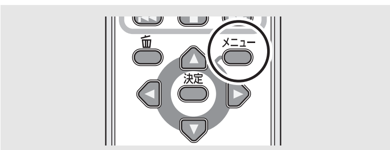
ヒント

- 撮影中や再生中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に他の操作はできません。

ワイヤレスリモコンで操作する

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

1 メニューボタンを押す

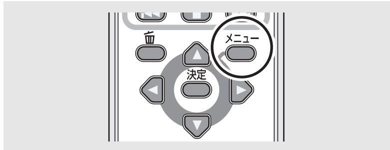


2 メニュー項目を選ぶ



- 本体の十字キーの代わりに方向ボタン（▲▼◀▶）、決定ボタンを使います。

3 メニューボタンを押して設定を終了する



10. 言語設定

画面に表示される言語を変更できます。

メニュー操作する（P38）

ランゲージ
「LANGUAGE」→
「日本語」または「English」（英語）



はじめに

11.時計設定

電源を入れたとき、「時計を設定してください。」というメッセージが表示される場合があります。十字キーの上下で「はい」を選んで中央を押し、下記手順2からのメニュー操作で時計設定をしてください。

■ 時計設定を変更する場合

● モードダイヤルを に合わせる

1 メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→「時計設定」→「する」

2 十字キーの左右で合わせる項目（年 / 月 / 日 / 時 / 分）を選び、上下で数字を合わせる



- 年は2000→2001→ … →2039 → 2000 と変わります。
- 時間は 24 時間表示です。
- ワールドタイム設定（P41）をホームに設定時は「 」が、旅行先に設定時は「 」が画面右上に表示されます。

3 十字キーの中央を押して決定する

- 決定すると秒が 0 から始まります。
- メニューボタンを押して設定を終了したあと、日時表示を確認してください。

【年月日・時刻の表示を切り換えるには】

メニュー操作する（P38）：
「セットアップ」→「日時表示」→希望の表示

- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタンでも切り換えられます。



【表示スタイルを切り換えるには】

メニュー操作する（P38）：
「セットアップ」→「表示スタイル」→希望の表示

表示スタイル	画面表示
年 / 月 / 日	2008.12.15
月 / 日 / 年	12 15 2008
日 / 月 / 年	15.12.2008

ヒント

- サマータイムにする場合は、時計設定をしたあと、「ワールドタイム設定」の「ホーム」でサマータイムに設定してください。
- 撮影前には、時計が合っているか確認してください。
- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。時刻表示が「ーー」のときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計を設定してください。

内蔵日付用電池を充電するには

- 本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間時計設定を記憶することができます。（モードダイヤルが「OFF」になっていても充電はされています）

ワールドタイム設定（旅行先の時刻を表示する）

お住まいの地域と旅行先を選び、旅行先の時刻を表示、記録することができます。

1 メニュー操作する（P38）

「よく使う設定」→
「ワールドタイム設定」→「する」

- 時計設定がされていない場合は、まず現在の時刻に合わせてから行ってください。
- はじめての設定時など「ホーム」（お住まいの地域）が設定されていない場合、メッセージが表示されます。十字キーの中央を押して、手順３に進んでください。

2 （お住まいの地域を設定する場合のみ）
十字キーを下にたおして、「ホーム」を選び、中央を押す

3 （お住まいの地域を設定する場合のみ）
十字キーの左右でお住まいの地域を選択し、中央を押して決定する



- 画面左上に、現在の時刻が表示され、左下には GMT（グリニッジ標準時）に対する時差が表示されます。
- ホームがサマータイム（夏時間）の場合は、十字キーを上にたおしてください。「 」が表示され、サマータイム設定になり時刻が１時間進みます。もう一度上にたおすと元に戻ります。

4 （旅行先の地域を設定する場合のみ）
十字キーを上にたおして、「旅行先」を選び、中央を押す

- はじめてホームを設定した場合のみ、続けてホーム / 旅行先の選択画面が表示されます。一度ホームを設定している場合は、手順１のメニュー操作を行ってください。

5 （旅行先の地域を設定する場合のみ）
十字キーの左右で旅行先の地域を選択し、中央を押して決定する



- 画面右上に、選んだ旅行先の現地時間が表示され、画面左下には、ホームに設定した地域との時差が表示されます。
- 旅行先がサマータイム（夏時間）の場合は、十字キーを上にたおしてください。「 」が表示され、サマータイム設定になり時刻が１時間進みます。もう一度上にたおすと元に戻ります。
- メニューボタンを押して設定を終了してください。「 」が画面に表示され、旅行先の時刻になります。

【時刻表示をホームに戻すには】
手順１～３でホームを設定し、メニューボタンを押して設定を終了してください。

ヒント

- 画面に表示される地域で旅行先が見つからない場合は、ホームからの時差を参考に設定してください。

はじめに

12.液晶モニターを調整する

液晶モニターの明るさや色の濃さを調整する

1 メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→「液晶調整」→「する」

2 調整する項目を十字キーの上下で選択し、中央で決定し左右で調整する



バー表示が移動します。

- 調整終了後、約 2 秒間操作しないとバー表示が消えます。
- 設定を終了するときはメニューボタンを押してください。

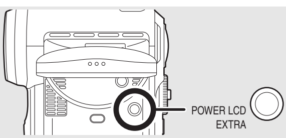
明るさ　：液晶モニターの明るさ
色レベル：液晶モニターの色の濃さ

ヒント

- 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

■ 液晶モニター全体を明るくするには

POWER LCD EXTRA ボタンを押す



「+1」が液晶モニターに表示されます。

- 明るさが押すごとに切り換わります。
「+1」→「+2」→設定解除（標準）
- 周囲が明るく液晶モニターが見にくい場合は、POWER LCD EXTRA ボタンを押してください。液晶モニターが通常より明るくなり、見やすくなります。
- LCD ＝液晶モニター
(Liquid Crystal Display) のことです。

ヒント

- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプター使用時は、電源を入れると自動的に「+1」が表示され、画面が明るくなります。

液晶モニターの画質を変更する（液晶 AI）

メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→「液晶 AI」→「ダイナミック」または「ノーマル」

ダイナミック：
明暗がはっきりした、メリハリのある液晶画質になります。

ノーマル：
標準の液晶画質になります。

ヒント

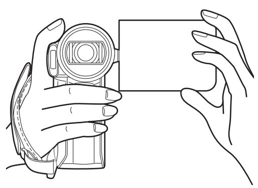
- 「ダイナミック」に設定すると、液晶モニターが撮影シーンに応じて最適なコントラスト・明るさに設定されます。輝き感のある、引き締まった映像を表示します。
- 効果は撮影シーンによって異なります。
- 液晶モニターが明るくなっているとき（「+1」または「+2」が表示されているとき）は、自動的に「ダイナミック」になり、設定は変更できません。
- 実際に記録される映像には影響しません。

撮影前の確認

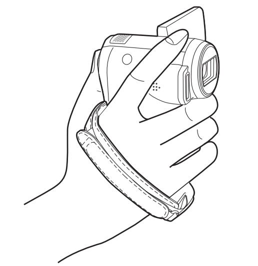
当社製以外のSDカードや他の機器でお使いになったSDカードを本機ではじめてお使いの場合は、まずフォーマットしてください。（P86）フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことができません。大切なデータはパソコンや DVD ディスクなどに保存しておいてください。本機で撮影したデータを取り込むときは、HD Writer 2.0J を使って取り込むことをおすすめします。（P96、107）

■ 基本的な構えかた

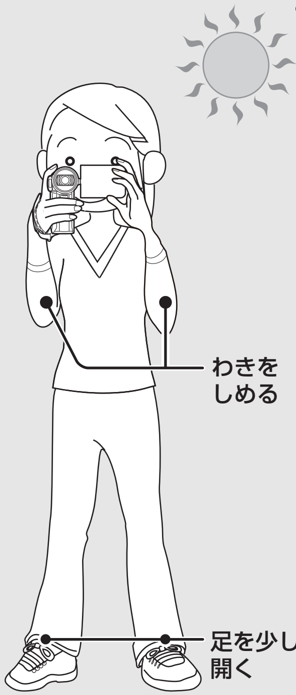
両手でしっかりと持つ



グリップベルトに手をとおす

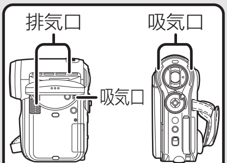


落下防止のため、グリップベルトに手をとおして、しっかりと持ってください。



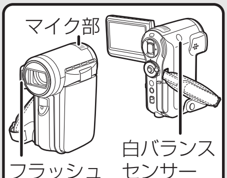
● 屋外では、なるべく太陽を背にして撮影してください。逆光では被写体が暗く撮影されます。

冷却ファンの吸排気口を手などでふさいで放熱を妨げない



内部に熱がこもると、故障の原因になることがあります。

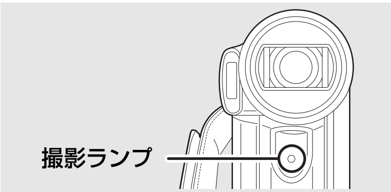
マイク・白バランスセンサー・レンズ・フラッシュを手などでふさがない



● 撮影時には、足場が安定していることを確認し、ボールや競技者などと衝突する恐れがある場所では周囲に十分お気をつけください。

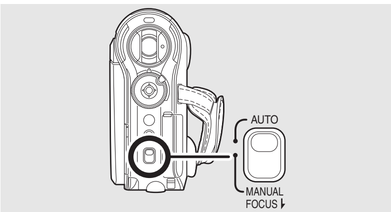
■撮影ランプについて

リモコン受信時やセルフタイマー動作時に点滅します。
「お好み設定」の「撮影ランプ」を「入」にすると、撮影時に点灯するようになりますので、三脚に取り付けたときや、リモコン使用時に、撮影中であることを確認することができます。



■オートモードについて

オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にすると、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。



- オートホワイトバランス（P152）
- オートフォーカス（P153）

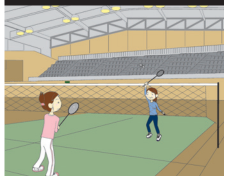
また、被写体の明るさなどによって、絞りとシャッター速度で明るさが自動的に調整されます。（撮影モード時、シャッター速度は最大 1/250 まで）

- 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動（マニュアル）で調整してください。
  - シーンモード（P67）
  - 白バランス（P69）
  - シャッター速度（P71）
  - 絞り・ゲイン値（P71）
  - マニュアルフォーカス（P68）

■撮影場面に合わせた設定例

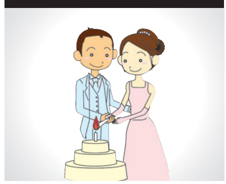
以下の設定はあくまでめやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。

体育館



白バランス→（セットモード）
- 光源が複数ある場合、オートでは白バランス調整が正しく働かない場合があります。

披露宴、舞台、発表会



白バランス→場面ごとに設定
- スポットライトが当たっている場所では、シーンモードを「（スポットライト）」にすることをおすすめします。

夜景、花火



白バランス→（屋外モード）
フォーカス→マニュアル

運動会



白バランス→オート

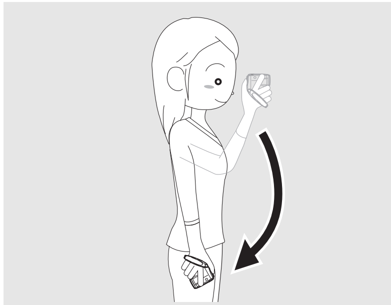
動きの速いシーン



シーンモード→（スポーツ）
白バランス→オート
フォーカス→マニュアル

うっかり撮り防止（AGS）

撮影を一時停止することを忘れて、撮影状態のまま本機を逆さまにしているときなどに無駄な撮影を防ぐことができます。



- ビデオ撮影中に、本機が水平方向から逆さまや横倒しになると、自動的に撮影を一時停止します。

【うっかり撮り防止機能を入/切するには】

- **モードダイヤルを に合わせる**

メニュー操作する（P38）：
「ビデオ設定」→「うっかり撮り防止」→「入」または「切」

- AGS: Anti（アンチ） Ground（グラウンド） Shooting（シューティング）の略です。

ヒント

- お買い上げ時は「切」に設定されています。
- 真上や真下を撮影していると、うっかり撮り防止機能が働き、撮影が一時停止することがあります。このような場合は、うっかり撮り防止機能を「切」にして撮影してください。
- うっかり撮り防止機能は、撮影を一時停止し忘れたときのための機能です。通常は撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を停止してください。
- 本機が逆さまや横倒しになってから一時停止するまでの時間は、使用状況によって異なります。

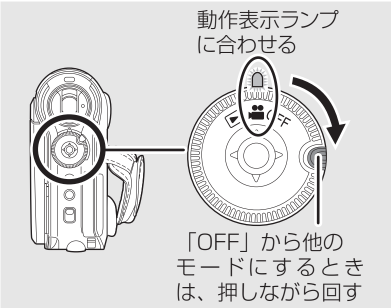
1. ビデオを撮影する

ビデオ

SD カードにビデオを記録します。

- **ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。（P22）**
- 本機はワイドテレビの画面比率（16 : 9）に対応した、ハイビジョン映像で記録します。

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせる

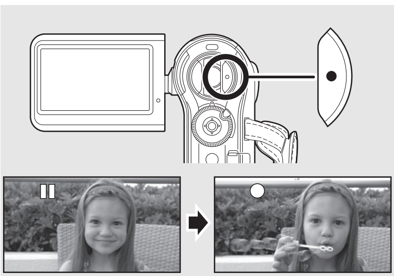


レンズカバーが自動的に開きます。

2 液晶モニターを開く

- 液晶モニターを閉じたまま、撮影の開始はできません。

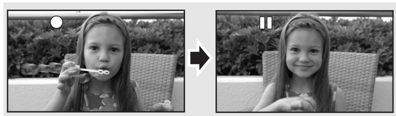
3 撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を始める



- 撮影中に液晶モニターを閉じても撮影は続きます。

【撮影を終わるには】

撮影開始 / 一時停止ボタンをもう 1 度押す



- 「●」「❚❚」が赤色表示のときは記録中ですので、「❚❚」が緑色表示になるまでは本機を動かさないでください。
- 撮影を開始してから停止するまでが 1 シーンとして記録されます。
- 一時停止状態で約5分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。この設定は、「切」にすることもできます。（パワーセーブについて（P121））

■撮影時の画面表示について



❶ **記録モード**

❷ **残り撮影可能時間**
（残りが 1 分未満になると、
「残 0 分」が赤色点滅します）

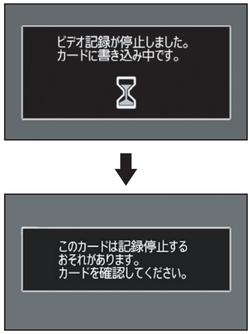
❸ **撮影の経過時間**

ヒント

- シーンの最大記録数：999
（SD カードの容量が残っていても、999 シーン撮影できない場合があります）
- 日付別の最大記録数：99
（同じ日に撮影されたシーンでも、日付がわかれて記録される場合があります（P76））
- シーンまたは日付別の最大記録数を超えたSDカードは本機では使用できません。
- 音声は本機の上面にある内蔵マイクから録音されます。ふさがないようにお気をつけください。
- 撮影の経過時間表示は、記録一時停止ごとに 0h00m00s に戻ります。
- ビデオ撮影中にバッテリーや AC アダプターを外したり、カード動作中ランプ点灯中にカード / バッテリーカバーを開けて SD カードを抜かないでください。このような操作をした場合、次にその SD カードを入れたり、電源を入れ直したときに、シーンの修復メッセージが表示され修復が行われます。（修復について（P125））

■ビデオ撮影中に突然記録が停止した場合

ビデオ撮影に使用可能な SD カード（P22）以外を使用すると下記メッセージが表示され突然記録が停止することがあります。
ビデオを撮影するときは、ビデオ撮影に使用可能な SD カード（P22）をお使いください。



ビデオ撮影に使用可能な SD カード（P22）をお使いの場合でもこのようなメッセージが表示されるときは

データの書き込みを繰り返して、データ書き込み速度が低下しています。使用している SD カードをフォーマットすることをおすすめします。（P86）フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータが消去されますので、大切なデータは事前にパソコンに保存しておいてください。（P107）（本機で撮影したデータを取り込むときは、HD Writer 2.0J などを使って取り込むことをおすすめします（P107））

2. PRE-REC（プリレック）機能を使う

撮影の撮り逃しを防ぐ

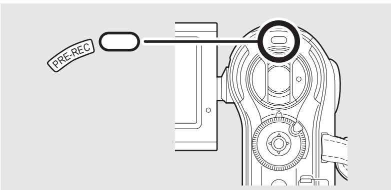
ビデオ

撮影の撮り逃しを防ぐため、撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約 3 秒前からの映像や音声を記録することができます。

- モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 液晶モニターを開く

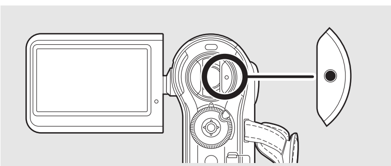
2 PRE-REC ボタンを押す



画面に「PRE-REC」が表示されます。

- **本機を被写体に向けてしっかり構えてください。**
- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押す約 3 秒前からの映像や音声を記録します。

3 撮影開始/一時停止ボタンを押して撮影を始める



- お知らせブザーは鳴りません。
- 一度撮影を開始すると、PRE-REC の設定が解除されます。
- 再度 PRE-REC 機能をお使いの場合は、もう一度 PRE-REC ボタンを押してください。

【PRE-REC を解除するには】

- PRE-REC中にPRE-RECボタンを押すと、解除されます。

ヒント

- 以下の場合には、PRE-REC が解除されます。
  - モードダイヤルを切り換える
  - 電源を切る
  - カード / バッテリーカバーを開ける
  - メニューボタンを押す
  - クイックスタートの待機状態
- ビデオの残り撮影可能時間が1分未満のときは、PRE-REC を設定できません。
- PRE-RECボタンを押してから約3秒以内に撮影を開始した場合は、通常撮影になります。
- 撮影開始 / 一時停止ボタンを押したときのカメラぶれや操作音が記録される場合があります。
- 再生モード時のサムネイル表示は、撮影開始 / 一時停止ボタンを押したときの画像になりますので、再生開始の映像と異なります。

3. 記録モード / 記録可能時間

ビデオ

記録するビデオの画質を切り換えます。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニュー操作する（P38）

「ビデオ設定」→「記録モード」→希望の画質

当社製 SD カード 1 枚あたりの記録時間のめやす

SD カードの容量	HG（高画質モード）	HN（標準モード）	HE（長時間モード）
512 MB	約 5 分	約 7 分	約 10 分
1 GB	約 10 分	約 15 分	約 22 分
2 GB	約 20 分	約 30 分	約 45 分
4 GB	約 40 分	約 1 時間	約 1 時間 30 分
8 GB	約 1 時間 20 分	約 2 時間	約 3 時間
16 GB	約 2 時間 40 分	約 4 時間	約 6 時間
32 GB	約 5 時間 20 分	約 8 時間	約 12 時間

HG 高画質モード（1920×1080画素）：
高画質で撮影することができます。

HN 標準モード（1440×1080画素）：
標準の画質で撮影することができます。

HE 長時間モード（1440×1080画素）：
より長時間撮影することができます。

撮影する

- **どの記録モードで記録してもハイビジョン画質で撮影されます。**
- HG モードは CBR 記録方式を採用しています。CBR とは Constant Bit Rate（コンスタント ビット レート）（固定ビットレート）の略で、ビットレート（一定時間あたりのデータ量）が変わらない記録方式です。
- HNモード/HEモードはVBR記録方式を採用しています。VBRとはVariable Bit Rate（バリアブル ビット レート）（可変ビットレート）の略で、撮影する被写体により、ビットレート（一定時間あたりのデータ量）が自動的に変わる記録方式です。このため、動きの激しい被写体を記録した場合は、記録時間は短くなります。
- 音声は Dolby Digital で記録されます。

ヒント

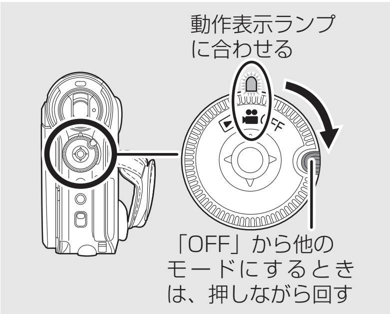
- **バッテリーを使って撮影できる時間について（P26）**
- 8 MB および 16 MB の SD カードではビデオ撮影できません。
- SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。（P23）
- 1枚のSDカードで記録や削除を繰り返すと、SDカードに容量が残っていてもビデオ撮影できなくなる場合があります。この場合、パソコンにデータを保存したあと SD カードを本機でフォーマットしてください。
- 以下のような撮影条件では、再生画面にモザイク状のノイズが出る場合があります。
  - 背景に複雑な絵柄がある場合
  - 本機を大きくまたは速く動かした場合
  - 動きの激しい被写体を撮影した場合（特に記録モードを「HE」に設定しての撮影時）

1. 写真（JPEG（ジェイペグ）静止画）を撮影する

写真

SD カードに写真を記録します。
● 写真の記録画素数は、ワイドテレビの画面比率（16：9）に対応した「1920×1080」で記録します。

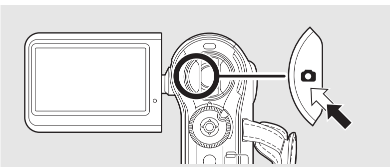
1 モードダイヤルを 🎥 に合わせる



レンズカバーが自動的に開きます。

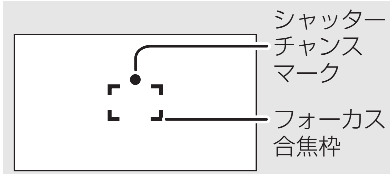
2 液晶モニターを開く

3 （オートフォーカス時のみ）
フォトショットボタンを半押し（浅く押す）してピントを合わせる



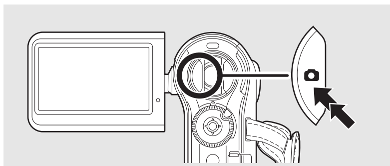
シャッタースピードと絞り・ゲイン値が表示され、自動でピントを合わせます。
● 手ぶれ補正（P62）を「入」に設定していると、手ぶれ補正の効果が高くなります。[「MEGA((✋))」（MEGA OIS）表示が出ます]

シャッターチャンスマーク：



○（白点滅）：ピント合わせ中
●（緑点灯）：ピントが合ったとき（お知らせブザーが「ピピッ」と鳴ります）
マークなし　：ピントが合わなかったとき（お知らせブザーが「ピッピッピッピッ」と鳴ります）

4 フォトショットボタンを全押し（最後まで押す）して撮影する



● よりきれいな写真を記録するため、写真記録中は画面が明るくなります。

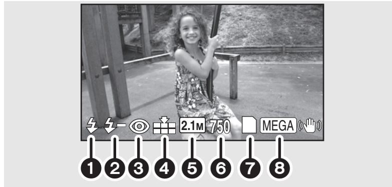
【写真をきれいに撮影するには】

- 4倍以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近づいて撮ることをおすすめします。
- 写真を撮影する際は、ぶれのないように本機を両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
- 三脚・ワイヤレスリモコンを使うと、手ぶれのない画像を撮影することができます。

ヒント

- SDカードへの記録可能枚数について（P53）
- 音声は記録できません。
- SDカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしているときは記録できません。
- リモコンでは、フォトショットボタンの半押しはできません。
- 「写真画質」を「▲」に設定して撮影すると、被写体によっては画像がモザイク状になることがあります。
- SDカードにアクセス中（ 表示中／カード動作中ランプ点灯中）は、下記の動作を行わないでください。SDカードやSDカードの内容が破壊されることがあります。
  - カード／バッテリーカバーを開けてSDカードを抜く
  - 電源を切る
  - 振動や衝撃を与える
- 本機で記録した写真を他の機器で再生すると、画質が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 本機で記録した横縦比16:9の写真は、プリント時に端が切れることがあります。お店やプリンターなどでプリントする場合は事前にご確認ください。

■フォトショット半押し時に表示される画面について

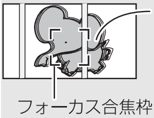


❶ フラッシュ（P60）
❷ フラッシュ明るさ（P61）
❸ 赤目軽減（P61）
❹ 写真画質（P53）
❺ 記録画素数
❻ 残り記録可能枚数
（「0」になると赤色点滅します）
❼ カード表示（P122）
❽ MEGA OIS（P50）

■シャッターチャンスマークについて

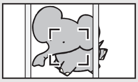
- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- 自動でピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで合わせてください。（P68）
- シャッターチャンスマークが出なくても撮影は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
  - ズーム倍率が大きい
  - 手ぶれが大きい
  - 被写体が動いている
  - 逆光のとき
  - 遠近が共存している場面
  - 低照度で暗い場面
  - 明るい部分が入っている場面
  - 横線しかない場面
  - コントラストが少ない場面
  - ビデオ撮影中
  - カラーナイトビュー時
  - PRE-REC中

■ フォーカス合焦枠について



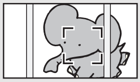
コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。



少し画面をずらす。

または



少しズームインする。または被写体に近づく。

フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。このときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

- それでもピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。（P68）
- デジタルズーム（約 10 倍以上使用時）では、フォーカス合焦枠は表示されません。

シャッター音を入 / 切するには

写真撮影時にシャッター音を出すかどうかを設定できます。

メニュー操作する（P38）：
「写真設定」→「シャッター音」→「入」または「切」

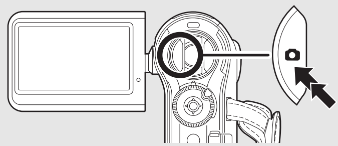
ヒント

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- ビデオ撮影中は働きません。

同時記録（ビデオ撮影中に写真を記録）について

ビデオを撮影中でも、写真を記録できます。

ビデオ撮影中に、フォトショットボタンを全押し（最後まで押す）して撮影する



ヒント

- フォトショットボタンの半押しは働きません。
- フォトショット半押し時に表示される画面（P51）は表示されますが、残り記録可能枚数は表示されません。
- ビデオ撮影を優先するため、通常の写真撮影時と画質が異なります。より高画質な写真を撮影するには、ビデオ撮影の一時停止中に撮ることをおすすめします。

2. 写真画質 / 記録可能枚数

写真

写真画質

記録する画質を切り換えます。

メニュー操作する（P38）：
「写真設定」→「写真画質」→希望の画質

：高画質な写真を記録します。
：記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

SD カードへの記録可能枚数

■ 写真画質と記録可能枚数

記録画素数	2.1M（1920×1080）	
写真画質	（高画質）	（標準画質）
8 MB	約 4 枚	約 6 枚
16 MB	約 10 枚	約 17 枚
32 MB	約 20 枚	約 32 枚
64 MB	約 47 枚	約 74 枚
128 MB	約 94 枚	約 150 枚
256 MB	約 200 枚	約 320 枚
512 MB	約 410 枚	約 640 枚
1 GB	約 820 枚	約 1290 枚
2 GB	約 1670 枚	約 2630 枚
4 GB	約 3290 枚	約 5160 枚
8 GB	約 6690 枚	約 10520 枚
16 GB	約 13470 枚	約 21170 枚
32 GB	約 27030 枚	約 42480 枚

● **「 」、「 」が混在している場合や撮影される被写体によっては、写真の記録可能枚数は変動します。**

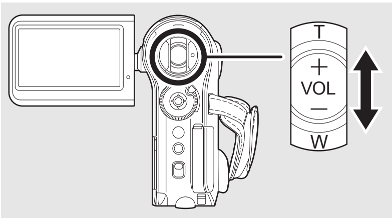
1. ズーム

ビデオ　写真

光学で最大 10 倍まで拡大できます。

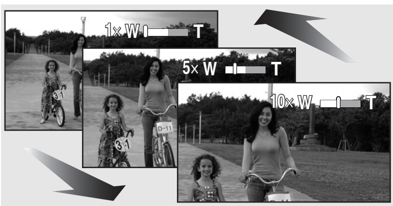
● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

ズームレバーを動かす



T 側：大きく撮る（ズームイン：拡大）

W 側：広く撮る（ズームアウト：広角）



ヒント

- ズーム操作中にズームレバーから指を離すと、操作音が記録されることがあります。レバーを元の位置に戻すときは、静かに戻してください。
- 本機を手に持ってズームインで撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P62）
- ズーム倍率を大きくしているときは、約 1.2 m 以上でピントが合います。
- ズーム倍率が 1 倍のときは、レンズから約 4 cm まで近づいて撮ることができます。（マクロ機能）
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。（ワイヤレスリモコンでは、ズーム速度は変わりません）

- ズームレバーを最後まで押し込むと、最速約 2.3 秒で 1 ～ 10 倍までズームできます。
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。

デジタルズーム

ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

メニュー操作する（P38）

「よく使う設定」→「デジタルズーム」→希望の倍率

切　　：光学ズームのみ（最大10倍まで）

25×　：デジタルズーム（最大25倍まで）

100×：デジタルズーム（最大100倍まで）

- 25×、100× のときは、ズーム動作中にデジタルズームの領域が青色で表示されます。

ヒント

- ズーム倍率を大きくするほど画質は粗くなります。

ズームマイク機能について

ビデオ

ズーム操作に連動して、拡大では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

メニュー操作する（P38）

「ビデオ設定」→「ズームマイク」→「入」

ヒント

- 拡大時にはステレオ感がなくなります。

2. 対面撮影

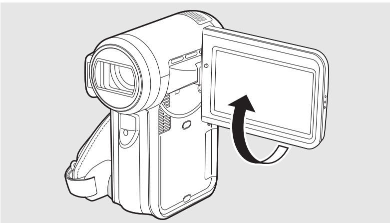
自分自身を撮影する

ビデオ　写真

液晶モニターをレンズ側に回転させると、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ることができます。

● モードダイヤルを に合わせる

液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させる



液晶モニターに映る画像が鏡のように左右反転します。（記録される映像は通常どおりです）

ヒント

● 対面撮影時は、十字キーを押しても操作アイコンは表示されません。
● 対面撮影時は、画面表示は一部だけになります。[!] が表示されたときは、液晶モニターを通常撮影方向に回転させて、文章表示内容を確認してください。（P124）

3. コントラスト視覚補正

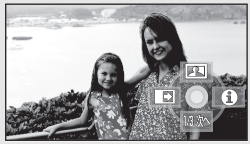
明るいところも、暗いところも同時にきれいに撮る

ビデオ　写真

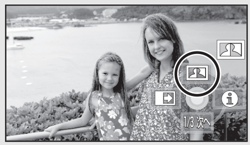
暗くて見えにくい陰の部分を明るく、明るい部分の白とびを抑えます。

● モードダイヤルを に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる**（P33）**



2 十字キーを上にたおして、「 」を選ぶ



【コントラスト視覚補正を解除するには】

もう一度、「 」を選ぶ

ヒント

● 極端に暗い部分や、明るい部分があるとき、または明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。
● 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

4. フェード

ビデオ

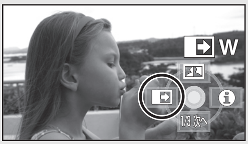
フェードイン：
映像と音声を徐々に現す
フェードアウト：
映像と音声を徐々に消す

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを左にたおして、「⇨」を選ぶ

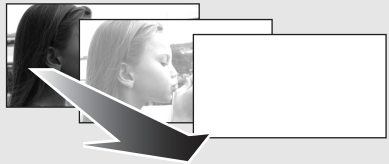


3 撮影開始/一時停止ボタンを押して、撮影を開始する（フェードイン）



記録を始めると、映像／音声が完全に消えたあと、映像／音声が少しずつ現れます。

4 撮影開始/一時停止ボタンを押して、撮影を一時停止する（フェードアウト）



映像／音声が少しずつ消えていき、完全に映像／音声が消えたあと、記録が停止します。
● 記録後、フェード設定は解除されます。

【フェードを解除するには】
もう一度、「⇨」を選ぶ

フェードする画面の色を選ぶには

フェードするときの色を変更することができます。

メニュー操作する（P38）：
「ビデオ設定」→「フェード色」→「白」または「黒」

白　黒



画面の表示が変わります。

ヒント
● 電源を切ると解除されます。
● フェードイン時は、撮影を開始してから映像が現れるまで数秒かかります。
フェードアウト時は、撮影開始／一時停止ボタンを押してから撮影が終了するまで数秒かかります。
● フェードインで撮影した映像は、再生時のサムネイル表示が白一色（または黒一色）になります。

5. カラーナイトビュー

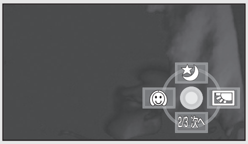
暗い場所で撮る

ビデオ 写真

暗い場所（最低照度：約 1 lx）でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。三脚に取り付けて使うと、ぶれの少ない映像が撮れます。

- **撮影した映像はコマ落としのようになります。**
- モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを上にたおして、「☆☽」を選ぶ



【カラーナイトビュー機能を解除するには】

もう一度、「☆☽」を選ぶ

ヒント

- フォトショットボタンを半押ししてもシャッターチャンスマークは出ません。
- オートフォーカス時、暗い場所ではピントを合わせるまでに時間がかかります。ピントが合いにくいときはマニュアルフォーカスで調整してください。
- フラッシュは使用できません。
- カラーナイトビューは、CCD の信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。

撮影する

6. 美肌モード

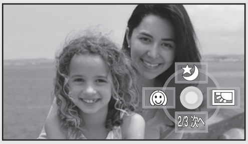
肌の色をソフトに見せ、
よりきれいに映す

ビデオ　写真

人物の胸から上を大きく撮る場合に効果的です。

● モードダイヤルを に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを左にたおして、「」を選ぶ



【美肌モードを解除するには】

もう一度、「」を選ぶ

ヒント

- 背景などに肌色に近い色をした個所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。
- 人物を小さく撮影すると顔がぼけて映る場合があります。そのときは美肌モードを解除するか顔を大きく（アップで）撮影してください。

7. 逆光補正

逆光で人物などが暗くなるのを
防ぐ

ビデオ　写真

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

● モードダイヤルを に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを右にたおして、「」を選ぶ



画面の映像が明るくなります。

【逆光補正を解除するには】

もう一度、「」を選ぶ

ヒント

- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

8. セルフタイマー

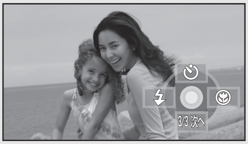
自分も入って撮る

写真

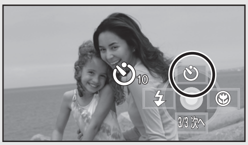
タイマーを使って写真を撮影できます。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを上にたおして、「⏲」を選ぶ



● 選ぶごとに切り換わります。
「⏲10」→「⏲2」→設定解除
⏲10　：10 秒後に撮影
⏲2　：2 秒後に撮影

3 フォトショットボタンを押す

「⏲10」または「⏲2」表示と撮影ランプが、設定した時間点滅したあと撮影されます。

● 撮影後、セルフタイマーは解除されます。
● オートフォーカス時は、フォトショットボタンを半押ししてから全押しすると、半押ししたときにピントを合わせます。
● オートフォーカス時は、フォトショットボタンを一度に全押しすると、撮影直前にピントを合わせます。

【セルフタイマーを途中で止めるには】
メニューボタンを押す（セルフタイマーが解除されます）

ヒント

● 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。
● 撮影開始／一時停止ボタンを押してビデオ撮影を始めると解除されます。
セルフタイマーのカウントダウン中は撮影開始 ／ 一時停止ボタンを押しても、ビデオ撮影はできません。
● ピント合わせのため、撮影されるまでに設定時間以上かかる場合があります。
● セルフタイマーを「⏲2」に設定すると、三脚使用時などフォトショットボタンを押したときのカメラぶれを防ぐのに便利です。

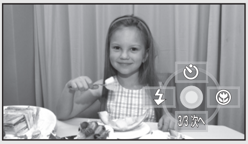
9. フラッシュ

写真

暗い場所での写真撮影時にお使いください。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを左にたおして、「ϟ」を選ぶ



● 選ぶごとに切り換わります。
「入」→「オート」→「解除」
● フォトショットボタン半押し時は画面左下にフラッシュ表示が出ます。
入　　：ϟ
オート：ϟA
解除　：(ϟ)
●「オート」に設定すると、自動で周りの明るさを感知し、フラッシュが必要だと判断したときに発光します。（不要と判断した場合は、フォトショットボタン半押し時に「ϟA」が表示されません）
● お買い上げ時は「オート」に設定されています。

3 フォトショットボタンを押す

フラッシュが発光し、写真が記録されます。

【フラッシュを使わないときは】

フラッシュを「解除」に設定する

ヒント

● フラッシュ発光部を手などでふさがないでください。
● フラッシュを「解除」に設定していても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。（フラッシュを必要と判断したときは、フォトショットボタンの半押し時に「(ϟ)」が赤色で点灯します）
● フォトショットボタンの半押し時に、「ϟ」などの表示が点滅中または無表示の場合は、フラッシュは発光しません。
● フラッシュの使用可能範囲（めやす）は、暗い部屋で約1 m～2.5 mです。2.5 m以上では暗く映ったり、画面が赤っぽくなる場合があります。
● フラッシュを発光させると、1/750 以上のシャッター速度は、1/500 に固定されます。
● 暗いところではピントが合わない場合がありますので、マニュアルフォーカスで調整してください。（P68）
● 白っぽい背景の前でフラッシュを発光させると、被写体が暗く映る場合があります。
● コンバージョンレンズ（別売）を付けていると、フラッシュの光をさえぎるため影が現れ、暗くなる場合があります。（ケラレ）
● フラッシュ撮影が禁止されている場所では、「解除」に設定しておいてください。
● 発光回数が多くなると、フラッシュの充電時間が長くなる場合があります。

フラッシュ発光時に人物の目が赤くなるのを軽減するには（赤目軽減）

人の瞳が赤く写るのを抑えるため、フラッシュが予備発光したあと再び発光します。

メニュー操作する（P38）

「写真設定」→「赤目軽減」→「入」

【赤目軽減を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「写真設定」→「赤目軽減」→「切」

ヒント

- フラッシュが2回発光します。2回目の発光が終了するまで動かないでください。
- 暗い場所で人物を撮影するときなどに、お使いください。
- 撮影状況や個人差によっては、目が赤く映る場合があります。

フラッシュの明るさを調整するには

メニュー操作する（P38）

「写真設定」→「フラッシュ明るさ」→希望の設定

ϟ− ：明るさが強すぎるとき
ϟ±0：通常の撮影時
ϟ+ ：明るさが不十分なとき

10.テレマクロ機能

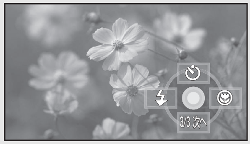
撮りたいものにだけピントを合わせて、クローズアップする

ビデオ　写真

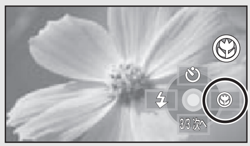
被写体のみにピントを合わせ、背景をぼかすことで、より印象的な映像にします。約 50 cm まで近づいて撮影できます。

- **モードダイヤルを に合わせる**

1 図の操作アイコンを表示させる（P33）



2 十字キーを右にたおして、「」を選ぶ



- ズーム倍率が10倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。

【テレマクロ機能を解除するには】
もう一度、「」を選ぶ

ヒント

- ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調整してください。(P68)
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。

11.手ぶれ補正

ぶれを少なくして撮る

ビデオ　写真

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

- モードダイヤルを に合わせる

メニュー操作する（P38）

「よく使う設定」→「手ぶれ補正」→「入」

【手ぶれ補正を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「よく使う設定」→「手ぶれ補正」→「切」

ヒント

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 写真撮影時は、フォトショットボタンを半押しすると、手ぶれ補正の効果が高くなります。（MEGA OIS）
- 三脚使用時は、手ぶれ補正を使わないことをおすすめします。
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - デジタルズーム使用時
  - コンバージョンレンズ使用時

12.ガイドライン

傾きやバランスを見ながら
撮影 / 再生する

ビデオ　写真

撮影時または再生時に、映像が水平になっているか確認することができます。構図のバランスを見るめやすにもなります。

- モードダイヤルを に合わせる
  または
  モードダイヤルを に合わせて
  「 」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P73）

メニュー操作する（P38）

「よく使う設定」→
「撮影ガイドライン」→希望の設定
または「再生設定」→
「再生ガイドライン」→希望の設定

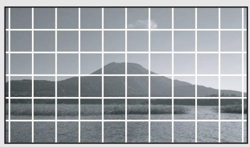
水平ガイド



格子１



格子２



【ガイドラインを解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「よく使う設定」→
「撮影ガイドライン」→「切」
または「再生設定」→
「再生ガイドライン」→「切」

ヒント

- ガイドラインは実際に記録される映像には影響しません。
- 対面撮影時は、ガイドラインは表示されません。

13.風音低減

内蔵マイクに当たる風の音を低減する

ビデオ

- モードダイヤルを に合わせる

メニュー操作する（P38）

「ビデオ設定」→「風音低減」→「入」

【風音低減を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「ビデオ設定」→「風音低減」→「切」

ヒント

- お買い上げ時は「入」に設定されています。
- 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります）

撮影する

14.マイクレベル

マイクの入力レベルを調整する

ビデオ

撮影時、内蔵マイクの入力レベル（録音時）を調整することができます。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせせる

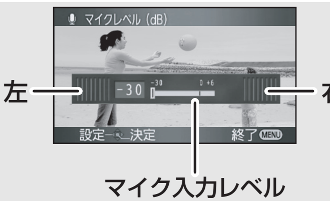
1 メニュー操作する（P38）

「ビデオ設定」→「マイクレベル」→「設定＋AGC」または「設定」

AGC：Auto Gain Control（自動録音レベル調整）の略です。

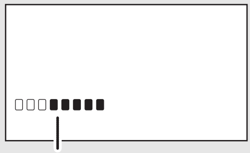
オート	AGC が働き、自動的に録音レベルを調整します。
設定＋ AGC	好みの録音レベルに設定できます。AGC も働きますので、音のひずみを軽減できます。
設定	AGC が働きませんので、自然な録音ができます。またズームマイク機能設定時は、ズーム倍率を調整してからマイクレベルを設定してください。

2 十字キーの左右でマイク入力レベルを調整する



2つの内蔵マイクそれぞれに対応した音量メーターが表示されます。（マイク入力レベルを個別に設定することはできません）

3 十字キーの中央を押して決定し、メニューボタンを押して設定を終了する



● 画面にマイクレベルメーターが表示されます。

【自動設定に戻すには】

メニュー操作する（P38）：
「ビデオ設定」→「マイクレベル」→「オート」

ヒント

● 「設定＋AGC」または「設定」を選んだとき、音量メーターのバーが 2 本赤く点灯すると、音がひずんでいます。マイクレベルを下げるか「オート」にしてお使いください。
● マイクレベルメーターは2つの内蔵マイクの中で、音量の大きい方を表示しています。
● ズームマイクを「入」に設定していると、ズーム倍率によって音量が変わります。ズームマイクを「切」にするか、ズーム倍率を調整してからマイクレベルを設定してください。（P54）

15.ゼブラ表示

明るすぎる部分を表示する

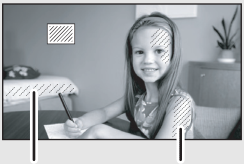
ビデオ　写真

白とび（色とび）の起こりそうな部分（極端に明るい場所、光っている場所）を斜線（ゼブラパターン）で表示します。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニュー操作する（P38）

「お好み設定」→「ゼブラ」→「入」



ゼブラパターン

● 白とびさせたくない部分にゼブラパターンが表示されなくなるように、マニュアルでシャッター速度や明るさ（絞り / ゲイン）（P71）を調整すると、白とびの少ない映像を撮影できます。

【ゼブラ表示を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「お好み設定」→「ゼブラ」→「切」

ヒント

● ゼブラパターンは実際に記録される映像には影響しません。

16.カラーバー

カラーバーを表示して色調を確認する

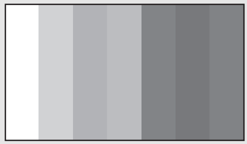
ビデオ　写真

テレビや外部モニターの画質調整に便利な 7 色のバーを表示します。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

メニュー操作する（P38）

「お好み設定」→「カラーバー」→「入」



【元に戻すには】

メニュー操作する（P38）：
「お好み設定」→「カラーバー」→「切」

ヒント

● 電源を切ると解除されます。
● 十字キーを押しても操作アイコンは表示されません。
● カラーバー設定時は、「撮影ガイドライン」「ゼブラ」「MF アシスト」「マイクレベル」「赤目軽減」のメニュー設定はできません。

撮影する

17.オートスローシャッター

ビデオ　写真

暗い場所でシャッター速度をより遅くすることによって、明るく撮ることができます。

● **モードダイヤルを 🎥 に合わせる**

メニュー操作する（P38）

「お好み設定」→
「オートスローシャッター」→「入」

● オートスローシャッターモード時には、シャッター速度が周囲の明るさに応じて 1/30 ～ 1/250 に調整されます。
● マニュアル調整時には
1/30 ～ 1/8000 にシャッター速度を調整できます。（P71）

【オートスローシャッターを解除するには】

メニュー操作する（P38）
「お好み設定」→
「オートスローシャッター」→「切」

● 「切」にするとシャッター速度は
1/60 ～ 1/250（マニュアル調整時は
1/60 ～ 1/8000）になります。

ヒント

● お買い上げ時は「入」に設定されています。
● 低照度で暗い、またはコントラストが少ないシーンでは、ピントが合わないことがあります。
● シャッター速度が 1/30 になったときは、画面がコマ落としのようになったり、残像が出る場合があります。

1. シーンモード

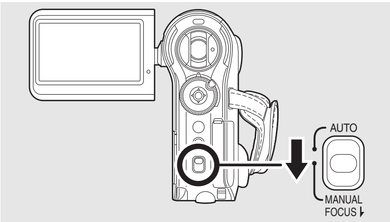
いろいろな場面で撮る

ビデオ　写真

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする



● オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にしても解除できます。

2 メニュー操作する（P38）

「よく使う設定」→「シーンモード」→希望の設定

表示	モード	撮影条件
🏃	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
👤	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
🕯	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
👤	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
👤☀	サーフ＆スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【シーンモードを解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「よく使う設定」→「シーンモード」→「切」

ヒント

スポーツモード：

● 撮ったものをスロー再生したり、再生を一時停止したときに、ぶれの少ない映像になります。

● 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。

● 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。

● 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。

● 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「🏃」が点滅します。

● 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

ポートレートモード：

● 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード：

● 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード：

● 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

サーフ＆スノーモード：

● 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

撮影する

2. マニュアルフォーカス
手動でピントを合わせる

ビデオ　写真

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 （MF アシストを使う場合）
メニュー操作する（P38）

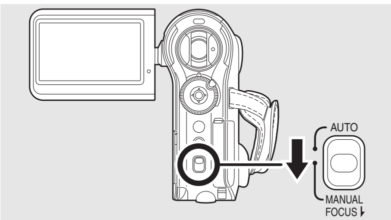
「お好み設定」→「MFアシスト」→「入」

● お買い上げ時は「入」に設定されています。

画面中央部が拡大表示されます。ピント調整操作後の約2秒後に通常表示に戻ります。

● M F アシストを「切」にすると、画面中央部は拡大表示されません。

2 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする

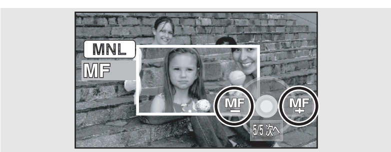


3 オート/マニュアル切換えスイッチをフォーカス [FOCUS] の位置まで下に動かす



図の操作アイコンと、マニュアルフォーカス「MF」が表示されます。

4 十字キーの左右で、ピントを調整する



【オートフォーカスに戻すには】

オート/マニュアル切換えスイッチをもう一度フォーカス [FOCUS] の位置まで下に動かす

● オート / マニュアル切換えスイッチをオート[AUTO]にしてもオートフォーカスに戻せます。

ヒント

● 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。



MF アシスト機能について

マニュアルフォーカス調整時に画面の中央部が拡大表示され、ピントが合わせやすくなります。

ヒント

● ズーム倍率を 10 倍より大きくすると、MF アシストは働きません。
● 拡大表示は実際に記録される映像には表示されません。
● ゼブラ表示を「入」にしていても、拡大表示にゼブラパターンは表示されません。

3. 白バランス（ホワイトバランス）設定

自然な色合いにする

ビデオ　写真

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

● モードダイヤルを 🎥 に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする



図の操作アイコンが自動的に表示されます。

2 十字キーを上にたおして、「WB」を選ぶ



3 十字キーの左右で、白バランスのモードを選ぶ



表示	モード	撮影条件
AWB	オート	―
	屋内（白熱電球）	白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外	屋外の晴天下
	蛍光灯	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）
	セット	● 水銀灯、ナトリウム灯、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

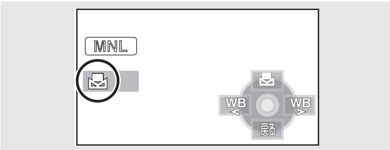
【自動設定に戻すには】

白バランスのモードをオートモード「AWB」にする

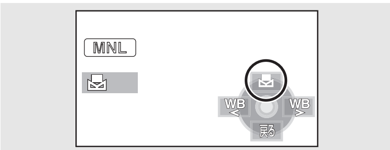
● オート/マニュアル切換えスイッチをオート[AUTO]にしても自動設定に戻せます。

手動で白バランスの設定をするには

1 「」（セットモード）を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す

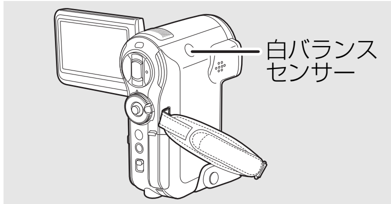


2 十字キーを上にたおして「」を選ぶ



- 「」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。
- 「」が点滅し続ける場合は、周囲が暗いなどの理由でセットモードでの設定ができません。このときは、オートモードを使ってください。

■ 白バランスセンサーについて



本機は撮影中、白バランスセンサーから光源の情報を得ています。
撮影時に白バランスセンサーを手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。

■ 黒バランスについて

3CCD システムの機能の 1 つで、白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。（手動で黒バランスを調整することはできません）



黒バランス調整中（点滅）　白バランス調整中（点滅）　調整完了（点灯）

ヒント

- 「」が点滅している場合は、以前にセットモードで設定した内容が保持されています。撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。
- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

4. シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

ビデオ　写真

シャッター速度：動きの速いものを撮るときなどに調整してください。
絞り・ゲイン　：暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。
- モードダイヤルを に合わせる

1 オート/マニュアル切換えスイッチをマニュアル [MANUAL] にする

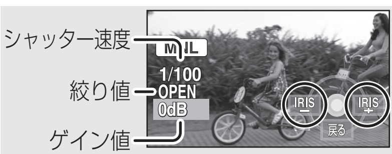


図の操作アイコンが自動的に表示されます。

2 十字キーを左右にたおして、「IRIS」（絞り・ゲイン）または「SHTR」（シャッター速度）を選ぶ



3 十字キーの左右で調整する



＜シャッター速度の調整＞
1/30 ～ 1/8000

- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。
- オートスローシャッターモードが「切」の場合、シャッター速度は 1/60 ～ 1/8000 になります。

＜絞り・ゲイン値の調整＞
CLOSE←→F16 … F2.0←→OPEN←→0dB … 18dB
暗くする ←→ 明るくする

- 絞り開放（OPEN）より明るくするときは、ゲイン値の調整になります。

【自動設定に戻すには】
オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にする

■動きの速いものを撮影する場合のシャッター速度のめやす

再生時に一時停止すると残像が少なくなります。

撮影対象	シャッター速度
ゴルフやテニスのスイング	1/500 ～ 1/2000
ジェットコースター	1/500 ～ 1/1000

ヒント

- シャッター速度と絞り・ゲインの両方を設定するときは、シャッター速度を設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。

＜シャッター速度について＞

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を1/60または 1/100 に調整してください。

＜絞り・ゲインについて＞

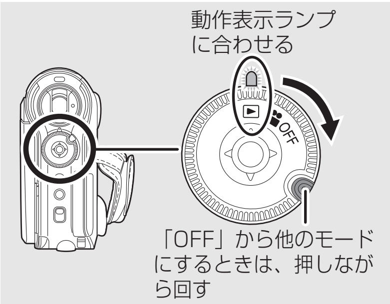
- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

1. ビデオを再生する

ビデオ

ビデオを再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる



レンズカバーが自動的に閉じます。

2 十字キーを上にたおし、左で「 🎥 」（ビデオ再生）タブを選ぶ



ビデオがサムネイル（縮小画像）表示されます。

3 十字キーで再生するシーンを選ぶ



選んでいるシーンが黄色の枠で囲まれます。

- 9 シーン以上記録されている場合は、十字キーを左右に動かしていく、または十字キーを下にたおし、左右で [<]/[>]を選択して中央を押すと、次の（前の）ページが表示できます。
  最後のシーン選択時に十字キーを右にたおすと、最初のシーンが選択されます。
- ビデオ再生タブまたは [<]/[>]選択時、シーン番号の表示がページ番号に切り換わります。

4 十字キーの中央を押す



選んだシーンが全画面で再生されます。

- 画面に操作アイコンが自動的に表示されます。

5 十字キーの上下左右で操作する

▶/❚❚	再生 / 一時停止
◀◀	早戻し再生（P74）
▶▶	早送り再生（P74）
■	停止してサムネイル表示に戻る

■ ビデオの互換性について

- 本機は AVCHD 規格に準拠しています。
- 本機で再生できるビデオ信号は 1920×1080/60i または 1440×1080/60i です。
- AVCHD 対応の機器でも、他の機器で記録したビデオの本機での再生、本機で記録したビデオの他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

ヒント

- 通常再生以外では音声は出ません。
- 一時停止を 5 分続けると、サムネイル表示に戻ります。
- 記録時間が短いシーンは再生できない場合があります。
- 縮小画像が表示されないシーン（サムネイル表示が [!]）は再生できません。エラーメッセージが表示されサムネイル表示に戻ります。
- 液晶モニターを閉じても、電源は切れません。
- 本機以外で記録したビデオを再生すると、日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 再生の経過時間表示は、シーンごとに 0h00m00s に戻ります。
- SD カードに 4 GB を超えてビデオを連続記録したデータを他機で再生した場合、4 GB に達した部分の映像が一瞬止まることがあります。

早送り / 早戻し再生

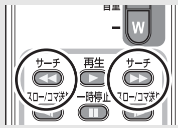
再生中に十字キーを右にたおす（左にたおすと早戻し再生）



- もう一度、十字キーをたおすと、早送り / 早戻し速度が速くなります。（画面表示が ▶▶ から ▶▶▶ に変わります）
- 十字キーを上にたおすと、通常再生に戻ります。

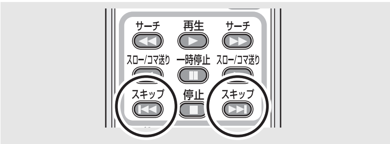
■ ワイヤレスリモコンを使うとき

再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す



スキップ再生（シーンの頭出し）するには
（ワイヤレスリモコンでのみ操作できます）

再生中にワイヤレスリモコンの |◀◀ または ▶▶| ボタンを押す



スロー再生するには

1 再生中に十字キーを上にたおして、一時停止にする

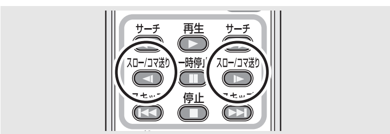
2 十字キーを右にたおし続ける（左にたおし続けると逆スロー再生）



- 十字キーを上にたおすと、通常再生に戻ります。
- 逆スロー再生は、通常の再生の約 2/3 倍速で連続コマ送り（0.5 秒間隔）されます。

■ ワイヤレスリモコンを使うとき

再生中に ◀II または II▶ ボタンを押す



コマ送り再生するには

映像を 1 コマずつ再生できます。

1 再生中に十字キーを上にたおして、一時停止にする

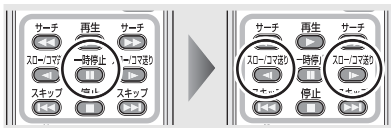
2 十字キーを右にポンとたおす（左にたおすと逆コマ送り再生）



- 十字キーを上にたおすと、通常再生に戻ります。
- 逆コマ送り再生は、0.5 秒間隔のコマ送りになります。

■ ワイヤレスリモコンを使うとき

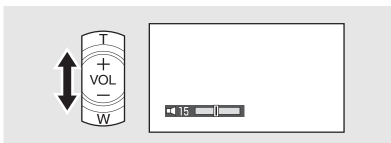
一時停止中に ◀II または II▶ ボタンを押す



音量を調整するには

再生時のスピーカー音量を調整します。

ボリュームレバーを動かして音量を変える



＋側 ：音量を上げる

－側 ：音量を下げる

- 「▯」表示が右に移動するほど音量が大きくなります。
- 調整が終わると、音量表示は消えます。

再生する

2. 日付別に再生する

ビデオ

本機では、記録されたシーンを日付別に表示することができます。
日付別再生に設定すると、同じ日に撮影されたシーンのみを続けて再生できます。

1 メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「再生切換」→「日付け別」

2 十字キーの上下で再生したい日付を選び、中央を押す



同じ日に撮影されたシーンのみがサムネイル表示されます。

3 十字キーの上下左右で再生を始めたいシーンを選び、中央を押す

【全シーンの再生に戻すには】

メニュー操作する（P38）：
「再生設定」→「再生切換」→「全シーン」

- 「再生切換」を「全シーン」にすると、記録されているすべてのシーンを続けて再生できます。（「ALL」が表示されます）

ヒント

- 電源を切るかモードダイヤルを操作すると全シーン再生に戻ります。
- 同じ日に撮影されたシーンでも、以下の場合には分かれて表示されます。
  - シーン数が 99 を超えたとき
  - 修復をしたとき
  - 記録モードをHN/HEからHGに変更したとき、または HG から HN/HE に変更したとき（日付別一覧で表示される日付の後に -1、-2…と追加されていきます）

3. 繰り返し再生する

ビデオ

最後のシーンの再生終了後に、最初のシーンの再生を開始します。

メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「リピート再生」→「入」

サムネイル表示と全画面表示に「⟳」が表示されます。

- 以下のシーンが繰り返し再生されます。
  - 「再生切換」が「全シーン」のとき：SD カード内のシーンすべて
  - 「再生切換」が「日付け別」のとき：選択されている日付のシーンすべて

【リピート再生を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「再生設定」→「リピート再生」→「切」

4. 前回の続きから再生する

ビデオ

途中で停止したシーンをもう一度再生すると、続きから再生を開始することができます。

メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「続きから再生」→「入」

再生を停止すると、続きから再生が設定されたシーンのサムネイルに「⏩」が表示されます。

【続きから再生を解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「再生設定」→「続きから再生」→「切」

ヒント

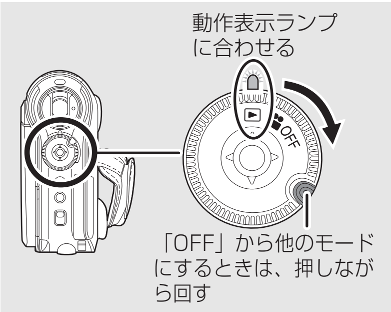
- 続きから再生の開始位置は、電源を切るかモードダイヤルを操作すると解除されます。（続きから再生の設定は解除されません）

写真（JPEG（ジェイペグ）静止画）を再生する

写真

写真を再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせる



レンズカバーが自動的に閉じます。

2 十字キーを上にたおし、右で「📷」（写真再生）タブを選ぶ



写真がサムネイル（縮小画像）表示されます。

3 十字キーで再生するファイルを選ぶ



選んでいるファイルが黄色の枠で囲まれます。

- 9 ファイル以上記録されている場合は、十字キーを左右に動かしていく、または十字キーを下にたおし、左右で［＜］/［＞］を選択して中央を押すと、次の（前の）ページが表示できます。
  最後のファイル選択時に十字キーを右にたおすと、最初のファイルが選択されます。
- 写真再生タブまたは［＜］/［＞］選択時、ファイル番号の表示がページ番号に切り換わります。

4 十字キーの中央を押す



選んだファイルが全画面で再生されます。

- 画面に操作アイコンが自動的に表示されます。

5 十字キーの上下左右で操作する

▶/❚❚	スライドショーの開始 / 一時停止
◀❚	前の写真を再生
❚▶	次の写真を再生
■	停止してサムネイル表示に戻る

■ 写真の互換性について

- 本機は社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格DCF（Design（デザイン） rule（ルール） for（フォー） Camera（カメラ） File（ファイル） system（システム））に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式はJPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 規格外のファイルを再生すると、フォルダ / ファイル名が表示されない場合があります。
- 他の機器で記録 / 作成した写真の本機での再生、本機で記録した写真の他の機器での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

ヒント

- SD カードにアクセス中（カード動作中ランプ点灯中）は、カード / バッテリーカバーを開けてSDカードを抜かないでください。
- スライドショー中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- 記録画素数によっては、写真の表示に時間がかかる場合があります。
- 縮小画像が表示されないファイル（サムネイル表示が [!]）は再生できません。
- 形式の異なるファイルや壊れたファイルを再生したときは、エラーメッセージが表示されサムネイル表示に戻ります。
- 本機以外で記録した写真を再生すると、日時表示が撮影日時と異なったり、サムネイル表示に時間がかかることがあります。
- 液晶モニターを閉じても、電源は切れません。

1. シーンの削除

シーンを削除する

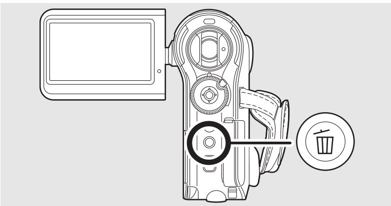
ビデオ

削除したシーンは元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから削除の操作を行ってください。

再生中の映像を確認しながら削除する

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、「 」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P73）

1 再生中に ボタンを押す

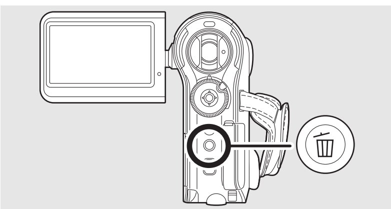


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

複数のシーンを一度に削除する

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、「 」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P73）

1 サムネイル表示で ボタンを押す



2 十字キーの上下で「選択削除」、または「全削除」を選び、中央を押す



● 「全削除」を選ぶと、プロテクト設定されたシーンを除いて、以下のシーンが削除されます。手順 5 に進んでください。

– 「再生切換」が「全シーン」のとき：SD カード内のすべてのシーン

– 「再生切換」が「日付け別」のとき：選択されている日付のシーンすべて

3 （手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ）
十字キーで削除するシーンを選び、中央を押す



シーンが赤色の枠で囲まれます。

● もう一度押すと、解除されます。

● 最大 99 シーンまで続けて設定できます。

4 （手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ）
ボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

（手順２で「選択削除」を選んだ場合のみ）
【他のシーンも続けて削除するには】
手順３～５を繰り返す

【削除を終了するには】
メニューボタンを押す

ヒント

- メニューボタンを押し、十字キーで「シーン編集」→「削除」→「全削除」または「選択削除」に設定してもシーンの削除はできます。
- シーンから不要な部分を削除するときは、分割したあと、不要な部分を削除してください。（右記）
- 再生できないシーン（サムネイル表示が［ ! ］）は削除できません。
- プロテクトされているシーンは削除できません。
- 削除中にカード / バッテリーカバーを開けないでください。削除が中断されます。
- 「全削除」の場合、SD カード内にシーンが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- 他の機器で記録したシーンを本機で削除すると、そのシーンに関連するデータも削除される場合があります。

2. シーンの分割削除

シーンを２つに分割して削除する

ビデオ

シーンから不要な部分を削除するときは、分割したあと不要な部分を削除します。

- **モードダイヤルを ▶ に合わせて、「 🎥 」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P73）**

1　メニュー操作する（P38）

「シーン編集」→「分割」→「設定」

2　十字キーの上下左右で分割したいシーンを選び、中央を押す



選んだシーンが再生されます。

3　分割したい位置で十字キーを下にたおして、分割点を設定する



- 分割点を設定するときは、スロー再生やコマ送り再生（P75）をお使いになると便利です。

4　確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

5　不要なシーンを削除する

- 削除するには 80 ページをお読みください。

【他のシーンも続けて分割するには】

手順 2 ～ 4 を繰り返す

【編集を終了するには】

メニューボタンを押す

【分割をすべて解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「シーン編集」→「分割」→「全て解除」

- 確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選んでください。
- 本機で設定した分割点がすべて解除されます。
- 分割後に削除したシーンは元に戻すことはできません。

ヒント

- シーン数が999に達した場合は、分割できません。
- 記録時間が短いシーンは分割できない場合があります。
- 分割した映像を他機で再生すると、シーンとシーンのつなぎ目が分かりにくい場合があります。
- 他の機器で記録や編集したデータは、分割または分割の解除はできません。
- 日付別再生にしていても、「全て解除」を選ぶと分割されたすべてのシーンが解除され、全シーン再生になります。

3. シーンのプロテクト

シーンの誤消去を防止する

ビデオ

シーンを誤って削除しないように、プロテクト設定できます。
(シーンをプロテクトしていても、SDカードをフォーマットした場合は削除されます)

- **モードダイヤルを ▶ に合わせて、「 🎥 」（ビデオ再生）タブを選ぶ（P73）**

1 メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「シーンプロテクト」→「する」

2 十字キーでプロテクトするシーンを選び、中央を押して設定する



「 🔑 」表示が出てシーンがプロテクトされます。

- 解除するには、もう一度十字キーを押します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

1. 写真の削除

写真を削除する

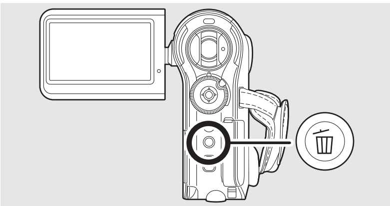
写真

削除した写真は元に戻りませんので、記録内容を十分に確認してから削除の操作を行ってください。

再生中の画像を確認しながら削除する

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、「📷」（写真再生）タブを選ぶ（P78）

1 再生中に 🗑 ボタンを押す

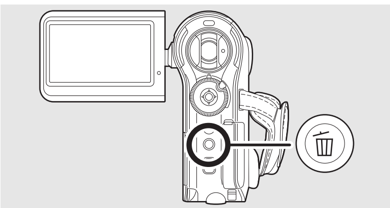


2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

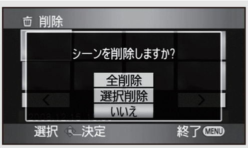
複数のファイルを一度に削除する

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、「📷」（写真再生）タブを選ぶ（P78）

1 サムネイル表示で 🗑 ボタンを押す



2 十字キーの上下で「選択削除」、または「全削除」を選び、中央を押す



● 「全削除」を選ぶと、プロテクト設定されたファイルを除いて、SD カード内のすべてのファイルが削除されます。手順 5 に進んでください。

3 （手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ）
十字キーで削除するファイルを選び、中央を押す



ファイルが赤色の枠で囲まれます。

● もう一度押すと、解除されます。
● 最大 99 ファイルまで続けて設定できます。

4 （手順2で「選択削除」を選んだ場合のみ）
🗑 ボタンを押す

5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

（手順 2 で「選択削除」を選んだ場合のみ）
【他のファイルも続けて削除するには】
手順 3 ～ 5 を繰り返す

【削除を終了するには】
メニューボタンを押す

■ 他の機器で SD カードに記録した写真ファイルを削除する場合

本機で再生できない写真ファイル（JPEG 以外のファイル）でも削除される場合があります。

ヒント

- プロテクトされているファイルは削除できません。
- 削除中にカード / バッテリーカバーを開けないでください。削除が中断されます。
- 「全削除」の場合、SD カード内にファイルが多数あると、削除に時間がかかることがあります。
- 削除中は電源を切らないでください。
- 削除するときは、十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- DCF 規格に準拠したファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。

2. 写真のプロテクト

ファイルの誤消去を防止する

写真

SD カードに記録したファイルを誤って削除しないように、プロテクト設定できます。（ファイルをプロテクトしていても、SD カードをフォーマットした場合は削除されます）

- **モードダイヤルを [▶] に合わせて、「[カメラ]」（写真再生）タブを選ぶ**（P78）

1 メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「シーンプロテクト」→「する」

2 十字キーでプロテクトするファイルを選び、中央を押して設定する



「[鍵]」表示が出てファイルがプロテクトされます。

- 解除するには、もう一度十字キーを押します。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】
メニューボタンを押す

3. DPOF（ディーポフ）設定

プリント情報を SD カードに書き込む

写真

プリントしたい写真、プリント枚数の情報（DPOF データ）を SD カードに書き込むことができます。

● モードダイヤルを [▶] に合わせて、「[カメラ]」（写真再生）タブを選ぶ（P78）

1 メニュー操作する（P38）

「再生設定」→「DPOF 設定」→「設定」

2 十字キーで設定するファイルを選び、中央を押す



枚数表示が出ます。

3 十字キーの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

● 0 から 999 枚まで選べます。（DPOF に対応したプリンターで、設定した枚数をプリントできます）
● 設定を解除するには、0 枚に設定します。
● 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

【DPOF 設定をすべて解除するには】

メニュー操作する（P38）：
「再生設定」→「DPOF 設定」→
「全て解除」

● 確認のメッセージが表示されますので、「はい」を選んでください。

■ DPOF とは

Digital（デジタル） Print（プリント） Order（オーダー） Format（フォーマット） の略です。DPOF 対応のシステムで活用できるように、プリント情報を書き込むことができるようにしたものです。

ヒント

● DPOF 設定は最大 999 枚まで設定できます。
● 他の機器で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。
● DPOF 設定で日付プリントを指定することはできません。

SD カードのフォーマット

SD カードを初期化する

ビデオ　写真

フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができませんので、お気をつけください。大切なデータはパソコンやDVD ディスクなどに保存しておいてください。

● モードダイヤルを 🎥 または ▶ に合わせる

1 メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→
「カードフォーマット」→「する」

2 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押す

● フォーマットが完了したら、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

ヒント

● ご使用のSDカードによってはフォーマットに時間がかかる場合があります。
● フォーマット中は電源を切らないでください。
● フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプターを使用してください。
● フォーマット中にカード/バッテリーカバーを開けないでください。

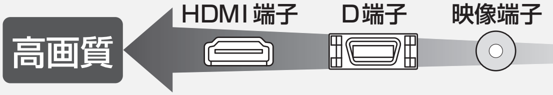
フォーマットは必ず本機で行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、本機で使用できなくなる場合があります。

1. テレビにつないで見る

ビデオ　写真

本機で撮影したビデオ・写真をテレビ画面で再生できます。
以下の端子を持つテレビに接続してください。HDMI 端子に接続するときは別売の接続ケーブルが必要です。

お使いのテレビの端子を確認して、端子に合った接続コードをお使いください。接続する端子によって画質が変わります。

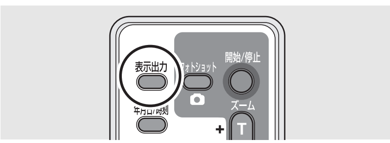


お使いのテレビ	参照いただく項目
HDMI 端子付きテレビ	❶ HDMI ケーブル（別売）で接続する（P88） ● ハイビジョン画質になります。
D 端子付きテレビ	❷ D 端子ケーブル（付属）と映像・音声コード（付属）で接続する(P90) ● D3～D5端子に接続した場合はハイビジョン画質、D1 ～ D2 端子に接続した場合は従来の標準画質になります。
その他のテレビ	❸ 映像・音声コード（付属）で接続する（P92） ● 従来の標準画質になります。

■ テレビ画面に機能表示などを表示するには

本機の画面に表示されている情報（操作アイコン、カウンター表示など）をテレビ画面に表示することができます。

ワイヤレスリモコンの表示出力ボタンを押す



- もう一度、表示出力ボタンを押すと、表示が消えます。
- 本機の画面の表示は変わりません。

以下の当社製テレビの場合、本機で記録した SD カードを直接テレビのカードスロットに入れて再生することができます。（2008 年 5 月現在）

– PZ800シリーズ/PZ750SKシリーズ/PZ700SKシリーズ/PZ700シリーズ

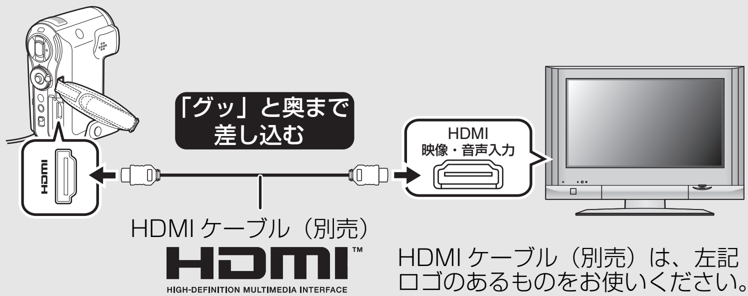
- 再生操作方法など、詳しくはテレビの取扱説明書をお読みください。

❶ HDMI ケーブル（別売）で接続する

HDMI とは：
HDMI はデジタル機器向けのインターフェースです。HDMI 対応機器と接続すると、デジタル信号で映像や音声を出力することができます。本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビと接続して再生すると、撮影したハイビジョン映像（P11）を高画質・高音質で楽しむことができます。
また、ビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）と接続すると連動操作（ビエラリンク）ができます。（P94）

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機とテレビを HDMI ケーブル（別売）でつなぐ



HDMI ケーブル（別売）は、左記ロゴのあるものをお使いください。

2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切換を選ぶ

例：入力切換を「HDMI」などにする（接続するテレビによっては入力表示名が変わる場合があります）

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出ます。

■ テレビに本機の映像や音声が出ない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- **テレビの入力設定（入力切換）、音声入力設定を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）**
- **「HDMI 出力解像度」を確認してください。（P89）**

■HDMI 接続時の設定について

本機と他の機器を HDMI ケーブルで接続したときの、本機の出力設定を変更することができます。

HDMI 出力解像度

出力する映像方式を切り換えることができます。

メニュー操作する（P38）：
「セットアップ」→
「HDMI 出力解像度」→希望の設定

オート：接続したテレビからの情報を元に、自動的に出力解像度を決定します。

1080i：有効走査線本数1080本のインターレース方式で出力します。

480p：有効走査線本数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

ヒント

- 「オート」に設定していて映像がテレビに出ないときは、「1080i」または「480p」に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。（テレビの説明書もお読みください）
- 必ずテレビのHDMI入力端子に接続してください。他の機器の HDMI 出力端子に接続しないようお気をつけください。

1080i

デジタルハイビジョン映像の 1 つで、1/60 秒ごとに 1080 本の有効走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。有効走査線数は従来の標準画質の 480 本の倍以上の 1080 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

480p

1/60 秒ごとに 480 本の有効走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、ちらつきが少なくなります。

480i

1/60 秒ごとに 480 本の有効走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

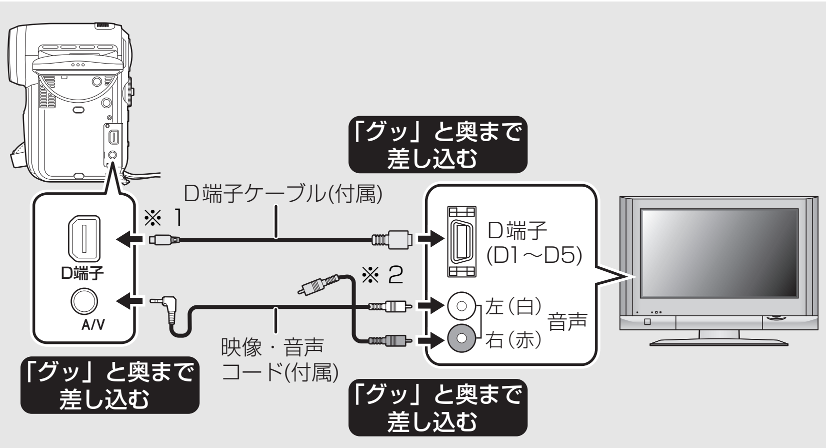
インターレース方式/プログレッシブ方式

従来の映像信号（NTSC）は 480i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その 480i 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を 480p（p: プログレッシブ＝順次走査）といいます。
本機の D 端子や HDMI 端子はハイビジョン映像出力「1080i」にも対応しています。
プログレッシブ映像、ハイビジョン映像を楽しむにはそれぞれ対応テレビが必要です。

② D 端子ケーブル（付属）と映像・音声コード（付属）で接続する

● AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機とテレビを D 端子ケーブル（付属）と映像・音声コード（付属）でつなぐ



※ 1. D 端子は映像のみの出力になりますので、必ず映像・音声コードも一緒に接続してください。(D端子入力の音声入力端子に差し込んでください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください)

※ 2. 映像・音声コードの黄色のプラグは接続不要です。

2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切換を選ぶ

例：入力切換を「色差ビデオ」などにする（接続するテレビによっては入力表示名が変わります）

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出ます。

■D 端子接続時の設定について

本機とテレビをD端子ケーブルで接続したときの出力設定を変更することができます。接続するテレビの端子に合わせて設定してください。

> **メニュー操作する（P38）：**
> **「セットアップ」→「コンポーネント出力」→希望の設定**

D1：テレビのD1端子やD2端子に接続するとき（従来の標準画質で再生されます）

D3：テレビの D3 端子や D4 端子、D5 端子に接続するとき（ハイビジョン画質で再生されます）

■テレビに本機の映像や音声が出ない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- **テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）**

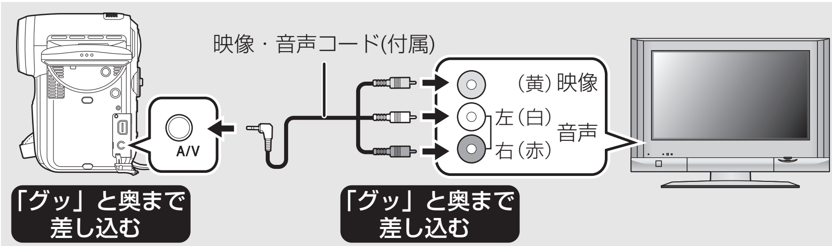
ヒント

- テレビに映像が正しく表示されない場合、ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。横縦比が 4：3 のテレビで映像が縦長になる場合は、本機の設定を変更してください。（P92）

③ 映像・音声コード（付属）で接続する

● AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機とテレビを映像・音声コード（付属）でつなぐ



2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 テレビの入力切換を選ぶ

例：入力切換を「ビデオ 2」などにする（接続する端子によって変わります）

4 本機で再生を始める

テレビに映像や音声が出ます。

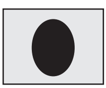
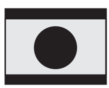
■ 画面の比率が 4：3 のテレビでワイド （16：9）映像を見るには

本機で撮影した横縦比 16：9 のビデオや写真を、横縦比 4：3 のテレビで再生すると、画面に映る映像が縦長になることがあります。この場合、メニューの設定を変更すると元の映像の比率で再生できるようになります。（テレビの設定により、正しく表示されない場合がありますので、テレビの説明書もお読みください）

メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→「接続するテレビ」→「4：3」

横縦比 16：9 の映像を 4：3 テレビに映したときの例：

「接続するテレビ」の設定	
ワイド	4：3
	

■ テレビに本機の映像や音声が出ない場合

- プラグがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
- 接続している端子を確認してください。
- **テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。（詳しくは、テレビの説明書をお読みください）**

ヒント

- HDMI ケーブルと同時に接続されているときは HDMI ケーブルからの出力が優先されます。
- D 端子ケーブルと同時に接続されているとき、映像出力は D 端子ケーブルが優先されます。
- テレビに映像が正しく表示されない場合、ワイドテレビではテレビ側の画面モードで調整してください。詳しくは、テレビの説明書をお読みください。横縦比が 4：3 のテレビで映像が縦長になる場合は、本機の設定を変更してください。（P92）

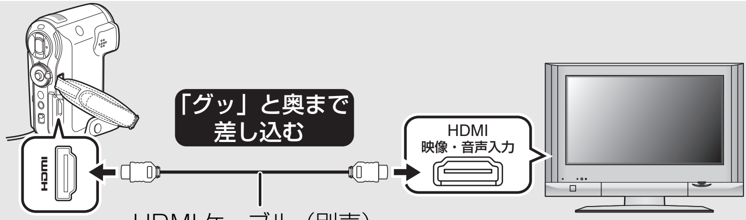
2. ビエラリンク（HDMI）(HDAVI Control™）を使って再生する

ビデオ　写真

本機とビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビ（ビエラ）を HDMI ケーブルで接続すると、下記の連動操作ができるようになります。

- テレビのリモコンで本機の再生操作ができます。
- テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。（ビデオ記録中、フォーマット中、削除中、修復中、USB 接続ケーブルでパソコンと接続時などは電源は切れません）
- HDMI ケーブルで接続して本機の電源を入れると、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）
  - テレビの HDMI 端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。（入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください）
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、132 ページをご確認ください。

1 本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）を HDMI ケーブル（別売）でつなぐ



HDMI ケーブル（別売）は、左記ロゴのあるものをお使いください。

- テレビに2つ以上のHDMI入力端子がある場合は、本機をHDMI1以外に接続することをおすすめします。

2 接続したテレビ側のビエラリンク（HDMI）が働くように設定する

- 設定方法などはテレビの取扱説明書をお読みください。

3 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

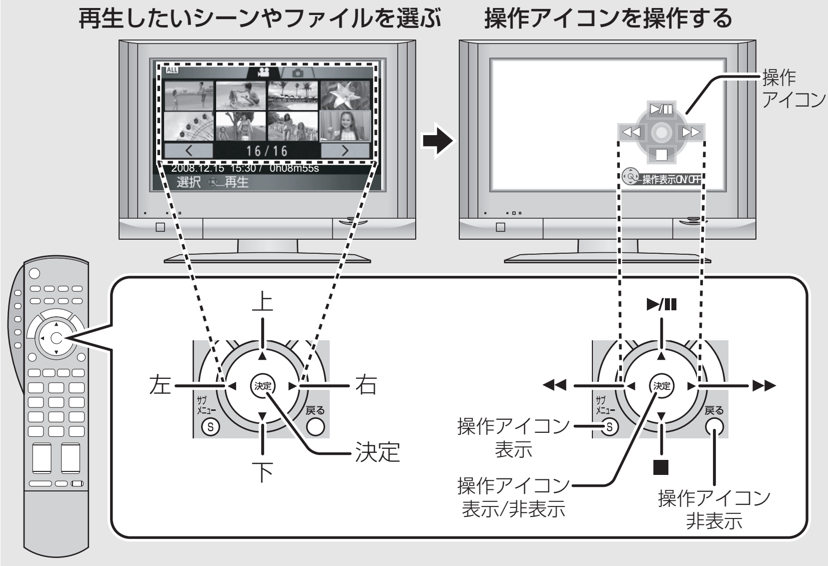
4 メニュー操作する（P38）

「セットアップ」→「ビエラリンク」→「入」

- お買い上げ時は「入」に設定されています。

5 テレビのリモコンで操作する

本機の十字キーの代わりに、テレビのリモコンで操作できます。



- 再生の操作方法は本機と同じになります。
  - ビデオを再生する（P73）
  - 写真を再生する（P78）

【ビエラリンク（HDMI）を解除するには】

メニュー操作する（P38）:「セットアップ」→「ビエラリンク」→「切」

ヒント

- お使いのテレビがビエラリンク（HDMI）対応かどうかわからないときは、接続した当社製テレビにビエラリンク（HDMI）のロゴマークが付いているかご確認いただくか、テレビの取扱説明書をお読みください。
- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
  品番：RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、
  RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

他の機器で

1. DVD バーナーをつないで コピー / 再生の準備をする

ビデオ

DVD バーナー VW-BN1（別売）と本機を、ミニ AB USB 接続ケーブル（VW-BN1 に付属）でつなぐと、本機で記録したビデオを DVD ディスクにコピーできます。また、コピーした DVD ディスクを再生することもできます。

- AVCHD 規格のハイビジョン映像でコピーされます。
- **写真はコピーできません。**
- 複数の SD カードから 1 枚のディスクへのコピーはできません。
- DVD バーナーの詳しい使用方法は、DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。

当社製 DVD バーナー VW-BN1 を推奨します。（2008 年 5 月現在）

当社で動作確認した DVD バーナー（DVD MULTI ドライブ）についての最新情報は
下記サポートサイトをご確認ください。
http://panasonic.jp/support/video/connect/

コピーに使用できるディスクについて
新品※で 12 cm の DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL にコピーしてください。

- 8 cm のディスクや +RW/+R/+R DL/CD-RW/CD-R にはコピーできません。
- DVDバーナーの推奨ディスクをお使いになることをおすすめします。推奨ディスクやディスクの取り扱いなど詳しくは DVD バーナーの取扱説明書をお読みください。
- 新品の DVD-RAM ディスクを使用すると「ディスクを確認してください。」と表示される場合があります。その場合は、DVD バーナーで DVD-RAM をフォーマットしてからご使用ください。（P102）

※ 使用済みのディスクには記録できません。ただし、DVD-RAM や DVD-RW は本機と DVD バーナーを接続してフォーマットするとコピーできるようになります。ディスクに記録されているデータはすべて削除されますので、よく確認してからフォーマットしてください。（P102）

1 DVD バーナーに AC アダプター（VW-BN1 に付属）を取り付ける

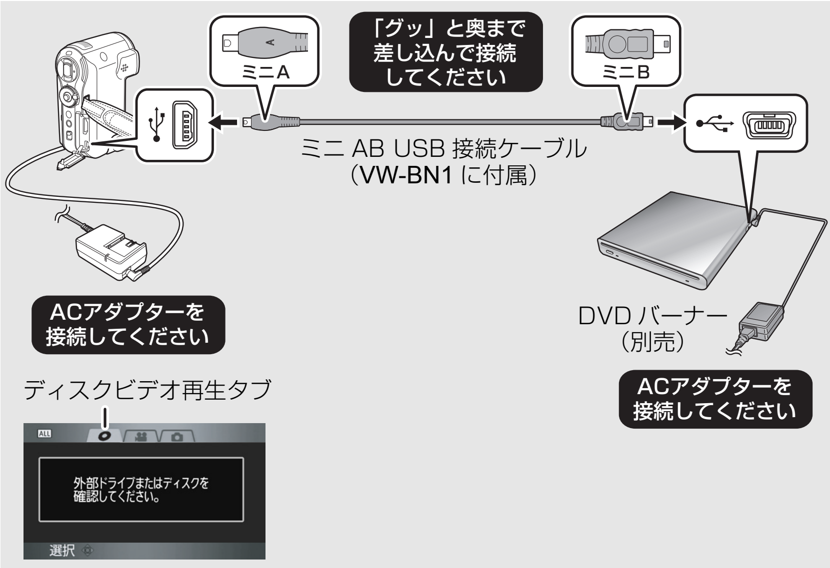
- 本機からは電源を供給できません。

2 本機に AC アダプターを取り付ける（P28）

- バッテリーでは DVD バーナーと接続して使用できません。

3 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

4 本機とDVDバーナーをミニAB USB接続ケーブル（VW-BN1に付属）でつなぐ



- 「 」（ディスクビデオ再生）タブが表示されます。
- DVD バーナーと接続しても、「 」（ディスクビデオ再生）タブが表示されないときは、ミニ AB USB 接続ケーブルを接続し直してください。
- DVD バーナーにディスクが入っていないときは、「外部ドライブまたはディスクを確認してください。」と表示されます。

5 DVD バーナーにディスクを入れる

2. ディスクにコピーする

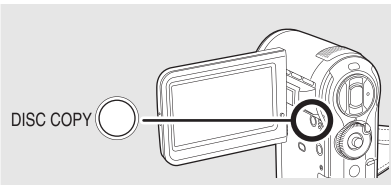
ビデオ

すべてのシーンをディスクにコピーする

- **コピーに使用できるディスク（P96）の必要枚数と予備を準備することをおすすめします。**
- コピーする前に、オートプロテクトの設定を確認してください。オートプロテクトを「入」にしてコピーすることをおすすめします。（P102）

1 本機とDVDバーナーをつないでコピーの準備をする（P96）

2 サムネイル表示で DISC（ディスク） COPY（コピー） ボタンを押す



3 十字キーで「はい」を選び、中央を押す



❶ **それぞれのディスクへコピーする場合の必要枚数**

- コピーに必要なディスクが２枚以上のときは、画面の指示に従ってディスクを交換してください。
- コピー終了のメッセージが表示されます。ディスクを取り出し、本機からミニAB USB接続ケーブルを抜いてください。
- コピーしたディスクは再生専用となり、追加記録できなくなります。

シーンを選んで 1 枚のディスクにコピーする

- 「 」（ビデオ再生）タブを選ぶ

1 本機とDVDバーナーをつないでコピーの準備をする（P96）

2 メニュー操作する（P38）

「ディスクコピー」→「選択コピー」→「する」

3 十字キーでコピーするシーンを選び、中央を押す



シーンが赤色の枠で囲まれます。
- もう一度押すと、解除されます。
- 最大 99 シーンまで続けて設定できます。
- ディスクの残量を超えてシーンを選ぶとディスクの残量表示が赤色になり、超えた分の容量が表示されます。シーンの選択を解除して、1 枚のディスクの容量を超えないように調整してください。

4 十字キーを下にたおして「開始」を選び、中央を押す



5 確認のメッセージが出たら、「はい」を選び、十字キーの中央を押す
- コピー終了のメッセージが表示されます。ディスクを取り出し、本機からミニAB USB接続ケーブルを抜いてください。
- コピーしたディスクは再生専用となり、追加記録できなくなります。

コピー終了後に SD カード内のデータを削除する場合は、削除する前に必ずコピーしたディスクを再生して正常にコピーされているか確認してください。（P101）

重要なお知らせ
- **別売のDVDバーナーと本機を接続してコピーしたディスクは、AVCHD規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。**
- **コピーしたディスクを他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが削除され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。**

ディスクへのコピー時間のめやす

1 枚のディスクの容量いっぱいにビデオをコピーした場合

ディスクの種類	コピー時間
DVD-RAM	約 50 分〜約 80 分
DVD-RW ※	約 35 分〜約 75 分
DVD-R ※	約 25 分〜約 45 分

※ 他の機器での再生の互換性を高めるためにディスクの全領域に書き込みを行うので、記録したビデオの時間が短いときでも、コピーには左記の表と同じくらいの時間がかかる場合があります。

- DVD-R DL は片面２層記録のため、DVD-R の約 2 〜 3 倍の時間がかかります。
- 以下のような条件によっては、コピーにかかる時間が上記より長くなる場合があります。コピー終了の表示が出るまでお待ちください。
  - 記録したシーン数：
    同じ記録時間でもシーン数が多いほどコピーに時間がかかります。
  - DVD バーナーの温度が高くなったとき：
    例）連続して複数のディスクへコピーした場合や周辺の温度が高い場合など

ヒント

- **コピーしたディスクは本機と DVD バーナーを接続して再生できます。（P101）**
  （一部の当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーで再生することもできます（P103））
- コピー中は本機や DVD バーナーの電源を切ったり、ミニ AB USB 接続ケーブルを抜かないでください。また、本機や DVD バーナーに振動を与えないでください。
- メニューボタンを押し、十字キーで「ディスクコピー」→「全コピー」を選んで、一度にコピーすることもできます。
- コピーを途中でやめることはできません。
- コピーするシーンの順番は変更できません。
- 他の機器で記録したデータはコピーできない場合があります。
- HD Writer 2.0J などを使って、パソコンで記録したビデオはコピーできません。
- コピーに必要なディスクが２枚以上のとき、ディスクの最後にコピーされるシーンはディスクの容量に収まるように自動的に分割されます。
- コピーに必要なディスクの枚数は自動的に計算されますが、SD カードに他のデータがある場合やシーン分割が自動で行われた場合などは、表示枚数より少ない枚数でコピーが終了する場合があります。
- コピーしたディスクは他の機器で再生時、シーンの変わり目で数秒間画像が静止することがあります。

3. コピーしたディスクを再生する

ビデオ

- 本機と DVD バーナーを接続してコピーしたディスク、または AVCHD 記録したディスクのみ再生できます。他の機器で記録したディスクは再生できない場合があります。

1 本機と DVD バーナーをつないで再生の準備をする（P96）

- テレビで見る場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルや D 端子ケーブル、映像・音声コードで接続してください。（P87）

2 DVD バーナーにコピーしたディスクを入れる



- ビデオがサムネイル表示されます。

3 十字キーでシーンを選んで再生する

- 再生の操作方法は、SD カードのビデオ再生と同じになります。（P73）
- 再生終了後ディスクを取り出し、本機からミニ AB USB 接続ケーブルを抜いてください。

4. コピーしたディスクの管理
（フォーマット / オートプロテクト / ディスク情報表示）

ビデオ

● モードダイヤルを ▶ に合わせて、本機と DVD バーナーを接続し、DVD バーナーにディスクを入れてから「◎」（ディスクビデオ再生）タブを選ぶ（P96）

ディスクのフォーマット

DVD-RAM、DVD-RW のディスクを初期化します。

フォーマットすると、ディスクに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

メニュー操作する（P38）

「ディスクの管理」→
「ディスクフォーマット」→「する」

- 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んで十字キーの中央を押してください。
- フォーマット完了後、メニューボタンを押してメッセージ画面を閉じてください。

ヒント

- フォーマットは本機と DVD バーナーを接続して行ってください。パソコンなど他の機器でフォーマットすると使用できなくなる場合があります。

オートプロテクト

コピーした DVD-RAM、DVD-RW のディスクを他の機器に入れた場合に、誤ってフォーマットしないように、コピー時にディスクをプロテクト（ライトプロテクト）します。

1 メニュー操作する（P38）

「ディスクの管理」→
「オートプロテクト」→「入」または「切」

- 初期設定は「入」です。
- 他の機器での誤消去防止のためオートプロテクトを「入」にしてお使いいただくことをおすすめします。
コピーしたディスクをプロテクトしないで他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。フォーマットすると大切なデータが削除され、元に戻すことはできません。

2 ディスクにコピーする（P98）

- オートプロテクト「入」でコピー後、ディスクにライトプロテクトがかかります。

【他の機器で記録できるようにするには】

- ディスクをフォーマットすると、オートプロテクトが解除されます。フォーマットすると、ディスクに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。
- お使いになる機器でも再度フォーマットが必要です。

ディスク情報表示

記録されたディスク種類、シーン数、ディスクの残量、ファイナライズの状態が表示されます。

メニュー操作する（P38）

「ディスクの管理」→
「ディスク情報表示」→「する」

- 終了する場合は、メニューボタンを押してください。

ブルーレイディスクや DVD ディスクにダビングして再生する

ビデオ　写真

当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーに本機で撮影した SD カードを入れて、ブルーレイディスクや DVD ディスク、HDD に保存すると再生することができます。

■本機で撮影した SD カードを直接入れてダビングできる機器（2008 年 5 月現在）

- ブルーレイディスクレコーダー：
  DMR-BW900/DMR-BW800/DMR-BW700/DMR-BR500/DMR-BW200※/DMR-BR100※
- DVD レコーダー：
  DMR-XW320/DMR-XW300/DMR-XW200V/DMR-XW120/DMR-XW100/DMR-XP22V/DMR-XP12

※ ブルーレイディスク（BD-RE）にのみビデオをダビングすることができます。DVD ディスクや HDD にはビデオをダビングできません。

- 一部の機器では SD カードからビデオを直接再生できます。
- 本機と DVD バーナーを接続してコピーしたディスク（P96）を直接入れて再生することもできます。
- 再生方法など詳しくはブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 本機から撮影済みの SD カードを取り出す（P32）

- モードダイヤルを「OFF」にしてから、SD カードを取り出してください。

2 SDカードをブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーのカードスロットに入れる

- ダビングや再生方法など詳しくは、ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーの取扱説明書をお読みください。

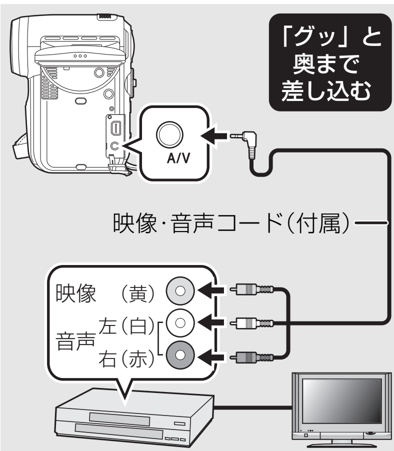
DVD レコーダーやビデオにつないでダビングする

ビデオ

本機で記録した映像を DVD レコーダーやビデオなどでダビングします。ハイビジョン（AVCHD）対応機器以外でも再生できるので、ダビングして配る場合などに便利です。

- **従来の標準画質でダビングされます。**
- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

1 本機と録画機をつなぐ



2 モードダイヤルを ▶ に合わせて電源を入れる

3 録画機・テレビの入力切換を選ぶ

（詳しくは、録画機の説明書をお読みください）

例：

録画機	「L1」など（接続する端子によって変わります）
テレビ	「ビデオ 1」など（通常、ビデオを見る入力）

4 本機で再生を始める

5 録画機で録画を始める

【録画（ダビング）を終了するには】

1） 録画機で録画を停止する

2） 本機で再生を停止する

ヒント

- 年月日表示や機能表示が不要な場合は、表示を消しておいてください。（P40、87）

ダビングした映像をワイドテレビで再生すると、縦に引き伸ばされた映像になる場合があります。
この場合は、ダビングされる機器の説明書をご確認いただくか、またはワイドテレビの説明書をお読みになり16：9（フル）に設定してください。

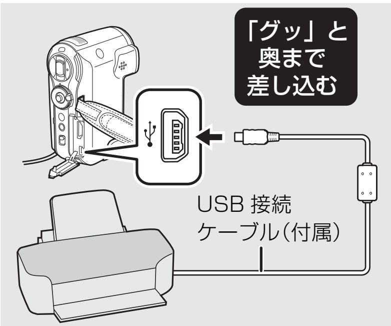
プリンターにつないで写真をプリントする

写真

PictBridge に対応したプリンターが必要です。（プリンターの説明書もお読みください）

- AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。
- **本機に記録済みの SD カードを入れてから電源を入れる**
- すべてのモードで使用できます。

1 本機とプリンターをつなぐ



本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

- 必ず、付属のUSB接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）

2 十字キーで「PictBridge」を選び、中央を押す

本機の画面に「PictBridge」が表示されます。

- 「PictBridge」が表示されなかったり、点滅し続ける場合は、ケーブルを接続し直すか、SD カードやプリンターを確認してください。

3 十字キーでプリントするファイルを選び、中央を押す

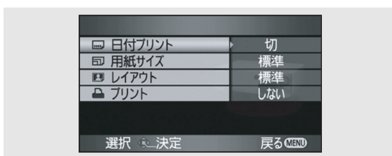


枚数表示が出ます。

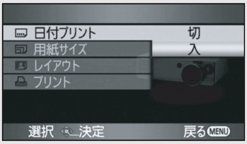
4 十字キーの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

- 最大で 9 枚まで設定できます。
- 設定を解除するには、0 枚に設定します。
- 手順3～4を繰り返すと、最大8ファイルまで続けて設定できます。

5 メニューボタンを押して PictBridge メニュー画面を表示させる

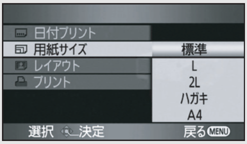


6 「日付プリント」で日付印刷の設定を選ぶ



- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

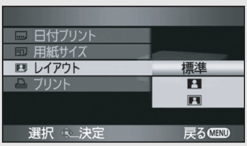
7 「用紙サイズ」で用紙のサイズを選ぶ



標準：プリンターに設定されているサイズ
L：L 判サイズ
2L：2L 判サイズ
ハガキ：はがきサイズ
A4：A4 サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

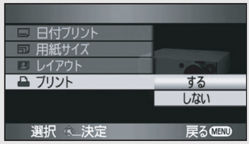
8 「レイアウト」でレイアウトを選ぶ



標準：プリンターに設定されているレイアウト
：ふちなしプリント
：ふちありプリント

- プリンターが対応していないレイアウトには設定できません。

9 「プリント」の「する」を選んでプリントする



- プリント終了後、USB 接続ケーブル（付属）を抜くと PictBridge が終了します。

【プリントを途中でやめるには】

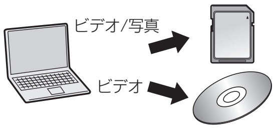
十字キーを下にたおす

- 確認のメッセージが出ます。
「はい」を選んだ場合は枚数設定を解除して手順 3 に戻り、「いいえ」を選んだ場合は設定した内容をすべて保持して手順 3 に戻ります。

ヒント

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
  - USB 接続ケーブルを抜く
  - カード / バッテリーカバーを開いて、SD カードを取り出す
  - モードダイヤルを切り換える
  - 電源を切る
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 用紙サイズによって印字品質が変わります。
- 本機で撮影した横縦比 16:9 の写真は、プリント時に端が切れる場合があります。「トリミング」や「ふちなし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、「トリミング」または「ふちなし」の設定を解除してお試しください。（プリンターの説明書をお読みください）
- 他の機器で記録した写真は、プリントできない場合があります。
- プリンターに直接つないでいるときは、DPOF プリントはできません。
- 本機とプリンターは直接つないでください。USB ハブは使わないでください。

1. パソコンでできること

使うソフトウェア	できること	データの種類
付属の CD-ROM： HD Writer 2.0J for SX/SD/DX※1  	**PC へ取り込み：**  	ビデオ 写真
	メディア※2へ書き出し：  	
	メディア※2間のコピー：  	ビデオ
	簡易編集： パソコンのHDDにコピーされたビデオのデータを編集できます。 ● 分割・結合・削除 ● ビデオのデータを MPEG2 形式に変換 ● DVD ビデオを作成する	
	プレイヤー起動： SD カードや DVD ディスクのビデオのデータを、ハイビジョン画質のままパソコンで再生できます。	
	ディスクの初期化： 使用するディスクによってはフォーマットが必要です。AVCHD 規格に準拠したUDF2.5 でフォーマットされます。	
Windows 標準の画像ビューアや市販の画像閲覧ソフト	パソコンで再生する	写真
Windows エクスプローラ	パソコンに写真をコピーする（P115）	
Macintosh をお使いの場合は 118 ページをご覧ください。		

※ 1. HD Writer 2.0J の詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

※ 2. 対応するメディアは SD カード、ディスク（DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL）になります。

重要なお知らせ

- HD Writer 2.0J で AVCHD 記録したディスクは、AVCHD 規格に対応していない機器には入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。
  また、AVCHD 規格に対応していない機器では再生できません。
- ビデオをコピーしたディスクを他の機器に入れると、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。大切なデータが削除され元に戻すことはできませんので、フォーマットしないでください。

ヒント

- 本機付属のソフトウェア以外のソフトウェアを使用して、本機にビデオのデータの読み書きを行った場合の動作は保証しません。
- 本機付属のソフトウェアと他のソフトウェアを同時に起動しないでください。本機付属のソフトウェアを起動する場合は他のソフトウェアを、他のソフトウェアを起動する場合は本機付属のソフトウェアを終了してください。
- 本機とパソコンを接続するときは、必ず付属の USB 接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）

■HD Writer 2.0J をお使いになるには

お使いになる機能によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコンの環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。次ページの動作環境および注意事項をよくお読みください。

ヒント

- CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ビデオカードのドライバーは常に最新の状態でお使いください。
- パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してお使いください。空き容量が少なくなると、操作ができなくなったり、動作が停止する場合があります。

■DirectX（ダイレクト）

Windows 2000 をお使いの場合、HD Writer 2.0J を動作させるためには、Microsoft DirectX 9.0c がインストールされている必要があります。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、付属 CD-ROM からインストールできます。「Setup Menu」画面の「DirectX のインストール」をクリックし、画面に表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性がありますので、対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

2. 動作環境

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- インストールには CD-ROM ドライブが必要です。（DVD 書き込みには、対応したドライブとメディアが必要です）
- 以下の場合は動作を保証しません。
  - 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルを使用して接続している場合
  - NEC PC-98 シリーズとその互換機をお使いの場合
  - OS のアップグレード環境の場合
- Windows 3.1、Windows 95、Windows 98、Windows 98 SE、Windows Me および Windows NT には対応していません。

■HD Writer 2.0J for SX/SD/DX の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2/ Service Pack 3 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2/ Service Pack 3 Microsoft Windows Vista Home Basic および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Home Premium および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Ultimate および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Business および Service Pack 1
CPU	Intel Pentium III 1.0 GHz 以上の CPU（互換 CPU を含む） （再生機能 /MPEG2 出力機能を使用する場合は、 Intel Core 2 Duo 1.86 GHz 以上または Intel Pentium D 3.0 GHz 以上を推奨 ）
メモリ	Windows Vista: 1024 MB 以上、Windows XP/2000: 512 MB 以上（1024 MB 以上を推奨）
ディスプレイ	High Color（16 bit）以上（32 bit 以上を推奨） デスクトップ領域 1024×768 以上 （1280×1024 以上を推奨） Windows Vista: DirectX 10 に対応したビデオカード Windows XP/2000: DirectX 9.0c に対応したビデオカード DirectDraw のオーバーレイに対応 PCI Express™ x16 対応を推奨
ハードディスク	Ultra DMA–100 以上 250 MB 以上の空き容量（インストール用） ● DVD 書き込みするときは、作成するディスクの 2 倍以上の空き領域が必要です。

必要なソフトウェア	Windows Vista: DirectX 10 Windows XP/2000: DirectX 9.0c ● DirectX 9.0cに対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。
サウンド	DirectSound 対応
インターフェース	USB 端子（ハイスピード USB（USB2.0））
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。
- 日本語以外の言語の文字入力はサポートしておりません。
- すべての DVD ドライブについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP Media Center Edition、Tablet PC Edition、Windows Vista Enterprise および 64 bit のオペレーティングシステムでの動作は保証しません。
- マルチブート環境には対応していません。
- Windows XP/2000 は管理者アカウントのユーザーでのみ使用可能です。Windows Vista は管理者および標準アカウントのユーザーでのみ使用可能です。（インストール、アンインストールは管理者アカウントのユーザーで行ってください）

■カードリーダー機能（マスストレージ）の動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機
対応 OS	Microsoft Windows 2000 Professional Service Pack 4 Microsoft Windows XP Home Edition Service Pack 2/ Service Pack 3 Microsoft Windows XP Professional Service Pack 2/ Service Pack 3 Microsoft Windows Vista Home Basic および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Home Premium および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Ultimate および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Business および Service Pack 1 Microsoft Windows Vista Enterprise および Service Pack 1
CPU	Windows Vista: Intel Pentium III 1.0 GHz 以上 Windows XP/2000: Intel Pentium III 450 MHz 以上または Intel Celeron 400 MHz 以上
メモリ	Windows Vista Home Basic: 512 MB 以上 Windows Vista Home Premium/Ultimate/Business/ Enterprise:1 GB 以上 Windows XP/2000: 128 MB 以上（256 MB 以上を推奨）
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

- OS 標準ドライバーで動作します。

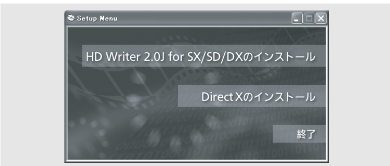
1. ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアをインストールするときは、ユーザー名を「Administrator」(もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名)または標準ユーザーアカウントのユーザー名にしてパソコンにログオンしてください。(権限がない場合はシステム管理者にご相談ください)

- インストールを始める前に他の起動中のソフトウェアをすべて終了し、インストール中に他の作業をしないでください。

HD Writer 2.0J のインストール

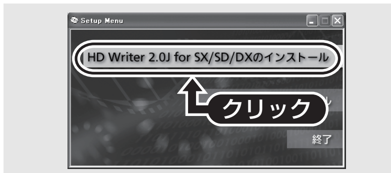
1 CD-ROM をパソコンに入れる



「Setup Menu」画面が表示されます。

- 「Setup Menu」画面が表示されない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ(コンピュータ)」を選び(またはデスクトップの「マイコンピュータ(コンピュータ)」をダブルクリックして)、「PANASONIC」をダブルクリックしてください。

2 「HD Writer 2.0J for SX/SD/DX のインストール」をクリックする

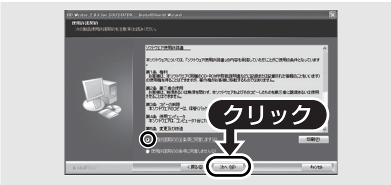


- インストール途中に「キャンセル」などでインストールを中止すると、ソフトウェアが正常に動作しないことがあります。
- Windows 2000 をお使いの場合、HD Writer 2.0J を動作させるためには、DirectX 9.0c がインストールされている必要があります。(P108)
  DirectX 9.0c に対応していないパソコンにインストールすると、パソコンが正常に動作しなくなる可能性があります。対応状況がわからない場合は、ご使用のパソコンメーカーへお問い合わせください。

3 「次へ」をクリックする

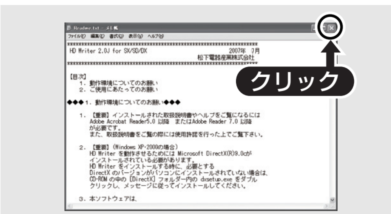


4 「使用許諾契約」をよく読んで同意される場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを付けて「次へ」をクリックする



- 「使用許諾契約」の条項に同意されない場合はインストールできません。
- 画面のメッセージに従ってインストールを続けてください。

5 インストールが完了すると制限事項が表示されます。
内容を確認し、ウィンドウ右上の「×」をクリックする



6 「完了」をクリックする



インストール完了後、パソコンを再起動してください。

2. ソフトウェアを アンインストールする

ソフトウェアが不要になったときは、以下の方法でアンインストールしてください。

1 「スタート」→（「設定」→）「コントロールパネル」→「プログラム（アプリケーション）の追加と削除」または「プログラムのアンインストール」を選ぶ



2 「HD Writer 2.0J for SX/SD/DX」を選び、「変更と削除」（「変更 / 削除」または「追加と削除」）または「アンインストール」をクリックする



- 画面の指示に従ってアンインストールを進めてください。
- ソフトウェアをアンインストールしたときは、パソコンを再起動してください。

1. 接続と認識の手順

ソフトウェアのインストール後、パソコンと本機を接続し、本機をパソコンに正しく認識させる必要があります。

- ソフトウェアのインストール後に接続を行ってください。
- 付属 CD-ROM がパソコンに入っている場合は、取り出してください。
（「Setup Menu」画面が表示されている場合は、終了してから取り出してください）
- 認識作業が正しく行われないと、本機をパソコンと接続して使用することができません。
- 本機が正常に動作しないときは、インストールや認識作業が正常に行われていない可能性があります。

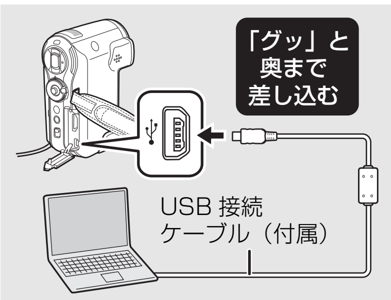
1 ACアダプターを取り付ける

- バッテリーではパソコンと接続して使用できません。

2 本機に記録済みの SD カードを入れてから電源を入れる

- すべてのモードで使用できます。

3 本機とパソコンをつなぐ



本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

- USB 接続ケーブルは、奥までしっかり差し込んでください。差し込みがゆるいと、正常に機能しません。
- 必ず、付属のUSB接続ケーブルをお使いください。（付属品以外をお使いの場合は動作を保証できません）

4 十字キーで「PC コネクト」を選び、中央を押す

本機が自動的にパソコンから認識されます。

ヒント

- **パソコンと接続中は、本機の操作モードを切り換えたり、電源を切ることはできません。USB 接続ケーブルを外してから行ってください。（P116）**
- パソコンが本機のSDカードにアクセスしている間は、カード動作中ランプが点灯します。（SD カードへのアクセス中は液晶モニターに が表示されます）記録内容が失われる原因となりますので、アクセス中は USB 接続ケーブルや AC アダプターを外さないでください。
- 本機とパソコンをはじめて接続したときは、パソコンの再起動が必要な場合があります。

■正しく認識されない場合

下記の方法で認識できることがあります。

方法 1： 本機とパソコンの電源を一度切ってから、再度試してください。

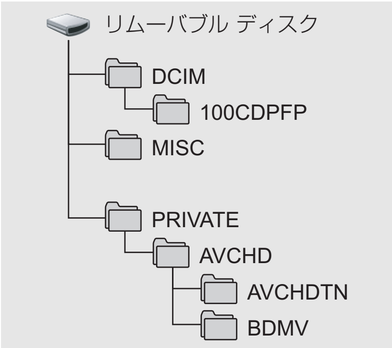
方法 2： SD カードを一度取り出してから、再度試してください。

方法 3： お使いのパソコンの他の USB 端子に接続してください。

2. パソコンでの表示について

本機をパソコンと接続すると、パソコンの外付けドライブとして認識されます。
- 「リムーバブルディスク」（例：リムーバブル ディスク (G:)）が「マイコンピュータ（コンピュータ）」に表示されます。

SD カードのフォルダ構造例：



- AVCHD 規格のビデオデータ（「00000.MTS」など）が「BDMV」フォルダに保存されています。
- ［AVCHDTN］フォルダにはビデオのサムネイルが記録されます。
- JPEG 規格の写真ファイル（「IMGA0001.JPG」など）が「100CDPFP」フォルダなどに保存されています。
  これらのファイルは JPEG 画像に対応した画像閲覧ソフトなどで開くことができます。
- ［100CDPFP］フォルダなどには最大で 999 ファイル記録できます。
- ［MISC］フォルダにはDPOF設定データが記録されます。

SDカード内のビデオデータをコピーや書き戻しする場合は、HD Writer 2.0J を使用することをおすすめします。
Windows エクスプローラなどで、本機で記録したフォルダやファイルのコピー、移動、名前の変更をすると HD Writer 2.0J で使用できなくなります。

■カードに記録した写真をパソコンにコピーする

カードリーダー機能（マスストレージ）

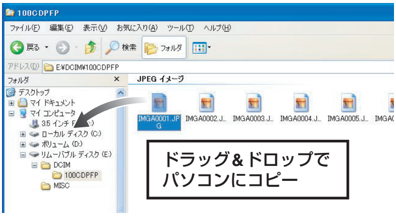
本機に記録済みの SD カードを入れて、USB 接続ケーブルでパソコンに接続すると、SD カードをパソコンの外付けドライブとして使え、［エクスプローラ］などで SD カードに記録した写真をパソコンにコピーできます。

1 本機とパソコンをつないで、USB 機能選択画面で「PC コネクト」を選ぶ

「リムーバブルディスク」（例：リムーバブル ディスク (G:)）が「マイコンピュータ（コンピュータ）」に表示されます。

2 [リムーバブルディスク] 内のファイルが保存されているフォルダ([DCIM] → [100CDPFP] など)をダブルクリックする

3 コピー先のフォルダ(パソコンのハードディスク)にファイルをドラッグ & ドロップする



ヒント

- SD カード内のフォルダをパソコン上で削除しないでください。本機で SD カードが読み込めなくなる場合があります。
- パソコン上で本機が対応していないデータを記録した場合、本機では認識できません。

SD カードのフォーマットは必ず本機で行ってください。

3. USB 接続ケーブルを安全に外す

1 パソコンの画面でタスクトレイの ( ) アイコンをダブルクリックする

- 「ハードウェアの安全な取り外し」画面が表示されます。
- お使いのパソコンの設定によっては、このアイコンが表示されない場合があります。

2 「USB 大容量記憶装置デバイス(USB 大容量記憶装置)」を選び、「停止」をクリックする

3 「MATSHITA HDC-SD8 USB Device」が選ばれていることを確認し、「OK」をクリックする

- 「閉じる」をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

ヒント

- 記録内容が失われる原因となりますので、カード動作中ランプの点灯中(表示中)は USB 接続ケーブルを外さないでください。

HD Writer 2.0J を起動する

- Windows XP/2000 をお使いの場合：
  HD Writer 2.0J を使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）にしてパソコンにログオンしてください。これ以外のユーザー名でログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。
- Windows Vista をお使いの場合：
  HD Writer 2.0J を 使うときは、ユーザー名を「Administrator」（もしくはコンピューターの管理者の権限を持つユーザー名）または標準ユーザーアカウントのユーザー名にしてパソコンにログオンしてください。GUEST アカウントのユーザーでログオンした場合は、ソフトウェアを使用することはできません。

（パソコンで）

「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」→「HD Writer 2.0J」→「HD Writer」を選ぶ



HD Writer 2.0J の紹介画面が表示されます。「OK」をクリックするとソフトウェアが起動します。
- ソフトウェアの詳しい使い方については、ソフトウェアの取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

ソフトウェアの取扱説明書を読む

ソフトウェアの詳しい使いかたについては、取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。
- 取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

「スタート」→「すべてのプログラム（プログラム）」→「Panasonic」→「HD Writer 2.0J」→「取扱説明書」を選ぶ



パソコンで

Macintosh をお使いの場合

- HD Writer 2.0J は Macintosh では使用できません。

■ カードリーダー機能（マスストレージ）の動作環境

対応パソコン	Macintosh
対応 OS	Mac OS X 10.4 Mac OS X 10.5
CPU	PowerPC G5（1.8 GHz 以上） Intel® Core™ Duo Intel® Core™ Solo
メモリ	64 MB 以上
インターフェース	USB 端子

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- OS 標準ドライバーで動作します。
- 付属の CD-ROM は Windows 専用です。

■ 写真ファイルをパソコンにコピーする

1 本機とパソコンを USB 接続ケーブルで接続する
- 本機の画面に USB 機能選択画面が表示されます。

2 十字キーで「PC コネクト」を選び、中央を押す

3 デスクトップに表示されている [NO_NAME] または [名称未設定] をダブルクリックする
- [DCIM] フォルダ内の [100CDPFP] フォルダにファイルが保存されています。

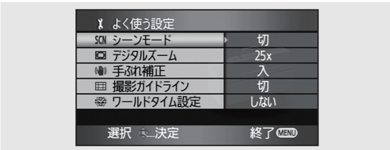
4 取り込みたい画像の入っているフォルダやファイルをパソコン上の別のフォルダにドラッグ & ドロップする

■ USB 接続ケーブルを安全に外す

デスクトップに表示されている [NO_NAME] または [名称未設定] を [ゴミ箱] に捨ててから、USB 接続ケーブルを取り外す

1. メニュー一覧

撮影メニュー



■ よく使う設定
シーンモード（P67）
デジタルズーム（P54）
手ぶれ補正（P62）
撮影ガイドライン（P62）
ワールドタイム設定（P41）

■ ビデオ設定
記録モード（P49）
フェード色（P56）
風音低減（P63）
ズームマイク（P54）
マイクレベル（P64）
うっかり撮り防止（P45）

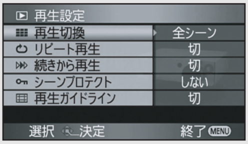
■ 写真設定
写真画質（P53）
フラッシュ明るさ（P61）
シャッター音（P52）
赤目軽減（P61）

■ お好み設定
撮影ランプ（P121）
ゼブラ（P65）
カラーバー（P65）
MF アシスト（P68）
オートスローシャッター（P66）

■ セットアップ
時計設定（P40）
カードフォーマット（P86）
画面表示（P121）
日時表示（P40）
表示スタイル（P40）
パワーセーブ（P121）
クイックスタート（P31）
お知らせブザー（P121）
液晶 AI（P42）
液晶調整（P42）
コンポーネント出力（P91）
HDMI 出力解像度（P89）
ビエラリンク（P94）
接続するテレビ（P92）
初期設定（P121）
デモモード（P121）

■ LANGUAGE （P39）

再生メニュー（ビデオ再生時）



■ **再生設定**

再生切換（P76）
リピート再生（P77）
続きから再生（P77）
シーンプロテクト（P82）
再生ガイドライン（P62）

■ **シーン編集**

分割（P81）
削除（P80）

■ **ディスクコピー**※

全コピー（P98）
選択コピー（P99）

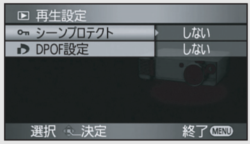
※ DVD バーナー接続中に使用できます。（P96）

■ **セットアップ**

カードフォーマット（P86）
画面表示（P121）
日時表示（P40）
表示スタイル（P40）
パワーセーブ（P121）
お知らせブザー（P121）
液晶 AI（P42）
液晶調整（P42）
コンポーネント出力（P91）
HDMI 出力解像度（P89）
ビエラリンク（P94）
接続するテレビ（P92）

■ **LANGUAGE （P39）**

再生メニュー（写真再生時）



■ **再生設定**

シーンプロテクト（P84）
DPOF 設定（P85）

■ **セットアップ**

カードフォーマット（P86）
画面表示（P121）
日時表示（P40）
表示スタイル（P40）
パワーセーブ（P121）
お知らせブザー（P121）
液晶 AI（P42）
液晶調整（P42）
コンポーネント出力（P91）
HDMI 出力解像度（P89）
ビエラリンク（P94）
接続するテレビ（P92）

■ **LANGUAGE （P39）**

再生メニュー（ディスクビデオ再生時）※

■ **ディスクの管理**

ディスクフォーマット（P102）
オートプロテクト（P102）
ディスク情報表示（P102）

- 再生設定 / セットアップの項目は、ビデオ再生時を参照してください。（シーンプロテクトはできません）

※ DVD バーナー接続中に使用できます。（P96）

お好み設定関連のメニュー

■ 撮影ランプ

● 切　● 入

「入」にすると、撮影中に撮影ランプが点灯するようになります。

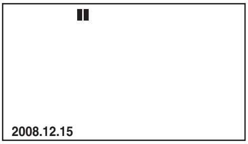
セットアップ関連のメニュー

■ 画面表示

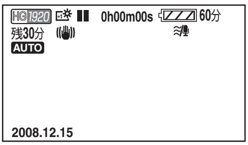
● 切　● 入

画面の表示を図のように切り換えられます。

切



入



■ パワーセーブ

● 切　● 5 分

切　：　パワーセーブは働きません。

5 分　：　約5分間操作しなかった場合、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。

● 以下の場合は「パワーセーブ」を「5分」にしていても自動的に電源が切れません。
  - AC アダプター使用時
  - パソコンやプリンター、DVD バーナーと接続時
  - PRE-REC 中

■ お知らせブザー

● 切　● 入

撮影の開始や終了などを音で確認できます。

「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」

撮影開始時、電源を入れたとき、本機がパソコンやプリンターを認識したときなどに鳴ります。

「ピピッ」

撮影停止時や電源を切ったときに鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」

撮影を開始できないなどのエラーが起こったときに鳴ります。画面に出る文章表示（P124）の内容を確認してください。

■ 初期設定

● する　● しない

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。

■ デモモード

● 切　● 入

本機の紹介（デモ）を始めます。

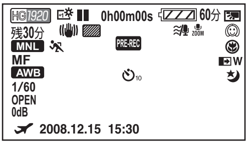
（モードダイヤルが 🎥 のときのみ）

SD カードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。SD カードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると解除されます。通常は「切」にしてお使いください。

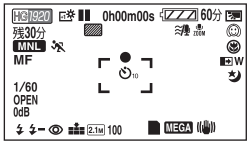
2. 画面の表示

■ 撮影表示

ビデオ撮影



写真撮影（フォトショットボタン半押し時）



	バッテリー残量
60 分	バッテリー残量時間
残 30 分	ビデオ撮影残り時間
0h00m00s	撮影経過時間
2008.12.15 15:30	年月日 時刻
	ワールドタイム設定
●/❚❚（赤）	撮影中 / カードに記録中
❚❚（緑）	撮影の停止中
AUTO	オートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
10×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
+1 / +2	パワー LCD エクストラ
1/60	シャッター速度
OPEN/F2.0	絞り値
0dB	ゲイン値
PRE-REC	PRE-REC
	コントラスト視覚補正
	美肌モード
	テレマクロ機能
W/ B	フェード(白)/ フェード(黒)
	カラーナイトビュー
ZOOM	ズームマイク
	風音低減
□□□□□□□□	マイクレベル

	ゼブラ表示
HG 1920 HN 1440 HE 1440	記録モード HG モード HN モード HE モード
	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットライトモード サーフ & スノーモード
AWB	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード
/ A/	フラッシュ
+/ −	フラッシュ明るさ
	赤目軽減
○（白）/ ●（緑）	シャッターチャンスマーク
10/ 2	セルフタイマー
MEGA	MEGA OIS
2.1M	写真の記録画素数 1920×1080
（白） （緑） （赤）	カード記録可能状態 カード認識中 カード記録 / アクセス中
/	写真画質
100	写真の残り記録可能枚数

■再生表示

ビデオ再生



写真再生



▶	再生中
❚❚	再生の一時停止中
▶▶、▶▶▶ / ◀◀、◀◀◀	早送り / 早戻し再生中
▶❘/❘◀	最後 / 最初のシーンの一時停止中
▶▶❘ / ❘◀◀	スキップ再生中
❙▶/◀❙	スロー / 逆スロー再生中
❚❚▶/◀❚❚	正 / 逆方向コマ送り中
0h00m00s	再生時間
ALL DATE	再生切換 全シーン 日付け別
1920 1440	ビデオの記録画素数 1920×1080 1440×1080
No.10	シーン番号
15	音量調整
⟲	リピート再生
▷▶▷	続きから再生
100-0001	写真フォルダ / ファイル番号
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
1	DPOF 設定済み（1 枚以上に設定）
O┳	プロテクト設定済み
2.1M	写真の記録画素数 1920×1080

他の機器で記録した写真は、上記以外のサイズの場合はサイズ表示されません。

■PC 接続表示

	カードアクセス中（パソコン接続時）

■確認表示

-- （時刻表示）	内蔵日付用電池が消耗したとき（P40）
!	対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して文章表示を確認してください。
	SD カードが入っていないとき、または使用不可カード

■DVD バーナー接続時の確認表示

	使用不可ディスク

その他

3. 文章表示

メッセージが表示されたら

データの規格が異なるため使えません。	記録規格が異なるため使用できません。SD カードのデータをパソコンに保存して、本機でフォーマット後お使いください。
データの規格が異なるため記録できません。	
カードを確認してください。	非対応のカード、または本機で認識できないカードです。SD カードにビデオや写真が記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。SD カードを挿入し直して、電源を入れ直してください。
カードがロックされています。 ロックを解除してください。	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。(P23)
高温のため動作できません。電源を切ってしばらくお待ちください。	本機内部の温度が高温になっているため、操作できません。電源を切り、温度が下がるのを待ってから、電源を入れ直してください。
このバッテリーは使えません。	本機で使用できるバッテリーをお使いください。(P24) 本機に対応していない AC アダプターをつないでいます。付属の AC アダプターをお使いください。(P28) 本機に対応したパナソニック製バッテリー (P24) をお使いになって、この表示が出る場合は、バッテリーを取り出し、再び入れてください。何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
RESET ボタンを押してください。	本機が異常を検出しました。RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。(P131)
接続機器の確認ができませんでした。 本機側の USB ケーブルを抜いてください。	DVD バーナーと正しく接続されていません。 ミニ AB USB 接続ケーブルを接続し直してください。 本機に対応した DVD バーナーと接続してください。(P96)
外部ドライブまたはディスクを確認してください。	DVD バーナーにディスクが入っていません。または、本機と DVD バーナーを接続して使えないディスクを入れています。本機と DVD バーナーを接続してコピーできるディスクを入れてください。(P96)
ディスクを確認してください。	本機と DVD バーナーを接続して使えないディスクか、使用済みのディスクのためコピーできません。 新品のディスクをお使いください。(P96)
USB 機能は使えません。 ケーブルを抜いてください。	パソコンやプリンターと正しく接続されていません。 USB 接続ケーブルを接続し直してください。
USB ケーブル接続中のため操作はできません。	パソコンやDVD バーナーと接続中は本機の電源を切れません。

修復について

SD カードにアクセスしたときや、シーンを再生しようとしたとき、または異常な管理情報を検出すると、下記のメッセージが表示されることがあります。（エラー内容によっては時間がかかることがあります）

管理情報にエラーを検出しました。

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合
「管理情報は正常に修復されました。」

バッテリー残量が少ない場合
「バッテリー残量が少ないため管理情報のエラーを修復できません。」

サムネイル情報にエラーを検出しました。

AC アダプターを接続しているか、バッテリー残量が十分な場合
「サムネイル情報は正常に修復されました。」

バッテリー残量が少ない場合
「バッテリー残量が少ないため管理情報のエラーを修復できません。」

ヒント

- 十分に充電されたバッテリーまたは AC アダプターを使用してください。
- データの状態によっては、完全には修復できないことがあります。
- 修復に失敗すると、電源が切れる前に撮影したシーンが再生できなくなります。
- 他機で記録されたデータを修復すると、本機や他機で再生できなくなる場合があります。
- 修復に失敗したときは、本機で SD カードをフォーマットしてください。
- サムネイル情報が修復されると、サムネイルの表示は遅くなる場合があります。

1. 同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
逆光補正	● カラーナイトビュー使用時 ● 絞り・ゲイン設定時
コントラスト視覚補正	● カラーナイトビュー使用時 ● 絞り・ゲイン設定時
カラーナイトビューの設定・解除	● 撮影中 ● PRE-REC 中
美肌モードの設定・解除	● 撮影中 ● PRE-REC 中
テレマクロの設定・解除	● 撮影中 ● PRE-REC 中
ヘルプモード	● 撮影中 ● PRE-REC 中
セルフタイマー	● 撮影中 ● PRE-REC 中
赤目軽減	● 撮影中 ● PRE-REC 中
フェード	● PRE-REC 中
シャッター音	● ビデオ撮影中 ● PRE-REC 中
フラッシュ	● ビデオ撮影中 ● PRE-REC 中 ● カラーナイトビュー使用時
ズーム	● フォトショットボタン半押し時

使えない機能	使えなくなる条件
シーンモード	● オートモード時 ● カラーナイトビュー使用時
MF アシスト	● デジタルズーム(約10 倍以上)使用時
白バランスモードの変更	● デジタルズーム(約10 倍以上)使用時 ● カラーナイトビュー使用時
シャッター速度 / 絞り・ゲインの調整	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時

2. 故障かな!?

■ 本機操作時

こんなときは?	ご確認ください
電源が入らない	● バッテリーは十分に充電されていますか? → AC アダプターを使って充電してください。(P24) ● バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーを AC アダプターに 5 ~ 10 秒取り付けてみてください。 それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。 ● 液晶モニターを開いていますか?
電源が勝手に切れる	● 本機を約 5 分間操作しないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源を入れ直してください。 パワーセーブを「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。(P121) ● ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続していませんか? → ビエラリンク(HDMI)対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合、テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。ビエラリンク(HDMI)を使用しない場合は「ビエラリンク」を「切」に設定してください。(P95)
電源が入ってもすぐに切れる	● バッテリーが消耗していませんか? → バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください。」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電してください。(P24)
バッテリーの消耗が早い	● 十分に充電されていますか? → AC アダプターを使って充電してください。(P24) ● 低い温度のところで使っていませんか? → バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ● バッテリーが寿命になっていませんか? → バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。

故障かな!?と思う前に

こんなときは?	ご確認ください
バッテリー残量の分表示が正しく表示されない	● バッテリー残量表示はめやすです。 バッテリー残量が正しく表示されていないと思ったときは、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● 液晶モニターを開いていないと操作できません。 ● RESET ボタンを押してください。(P131)それでも直らない場合は、バッテリーや AC アダプターを外して 1 分程度たってから、再度バッテリーや AC アダプターを取り付け、さらに 1 分程度たってから電源を入れ直してください。(SD カードのアクセス中に上記の操作を行うと、データが破壊されることがあります)
ワイヤレスリモコンが働かない	● リモコンのコイン電池が消耗していませんか? → 新しいコイン電池と交換してください。(P21)
画面が急に変わった	● デモ(デモンストレーション)が始まったのではないですか? → 撮影モードで、SD カードを入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。 メニューボタンを押し、十字キーで「セットアップ」→「デモモード」→「切」に設定してください。
機能表示(残量表示、カウンター表示など)が出ない	●「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、警告、日付表示など以外は消えます。
電源が供給され、SDカードが正しく入っているのに、撮影できない	● SD カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしていませんか? → 書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。(P23) ● SD カードの容量がなくなっていませんか? → 容量がないときは、不要なシーンを削除するか、新しい SD カードを入れてください。(P32、80、83) ● 撮影モードにしていますか? → モードダイヤルが、 以外のときは撮影できません。 ● カード / バッテリーカバーが開いていませんか? → カード / バッテリーカバーが開いていると、本機が正しく動作しません。カード / バッテリーカバーを閉じてください。

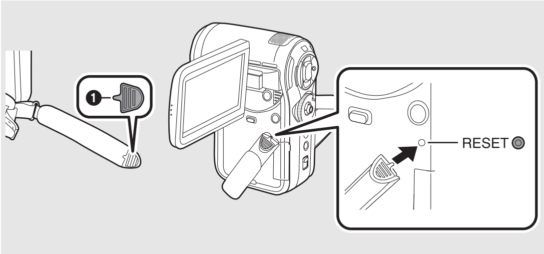
故障かな!?と思う前に

こんなときは？	ご確認ください
撮影が勝手に止まってしまう	● ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いですか？ → ビデオ撮影に使用可能な SD カードをお使いください。（P22） ● うっかり撮り防止機能が働いていませんか？ → 正しく真正面に向けて撮影するか、うっかり撮り防止を「切」にしてください。（P45）
自動でピントが合わない	● マニュアルフォーカスになっていませんか？ → オート / マニュアル切換えスイッチをオート [AUTO] にしてください。 ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？ → オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。（P153）この場合は手動でピントを合わせることができます。（P68）
体育館などで撮影すると映像の色合いがおかしい	● 体育館やホールなどの光源が複数ある場所では、オートでは白バランス調整が正しく働かない場合があります。このときは、手動で白バランスの設定をあわせてください。（P70）
写真がきれいに撮影できない	● 「写真画質」を「 」にして、細かいものを撮影していませんか？ →「 」で細かいものを撮影すると、モザイク状になることがあります。「 」にして撮影してください。（P53）
本機のスピーカーから再生音声が出ない	● 音量調整が小さくなりすぎていませんか？ → 再生時にボリュームレバーを動かして音量表示を出し、音量を調整することができます。（P75）
テレビと正しく接続しているのに映像が出ない **映像が縦長になる**	● テレビの入力切換が接続した端子と合っていますか？ → テレビの説明書をご覧になり、接続した端子に入力切換してください。 ● 「接続するテレビ」の設定は合っていますか？ → お使いのテレビに合わせて設定してください。メニューボタンを押し、十字キーで「セットアップ」→「接続するテレビ」→「ワイド」または「4：3」に設定してください。 ● HDMI ケーブルとＤ端子ケーブルの両方をつないでいると、撮影モードでは HDMI ケーブルからの出力が優先されます。再生モードにすると両方から出力されます。

故障かな！？と思う前に

こんなときは？	ご確認ください
シーンなどの削除ができない	● シーンがプロテクトされていませんか？ → プロテクトを解除してください。（P82） ● 縮小画像が表示されないシーン（サムネイル表示が [!]）は削除できないことがあります。不要な場合はSD カードをフォーマットしてください。（P86） フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータが削除されますので、お気をつけください。 ● 写真のファイルがプロテクトされていませんか？ → プロテクトを解除してください。（P84） ● SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると削除できません。（P23）
SD カードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、パソコンなどにも保存するようにしてください。
SDカードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機または SD カードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。本機では 8 MB ～ 32 GB までの SD カードを使用してください。
本機にSDカードを入れても認識しない	● パソコンでフォーマットした SD カードを入れていませんか？ → SD カードをフォーマットする場合は本機で行ってください。フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことはできませんので、お気をつけください。（P86）
他の機器に SD カードを入れても認識しない	● SD カードを挿入されている機器が、ご使用の SD カードの容量、または種類（SD メモリーカード /SDHC メモリーカード）に対応しているかご確認ください。（P22） → 詳しくは、お使いの機器の説明書をお読みください。
表示が消える **画面が動かなくなる** **操作できなくなる**	● パソコンとつないでいませんか？ → パソコンと接続中は、本機側からは操作できません。 ● 電源を切ってください。電源が切れないときは、RESET ボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターを外して付け直し、電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、電源を外し、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（P162 ～ 165）にお問い合わせください。

故障かな!?と思う前に

こんなときは?	ご確認ください
撮影した写真にシャボン玉のような白く丸い点が写り込んでいる。	● 室内や暗い場所でフラッシュを使い撮影した場合に、空気中のほこりがフラッシュに反射して白く丸い点として写り込む場合がありますが、異常ではありません。 撮影ごとに丸い点の位置や数が変化するのが特徴です。 
「RESET ボタンを押してください。」と表示される	● 本機が異常を検出しました。グリップベルトの突起部❶でRESET ボタンを押してください。本機が再起動します。  ● RESET ボタンを押さなかった場合は、約 1 分後に電源が切れます。 ● RESET ボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。

■他の機器との接続時

こんなときは?	ご確認ください
ビエラリンク(HDMI)が働かない	● D端子ケーブルまたは映像·音声コードで接続していませんか? → HDMIケーブル(別売)で接続してください。(P94) ●「ビエラリンク」の設定は合っていますか? → メニューボタンを押し、十字キーで「セットアップ」→「ビエラリンク」→「入」に設定してください。 ● テレビのHDMI端子によっては、入力切換が自動で切り換わらない場合があります。そのときはテレビのリモコンを使って入力切換してください。(入力切換の方法はテレビの取扱説明書をお読みください) ● 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。 ● 本機の電源を切/入して、電源を入れ直してください。 ● テレビ(ビエラ)の「ビエラリンク制御(HDMI機器制御)」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定してください。 (詳しくはビエラの取扱説明書をお読みください)
電源が勝手に切れる	● 本機とDVDバーナーを接続してコピーや再生などを行っているとき(ディスクアクセス中)に、ミニAB USB接続ケーブルを抜くと自動的に電源が切れます。
DVDバーナーの電源が入らない	● DVDバーナーと接続時は、本機とDVDバーナーの両方にそれぞれに付属しているACアダプターを取り付けて使用してください。

■ パソコン接続時

こんなときは？	ご確認ください
USB 接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● AC アダプターを取り付けていますか？ → パソコンと接続時は AC アダプターを取り付けて使用してください。 ● パソコンに複数のUSB端子がある場合は、USB端子を変更してみてください。 ● 動作環境を確認してください。（P109） ● 本機の電源を切/入して、USB 接続ケーブルを接続し直してください。
USB 接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの （）アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。
HD Writer 2.0J の取扱説明書（PDF ファイル）が見られない	● Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降がお使いのパソコンにインストールされていますか？ → HD Writer 2.0J の取扱説明書（PDF ファイル）を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

故障かな！？と思う前に

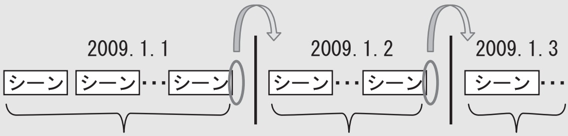
他の機器で再生すると、シーンの切り換わりがスムーズにできない場合について

以下のような場合には、複数のシーンを連続して再生したときに、シーンの切り換わりで数秒間画像が静止することがあります。

※シーンの連続再生のスムーズさは再生する機器に依存します。再生する機器によっては、下記の条件に該当しない場合でも一瞬映像が静止することがあります。

● 違う日付で記録した場合

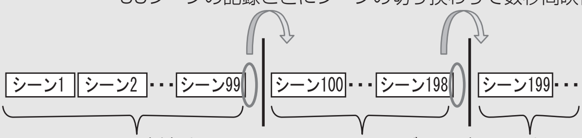
日付が切り換わる部分で数秒間映像が静止します。



同じ日付のシーンであればスムーズに再生します。

● 同じ日付で 99 シーンを超える記録をした場合

99シーンの記録ごとにシーンの切り換わりで数秒間映像が静止します。



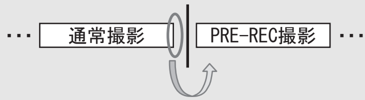
連続する99シーンはスムーズに再生します。

● 3 秒未満のシーンを記録した場合



3秒未満のシーンの最後で数秒間映像が静止します。

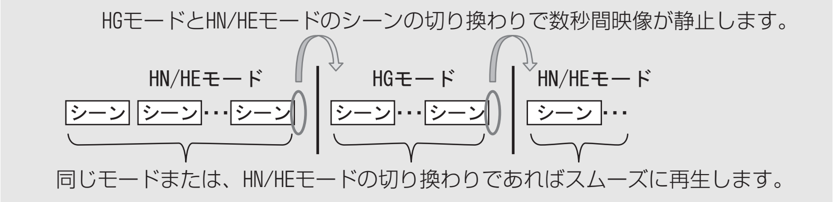
● PRE-REC を使って記録した場合



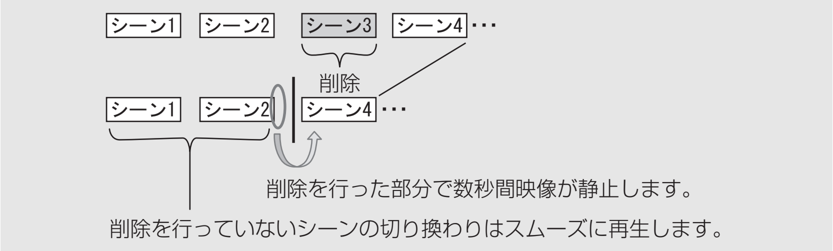
ひとつ前のシーンの最後で数秒間映像が静止します。

故障かな!?と思う前に

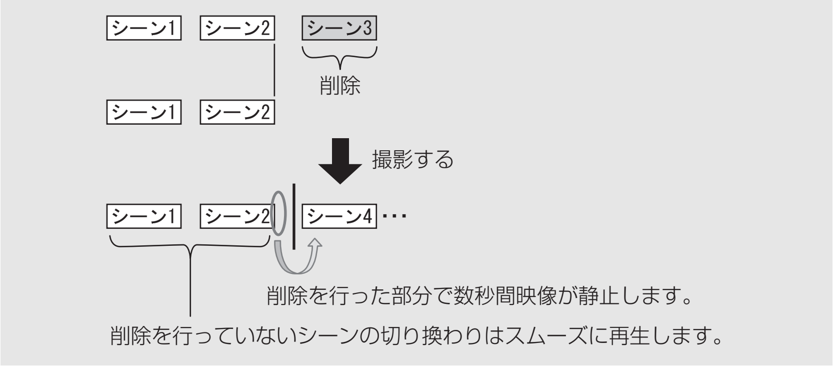
● 記録モードを HN/HE から HG に変更する、または HG から HN/HE に変更した場合



● シーンを削除した場合
例 1: 途中のシーンを削除する

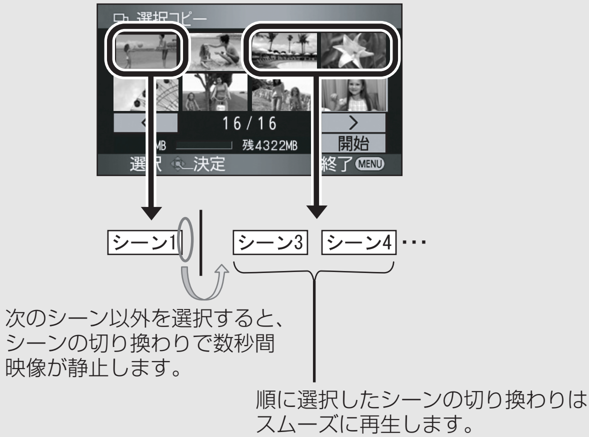


例 2: 最後のシーンを削除したあとで、次の記録を行う



その他

● 本機と DVD バーナーを接続して、シーンを選んで 1 枚のディスクにコピーした場合



● HD Writer 2.0J などの編集ソフトウェアを使ってパソコンでシーンの編集を行った場合
例 1: HD Writer 2.0J でシーンを選んでメディアの出力を行った場合



「ビデオ中のシーン」からシーンをドラッグ&ドロップ（図のⒶ）してメディアに出力した場合、各シーンの切り換わりで数秒間映像が静止します。タイトル単位でドラッグ&ドロップ（図のⒷ）、もしくは、起動時に表示されるメディア間のコピーを実行すると、各シーンの切り換わりで数秒間映像が停止することを防ぐことができます。

● 例 2: HD Writer 2.0J でシーン削除を行った場合



シーンの削除を行うと、削除を行った部分で数秒間映像が静止することがあります。

● 例 3: HD Writer 2.0J でシーン結合を行った場合



シーンの結合を行うと、元のシーン分割位置で数秒間映像が静止することがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠	**危険**	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠	**警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠	**注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**
（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠危険

■指定以外のバッテリーパックを使わない
■バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
■バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
■電子レンジやオーブンなどで加熱しない
■バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要（寿命）になったバッテリーについては、147ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

ACアダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流１００ V～２４０ V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間､直接触れていると低温やけど※の原因になります。長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

● 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
● 特にお子様にはご注意ください。

⚠警告

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災の原因になります。

● 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万 一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。

分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグを抜く

異常があったときは、電源プラグを抜く

・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき

・落下などで外装ケースが破損したとき

・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

● 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⚠注意

コイン電池は誤った使いかたをしない

- ⊕ と ⊖は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機やバッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない フラッシュを人の目に近づけて発光しない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

● 乳幼児を撮影するときは1 m以上離してください。

⚠ 注意

フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって出る煙などで故障の原因になることがあります。

● 発光直後は、しばらく触らないでください。

電源プラグを抜く

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カードは、保護のため取り出しておいてください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

使用上のお願い

本機について

使用中は本体や SD カードが温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機の故障につながります。（SD カードの出し入れ時はお気をつけください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れ

お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

長期間使用しない場合について

- 押入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをおすすめします。

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出して保管する

- 入れたままにしておくと、本機の電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。
- 端子部に金属が触れないようにビニールの袋に入れて保管してください。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～25℃、推奨湿度:40%～60%です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、本機で充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の３～４倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。（P150）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体や AC アダプターに付けると、本体や AC アダプターをいためます。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。

充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。
新しいものをお買い求めください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、有限責任中間法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ：
  http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion Ni

AC アダプターについて

- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。
- 充電ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーや AC アダプターの端子部にごみや異物、汚れが付着していないか確認し、正しく接続し直してください。
  ごみや異物、汚れが付着している場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから取り除いてください。
  それでも充電ランプが点滅する場合は、温度が高すぎるまたは低すぎるか、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

SD カードについて

- SDカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、本機やパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。
- 長時間ご使用になると本機表面やSD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

SD カードの出し入れは必ずモードダイヤルが「OFF」の状態で行う

SD カードにアクセス中（ や 表示中 / カード動作中ランプ点灯中）は、以下の動作を行わない

- カード / バッテリーカバーを開けてSD カードを抜く
- 電源を切る
- USB 接続ケーブルを抜き差しする
- 振動や衝撃を与える

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

- 本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
- 廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はSDカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが起こっていると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

- 下記のように温度差、湿度差があると起こります。
  - 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
  - 冷房の効いた車などから車外へ持ち出したとき
  - 寒い部屋を急に暖房したとき
  - エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
  - 夏の夕立のあと
  - 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、ビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置

バッテリーや AC アダプターを外して、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

キャリングバッグ / キャリングケースについて

- 収納するときは、本機の電源を切ってください。
- 本機の出し入れやバッグ、ケースの持ち運びなどの際に、大きな衝撃を与えないようにしてください。
- 直射日光が当たる車の中に放置しないでください。
- 湿度の高いところにバッグ、ケースを放置しないでください。
  かびの発生や変質の原因になります。
- 汚れを落とすときは、水分を含んだ布などをよく絞ってふいてください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- ぬれたときは、乾燥したタオルなどでぬれた部分の水分をふき取り、形を整えたあと、陰干しして十分乾かしてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 保管は、涼しく、乾燥していて風通しのよい、ほこりや化学薬品のないところに保管してください。

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

映像・音声コードでテレビに接続して見る場合は、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビが必要です。

■ 日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

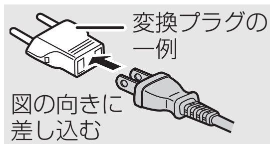
●アメリカ合衆国	●コスタリカ	●ドミニカ共和国	●ベトナム（一部地域）
●アンチグア・バーブーダ	●コロンビア	●ドミニカ国	●ベネズエラ
●イエメン（一部地域）	●ジャマイカ	●トリニダード・トバゴ	●ベリーズ
●英領バーミューダ諸島	●スリナム	●ニカラグア	●ペルー
●エクアドル	●セントクリストファー・ネイビス	●ハイチ	●ボリビア
●エルサルバドル	●セントビンセント・グレナディーン諸島	●パナマ	●ホンジュラス
●ガイアナ	●セントルシア	●バハマ	●マーシャル諸島
●カナダ	●大韓民国	●バルバドス	●マリアナ諸島
●キューバ	●台湾	●フィジー	●ミクロネシア連邦
●グァテマラ	●チリ	●フィリピン	●ミャンマー
●グァム島		●プエルトリコ	●メキシコ
●グレナダ		●米領サモア	

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。

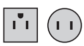


充電のしかたは、国内と同じです。
AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A,BF				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B,BF,B3,C,O	イタリア	C
ウクライナ	A,C	オーストリア	B,C,SE	オランダ	C,SE	カザフスタン	A,C
ギリシャ	B,C	スイス	B,BF,C,SE	スウェーデン	C	スペイン	A,C,SE
デンマーク	C	ドイツ	C,SE	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C,O,SE	ベラルーシ	A,C	ベルギー	C
ポーランド	B,C	ポルトガル	B,C	ルーマニア	C	ロシア	A,C
アジア							
インド	B,BF,C	インドネシア	A,B,BF,B3,C,SE	シンガポール	B,BF,B3	スリランカ	B,C
タイ	A,BF,C	大韓民国	A,BF,C,O,SE	台湾	A,O	中華人民共和国	A,B,BF,B3,C,O,SE
ネパール	B,BF,C	パキスタン	A,B,C	バングラデシュ	B,C	フィリピン	A,B,BF,C,O
ベトナム	A,C	香港特別行政区	B,BF,B3,C	マカオ特別行政区	A,B,C	マレーシア	B,BF,B3,C
モンゴル	B,BF,C						
オセアニア							
オーストラリア	O	グァム島	A	タヒチ	A,C	トンガ	O
ニュージーランド	O	フィジー	A,C,O				
中南米							
アルゼンチン	A,BF,C,O	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B,C
ハイチ	A	パナマ	A,BF	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A,C,SE	ベネズエラ	A	ペルー	A,C	メキシコ	A,SE
中東							
イスラエル	BF,C,O	イラン	BF,C	クウェート	B,BF,C	ヨルダン	B,BF
アフリカ							
アルジェリア	A,BF,C	エジプト	B,BF,B3,C,SE	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B,BF,C	ザンビア	B,BF	タンザニア	B,BF	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C
モザンビーク	C	モロッコ	C,SE				

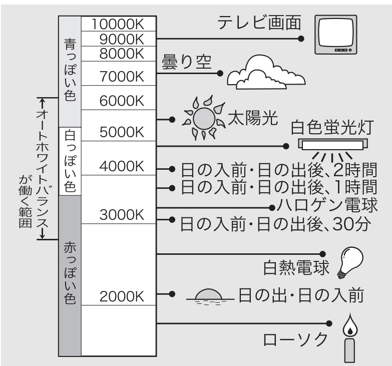
タイプ	A	B	BF	B3	C	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K.タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
形状							
変換プラグ	不要						

その他

用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。



オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス（ホワイトバランス）

本機で撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- **被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する**
- **よりコントラストの強いものにピントを合わそうとする**
- **画面の中央部にしかピントが合わない**

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのものを同時に撮る

画面の中央にピントが合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方にピントを合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのものを撮る

汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものにピントが合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある

キラキラ光るものにピントが合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る

レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る

機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

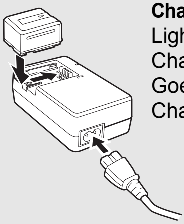
● コントラストの少ないものを撮る

コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、ピントが合いにくくなります。

Quick Reference Guide

Power supply

■ Charging the battery



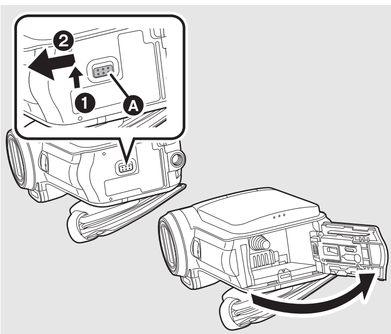
Charging lamp [CHARGE]
Lights up:
Charging
Goes off :
Charging completed

1 Connect the AC cable to the AC adaptor and the AC outlet.

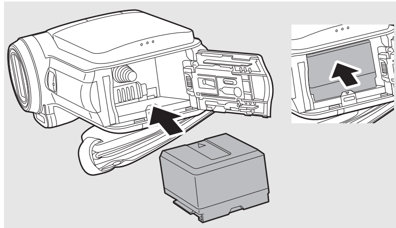
2 Insert the battery into the battery charger by aligning the arrows.

■ Inserting the battery

1 While sliding the SD CARD/ BATTERY OPEN lever Ⓐ , move the SD card/battery cover and open it.

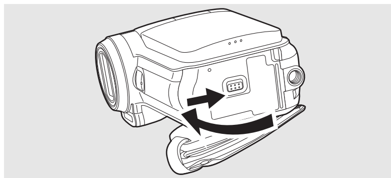


2 Insert the battery until it clicks paying attention to the direction of the battery.



- Push the battery until it locks.

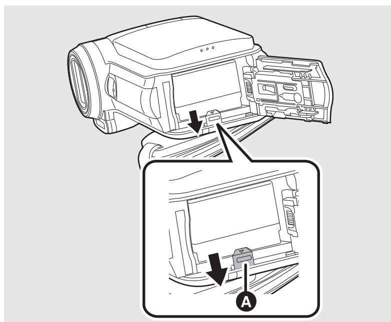
3 Close the SD card/battery cover.



[Removing the battery]

1 Open the SD card/battery cover.

2 Remove the battery.

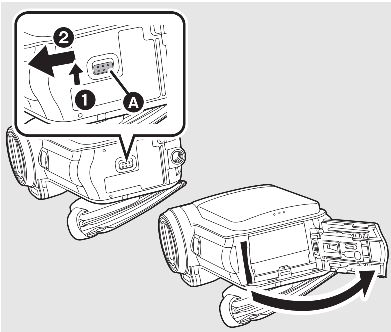


- Move Ⓐ in the direction of the arrow to unlock it and then remove the battery.

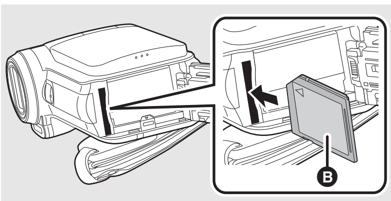
3 Close the SD card/battery cover.

Inserting/removing an SD card

1 While sliding the SD CARD/ BATTERY OPEN lever Ⓐ , move the SD card/battery cover and open it.



2 Insert/remove the SD card.



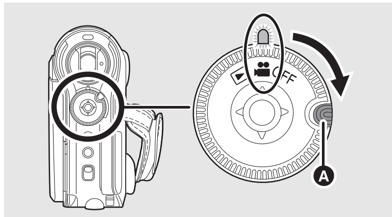
- When inserting an SD card, face the label side Ⓑ in the direction shown in the illustration and press it straight in as far as it goes.
- When removing the SD card, press the center of the SD card and then pull it straight out.

3 Securely close the SD card/battery cover.

Selecting a mode (Turning the unit on/off)

Rotate the mode dial to switch to recording, playback or power OFF.

While pressing the lock release button Ⓐ, set the mode dial to 🎥 or ▶ .



[To turn off the power]
Set the mode dial to OFF.

🎥	**Recording mode**
▶	**Playback mode**
OFF	The power turns off.

■ Turning the power on and off with the LCD monitor

The power can be turned on and off with the LCD monitor when the mode dial is set to 🎥 .

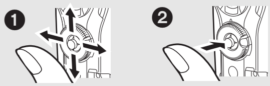
To turn on the power:
Open the LCD monitor.

To turn off the power:
Close the LCD monitor.

その他

How to use the cursor button

Use the cursor button to select the recording functions and playback operations, and to operate the menu screen.



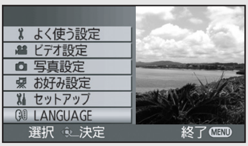
❶ Select by moving up, down, left, right.
❷ Set by pressing the center.

Switching the language

1 Press the MENU button.



2 Move the cursor button up or down in order to select [LANGUAGE] and then move the cursor button right or press it to set the selection.



3 Move the cursor button right to select [English].



4 Press the cursor button to enter the selection.

- Press the MENU button to exit the menu screen.

Help mode

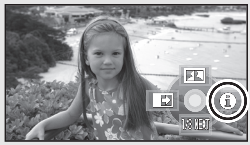
The help mode explains the operation icons displayed when the [AUTO/MANUAL/FOCUS] switch is set to [AUTO] in recording mode.

- **Rotate the mode dial to select 🎥.**

1 Press the cursor button to display the icon.



2 Move the cursor button right to select [ⓘ].



3 Move the cursor button up, left or right to select the desired icon.



- An explanation of the selected icon scrolls at the bottom of the screen.
- The indication changes each time the cursor button is moved down.
- When the help mode is used, functions cannot be set.

[To exit the Help mode]

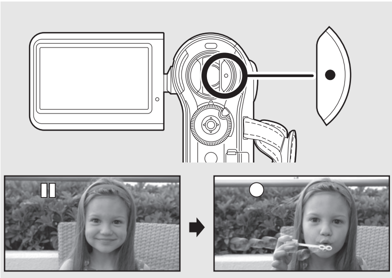
Press the MENU button or select [END].

Recording

- Rotate the mode dial to select [motion picture icon].

■ Recording motion pictures

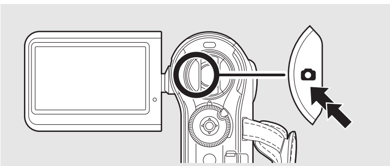
1 Press the recording start/stop button to start recording.



2 Press the recording start/stop button again to pause recording.

■ Recording still pictures

Press the [[camera icon]] (PHOTO SHOT) button to take the picture.



Playback

- Rotate the mode dial to select [▶].

■ Motion picture playback

1 Press the cursor button up and then left to select the [[motion picture icon]] (motion picture playback) tab.



2 Select the scene to be played back and press the cursor button.



3 Move the cursor button to operate.



▶/❚❚	Playback/Pause
◀◀	Review playback
▶▶	Fast forward playback
■	Stops the playback and shows the thumbnails

■ Still picture playback

1 **Press the cursor button up and then right to select the [📷] (still picture playback) tab.**



2 **Select the still picture to be played back and press the cursor button.**



3 **Move the cursor button to operate.**



▶/❚❚	Slide show start/pause
◀❚	Plays back the previous picture
❚▶	Plays back the next picture
■	Stops the playback and shows the thumbnails

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

デジタルハイビジョンビデオカメラ

電源	DC 9.3 V（AC アダプター使用時）/7.2 V（バッテリー使用時）
消費電力	録画時： 4.9 W

信号方式	1080/60i
記録規格	AVCHD 規格準拠
撮像素子	1/6 型 CCD 固体撮像素子× 3 総画素　約 56 万× 3 有効画素　 ビデオ / 写真: 約 52 万× 3
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム、テレマクロ付き（フルレンジ AF） F1.8 ～ F2.8（f = 3.0 mm ～ 30.0 mm） 35 mm 換算：42.9 mm ～ 429 mm
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 10 倍・デジタル 25 倍・スーパーデジタル 100 倍
モニター	2.7 型ワイド液晶モニター（約 30 万画素）
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付き）
スピーカー	15 mm 丸型 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 lx
最低照度	約 5 lx(ローライトモード 1/30 時)、カラーナイトビュー時　約 1 lx
AV 端子映像出力	1.0 Vp-p 75 Ω　NTSC 方式
D 端子映像出力	Y:1.0 Vp-p 75 Ω　Pb：0.7 Vp-p 75 Ω　Pr：0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI 端子映像出力	HDMI 1080i/480p
AV 端子音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω
HDMI 端子音声出力	2 ch（リニア PCM）
USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） ハイスピード USB（USB2.0）、USB 端子 TYPE miniAB PictBridge 対応

フラッシュ	使用可能範囲：約 1 m ～ 2.5 m
外形寸法	幅 56 mm × 高さ 110 mm × 奥行き 87 mm（突起部含む）
本体質量	約 310 g（バッテリー、SD カード含まず）
使用時質量	約 370 g（バッテリー、SD カード使用時）
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10%～ 80%
バッテリー持続時間	26 ページを参照してください。

ビデオ

記録メディア	SD メモリーカード： 512 MB、1 GB、2 GB まで（FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB まで（FAT32 形式に対応）
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264
記録モード	HG：約 13 Mbps (CBR) HN：約 9 Mbps (VBR) HE：約 6 Mbps (VBR) 記録可能時間は 49 ページを参照してください。
記録画素数	HG　　：1920 × 1080 HN/HE：1440 × 1080
音声圧縮形式	Dolby Digital (Dolby AC3)/2 ch

写真

記録メディア	SD メモリーカード： 8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで（FAT12、FAT16 形式に対応） SDHC メモリーカード： 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB まで（FAT32 形式に対応）
圧縮方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
記録画素数	1920 × 1080 記録可能枚数は 53 ページを参照してください。

AC アダプター

電源	AC 100 V─ 240 V　50/60 Hz
入力容量	25 VA（AC 100 V 時）/34 VA（AC 240 V 時）
DC 出力	DC 9.3 V　1.2 A（ビデオカメラ）
充電出力	DC 8.4 V　0.65 A（充電）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理･お取り扱い･お手入れなどのご相談は･･･
まず､お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- **修理は､サービス会社･販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは､「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日･販売店名などの記入を必ず確かめ､お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと､保管してください。

保証期間 :お買い上げ日から本体 1 年間
（「本体」にはソフトウェアの内容は含みません）

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は､このデジタルハイビジョンビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注） 補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ､直らないときは､まず接続している電源を外して､お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルハイビジョンビデオカメラ
品　番	HDC-SD8K
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので､恐れ入りますが､製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**

修理すれば使用できる製品については､ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**

修理料金は､技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料は､診断･故障個所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は､修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は､製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は､お客様の個人情報やご相談内容を､ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011	**帯広** 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

その他

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

東北地区

青森	青森市大字浜田 字豊田364 ☎ (017)775-0326	**岩手**	盛岡市厨川5丁目 1-43 ☎ (019)645-6130	**山形**	山形市平清水1丁目 1-75 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市外旭川 字小谷地3-1 ☎ (018)868-7008	**宮城**	仙台市宮城野区扇町 7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	郡山市亀田1丁目 51-15 ☎ (024)991-9308

首都圏地区

栃木	宇都宮市上戸祭 3丁目3-19 ☎ (028)689-2555	**埼玉**	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960	**山梨**	甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5822
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075	**千葉**	千葉市中央区末広 5丁目9-5 ☎ (043)208-6034	**神奈川**	横浜市港南区日野 5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
茨城	つくば市筑穂3丁目 15-3 ☎ (029)864-8756	**東京**	東京都世田谷区 宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780	**新潟**	新潟市東明1丁目 8-14 ☎ (025)286-0180

中部地区

石川	金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	**長野**	松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	**岐阜**	岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山	富山市根塚町1丁目 1-4 ☎ (076)424-2549	**静岡**	静岡市葵区千代田 7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	**高山**	高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
福井	福井市問屋町2丁目 14 ☎ (0776)25-5001	**愛知**	名古屋市瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重**	津市久居野村町 字山神421 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀	栗東市霊仙寺1丁目 1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪**	大阪市城東区関目 2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225	**和歌山**	和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都	京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良**	大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫**	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック 修 理 ご 相 談 窓 口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中国地区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎ (0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎ (0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎ (0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎ (0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎ (0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎ (086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎ (082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎ (083)973-2720

四国地区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎ (087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎ (088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎ (088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎ (089)905-7544

九州地区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎ (092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎ (0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎ (095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎ (097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎ (0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎ (096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎ (0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎ (099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎ (0997)53-5101

沖縄地区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0108

さくいん

その他

愛情点検	長年ご使用のデジタルハイビジョンビデオカメラの点検を！

こんな症状はありませんか	・電源コードやプラグが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水などの液体や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	HDC-SD8K
販　売　店　名	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ

〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

F0508SQ0 (400 Ⓐ)